令和５年度

DREAMS COME TRUE度アンケート

アンケート調査の概要

１　アンケートの方法

（1）『一般住民』を対象に、基本的に各市町村職員による聞き取りにより調査を行った。

※奄美市と徳之島町については、目標とする標本数が多いので、住民を無作為に抽出してもらい、広域でアンケートを発送した。

（2）『重点3分野関係者』を対象に、各市町村を通じて調査を行った。

※観光分野については奄美群島観光物産協会を通じて、各島の観光協会に依頼し、FAX調査を行った。

２　アンケートの実施期間

令和５年７月26日（水）～令和５年９月29日（金）（66日間）

３　有効回答数

879

（内訳右表参考）

奄美群島島別回答者数及び構成比

（単位：人、％）

島	人数	構成比
奄美大島	517	58.8
喜界島	41	4.7
徳之島	190	21.6
沖永良部島	105	11.9
与論島	26	3.0
計	879	100.0

４　回答者属性

年代構成及び男女比は各島で示す

1　奄美群島

アンケート項目

○ DREAMS COME TRUE度

　奄美群島民の夢が実現（様々なチャレンジ、新しい取組の成功）し、希望にあふれていることを示す指標。

（以下、本リポート全ての項目に同じ）

　指標は、毎年実施するアンケートによって把握し、統計等では測ることができない精神的な面を捉える指標として位置づける。

回答者属性

奄美群島年代別回答者数

（単位：人、％）

年代	人数	構成比
10代	133	15.1
20代	53	6.0
30代	116	13.2
40代	127	14.4
50代	113	12.9
60代以上	337	38.3
未回答	0	0.0
計	879	100.0

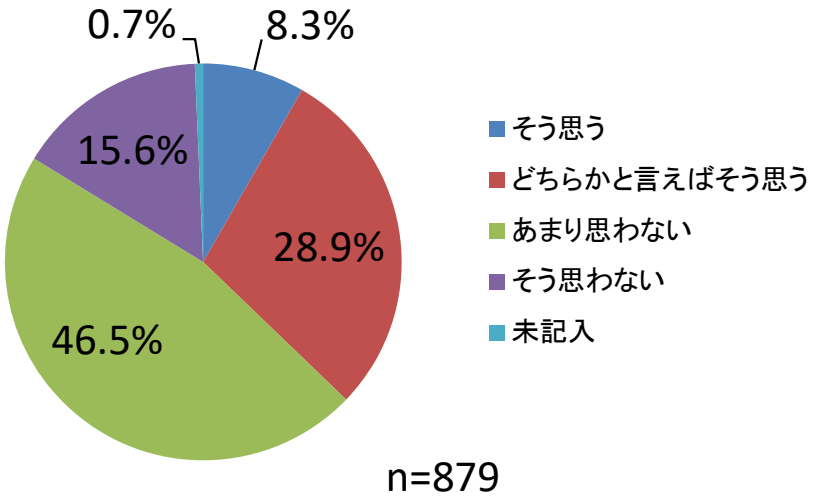
奄美群島回答者男女比

（単位：人、％）

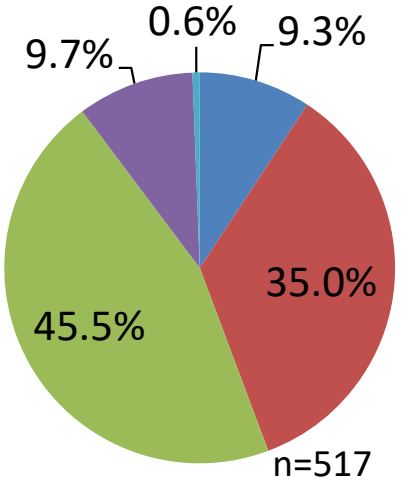
性別	人数	構成比
男性	469	53.4
女性	407	46.3
未回答	3	0.3
計	879	100.0

DREAMS COME TRUE 度
Q1 「夢を実現させた人が周りに増えた」

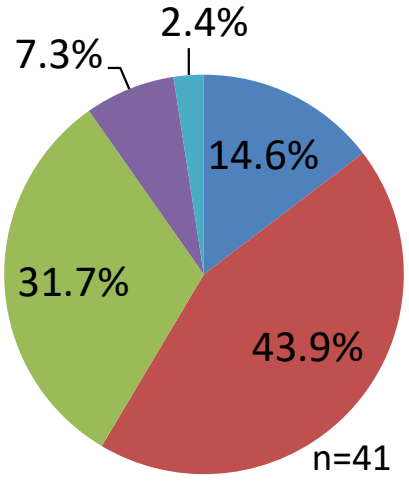
奄美群島全体



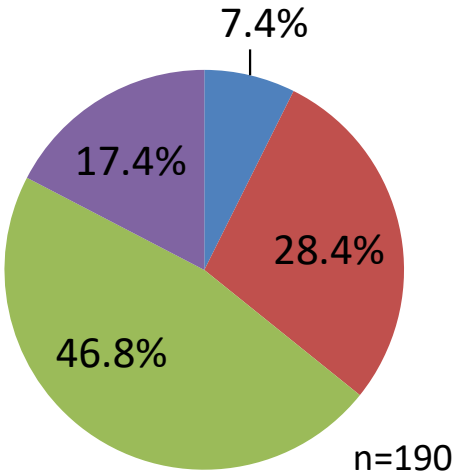
奄美大島全体



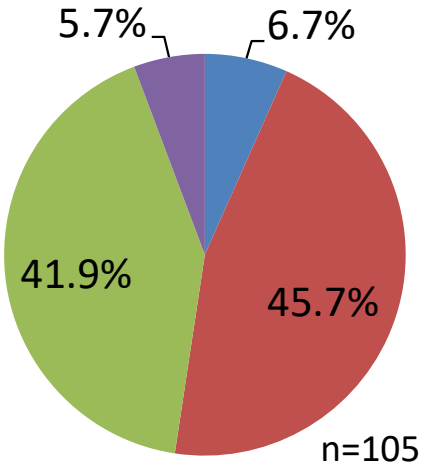
喜界島全体



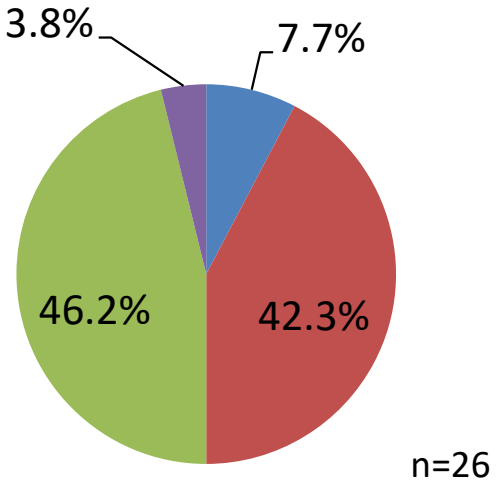
徳之島全体



沖永良部島全体



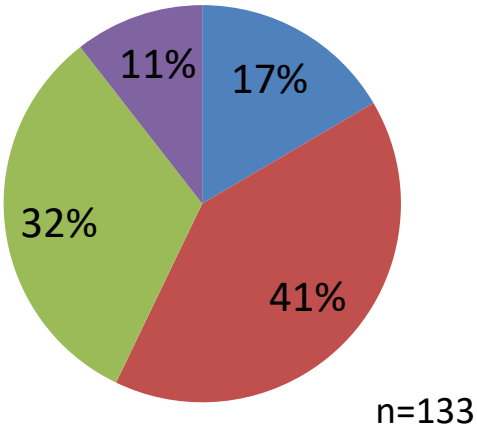
与論島全体



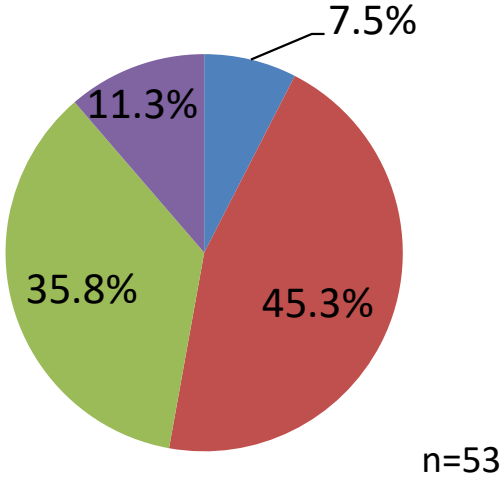
DREAMS COME TRUE 度（奄美群島年代別回答）
Q1 「夢を実現させた人が周りに増えた」

■そう思う
■どちらかと言えばそう思う
■あまり思わない
■そう思わない
■未記入

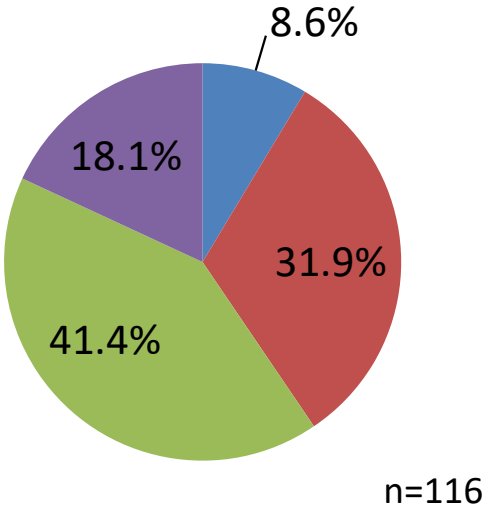
群島全体（**10**代）



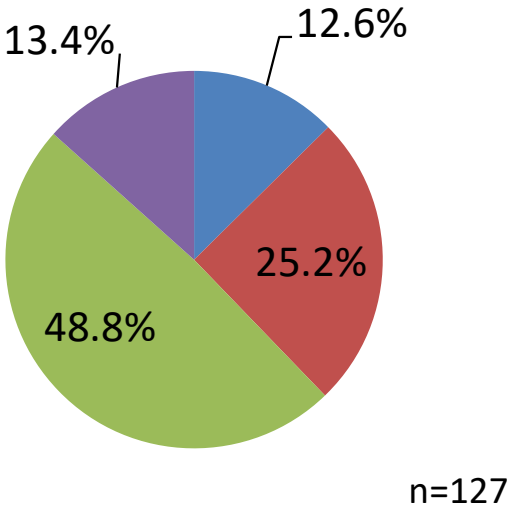
群島全体（**20**代）



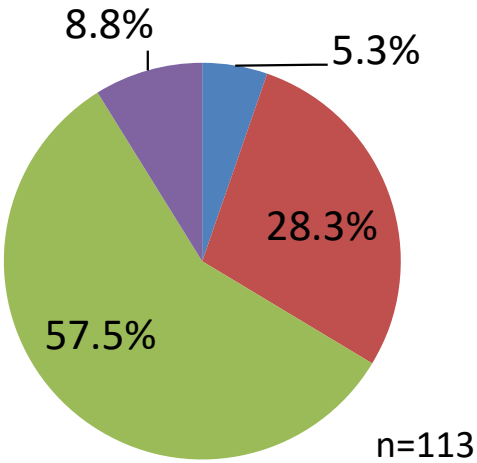
群島全体（**30**代）



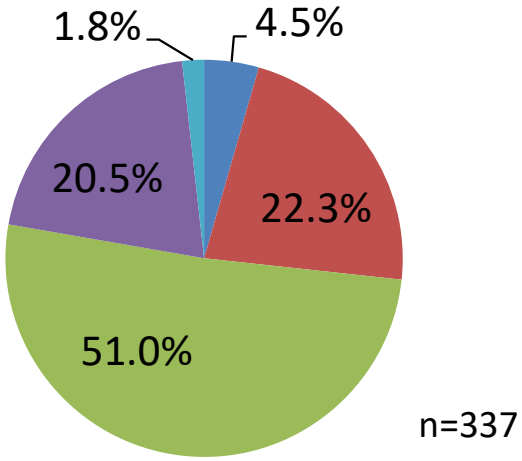
群島全体（**40**代）



群島全体（**50**代）

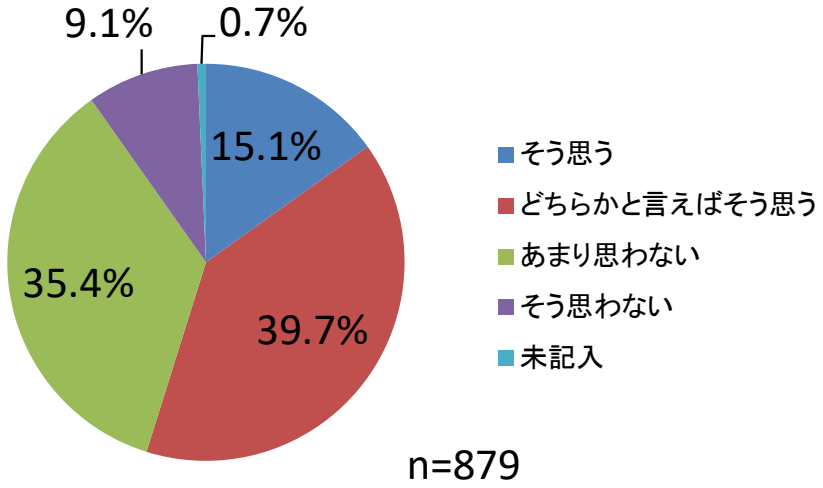


群島全体（**60**代以上）

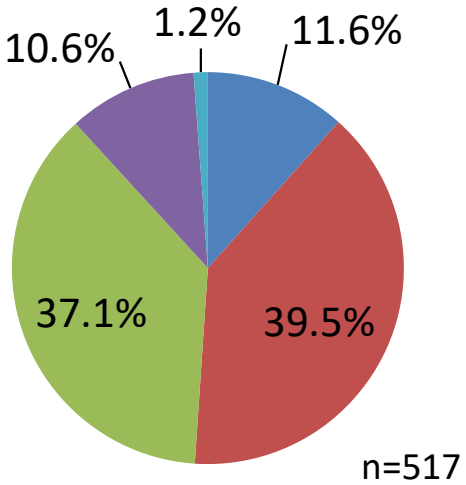


DREAMS COME TRUE 度
Q2 「新しいことにチャレンジしている若者が増えた」

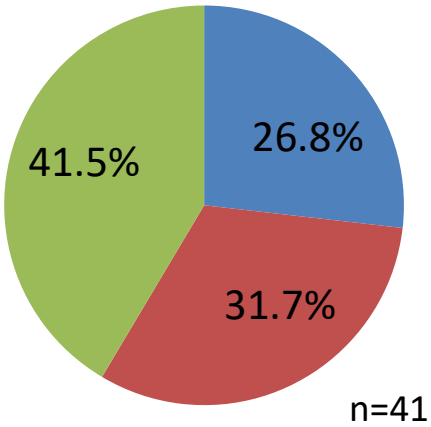
奄美群島全体



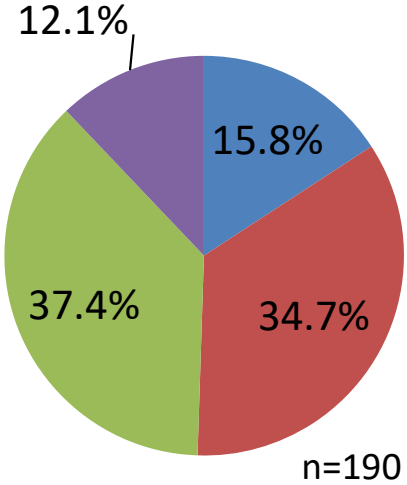
奄美大島全体



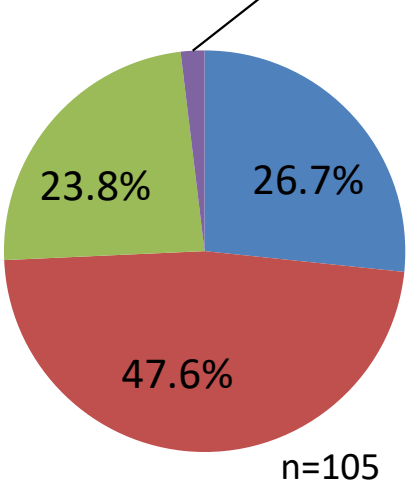
喜界島全体



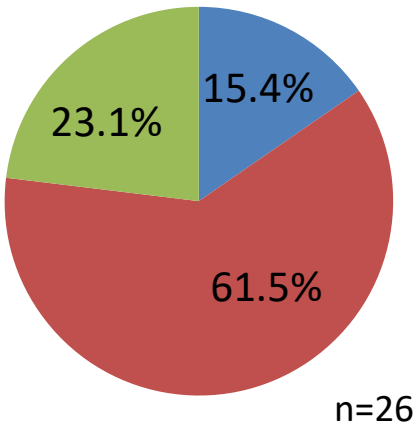
徳之島全体



沖永良部島全体



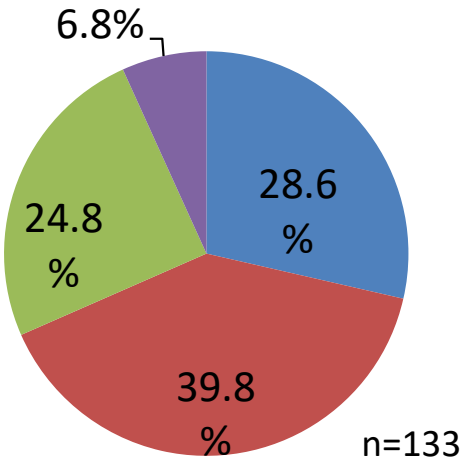
与論島全体



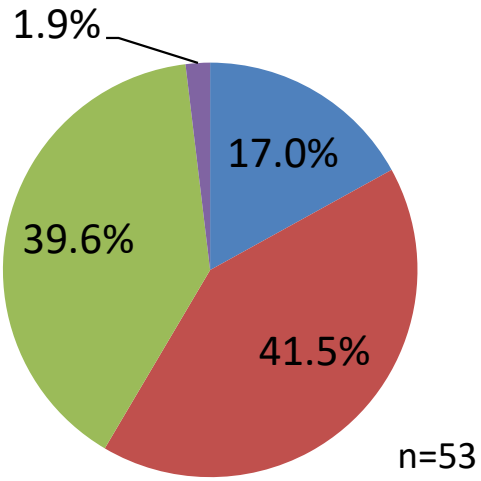
DREAMS COME TRUE 度（奄美群島年代別回答）
Q2 「新しいことにチャレンジしている若者が増えた」

■そう思う
■どちらかと言えばそう思う
■あまり思わない
■そう思わない
■未記入

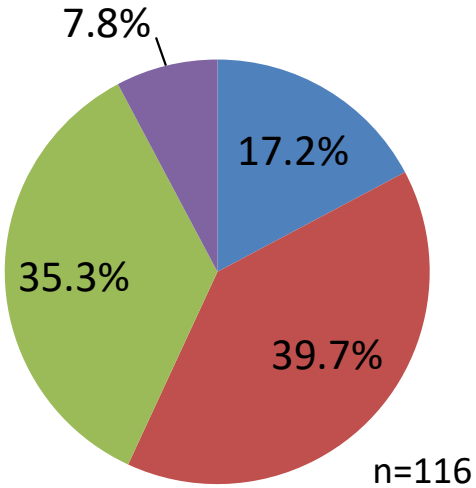
群島全体（**10**代）



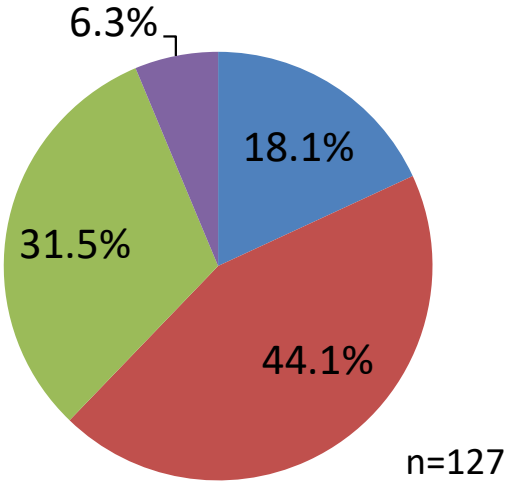
群島全体（**20**代）



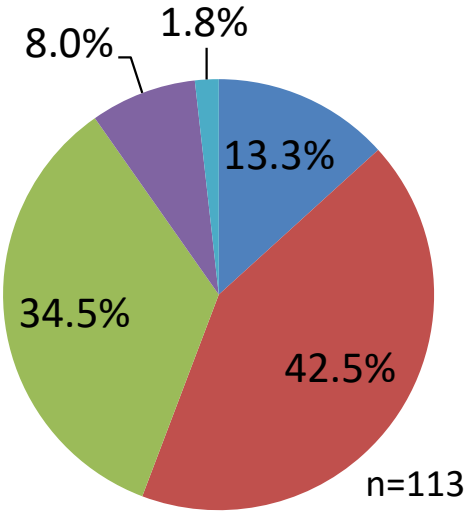
群島全体（**30**代）



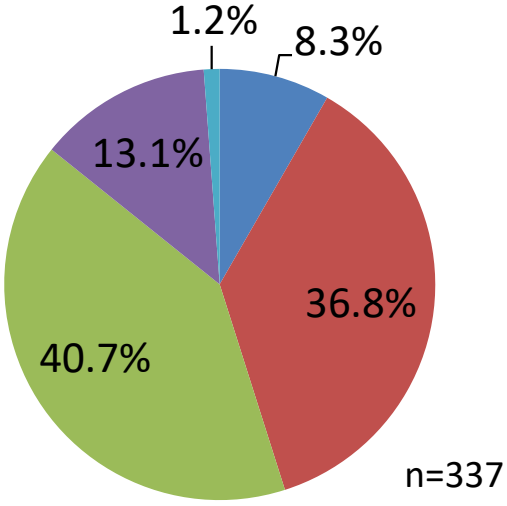
群島全体（**40**代）



群島全体（**50**代）



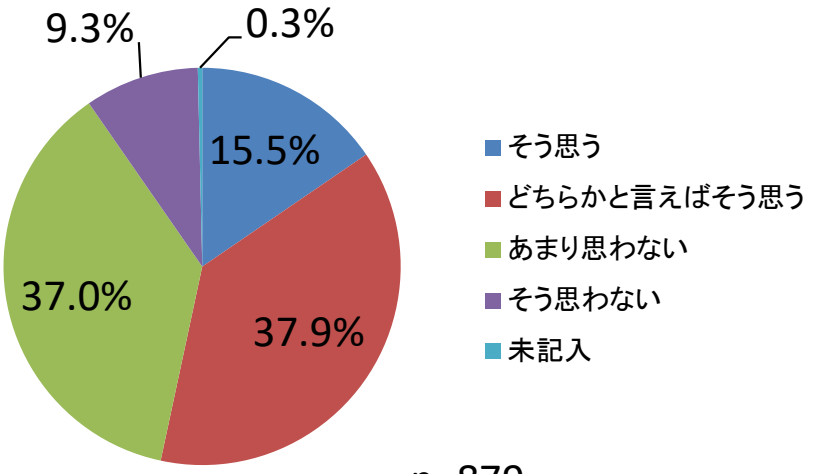
群島全体（**60**代以上）



DREAMS COME TRUE 度

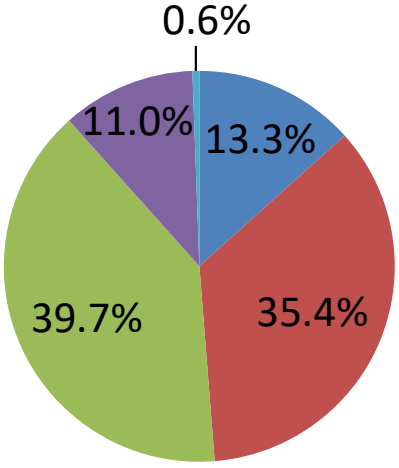
Q3 「周りの若者が活発になっている。」

奄美群島全体



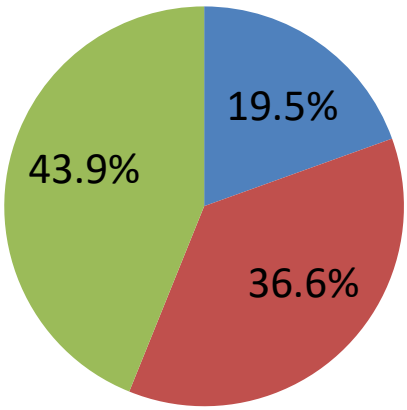
n=879

奄美大島全体



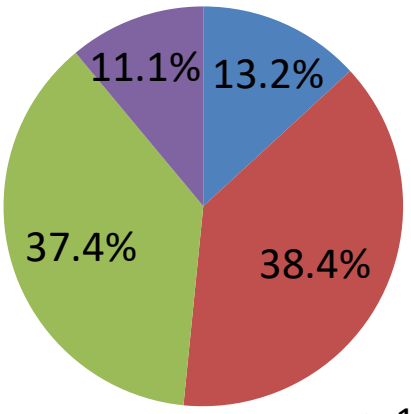
n=517

喜界島全体



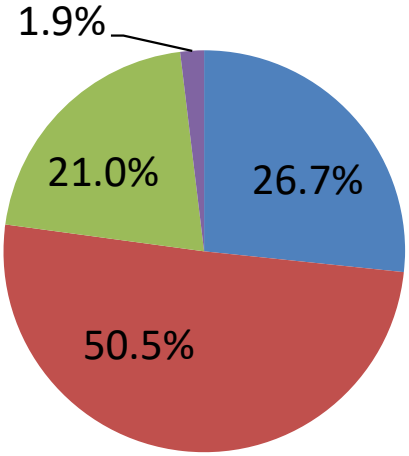
n=41

徳之島全体



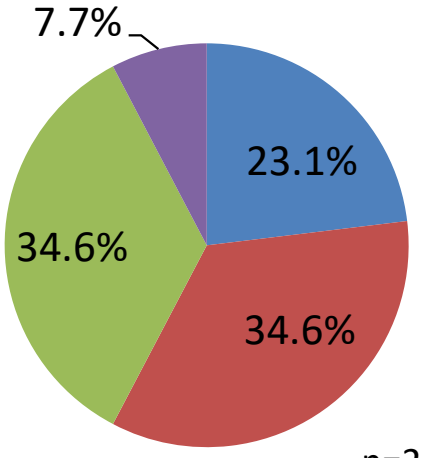
n=190

沖永良部島全体



n=105

与論島全体

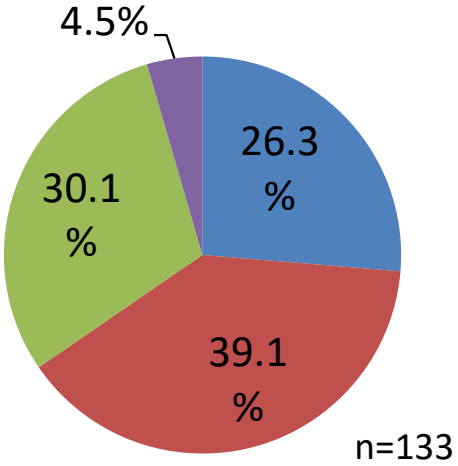


n=26

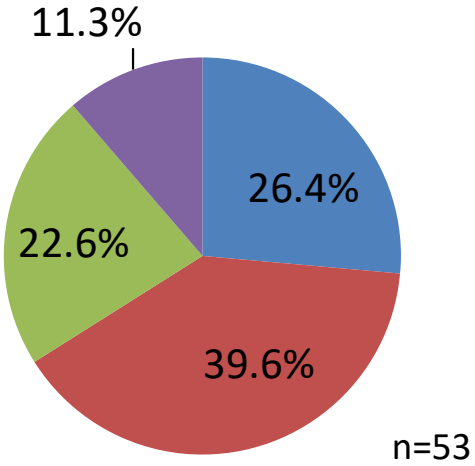
DREAMS COME TRUE 度（奄美群島年代別回答）
Q3 「周りの若者が活発になっている。」

■そう思う
■どちらかと言えばそう思う
■あまり思わない
■そう思わない
■未記入

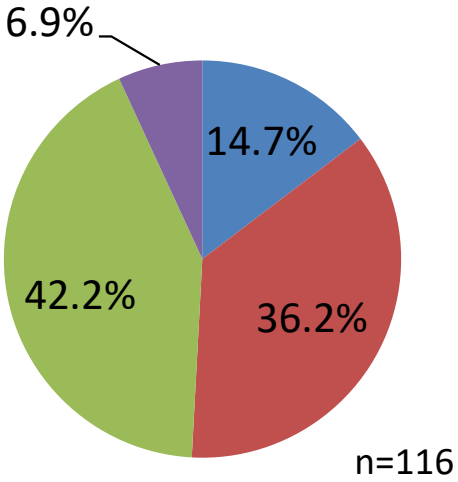
群島全体（10代）



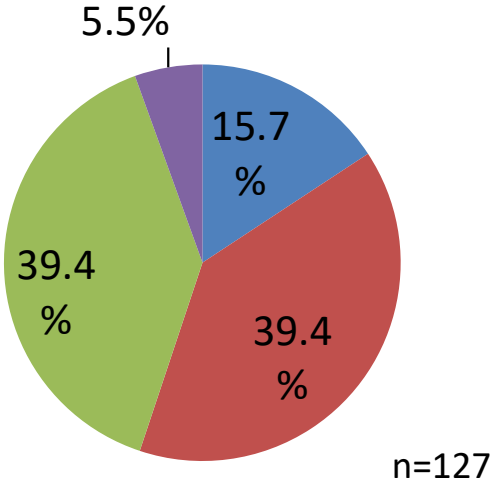
群島全体（20代）



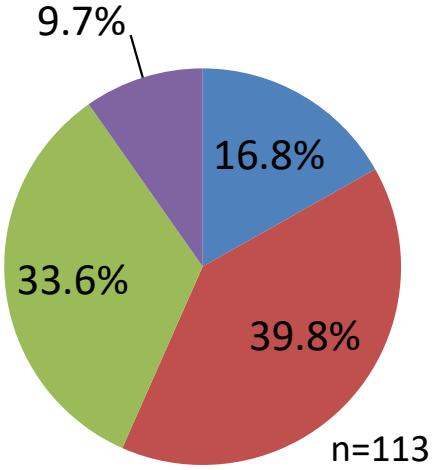
群島全体（30代）



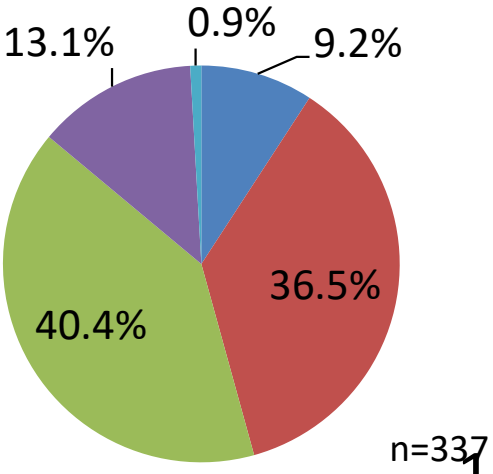
群島全体（40代）



群島全体（50代）



群島全体（60代以上）



奄美大島

アンケート項目

○ 結い度

奄美大島の生活風土をつないでいくための指標。

指標は、毎年実施するアンケートによって把握し、統計等では測ることができない精神的な面を捉える指標として位置づける。

回答者属性

奄美大島年代別回答者数

（単位：人、％）

年代	人数	構成比
10代	74	14.3
20代	34	6.6
30代	66	12.8
40代	75	14.5
50代	76	14.7
60代以上	192	37.1
未回答	0	0.0
計	517	100.0

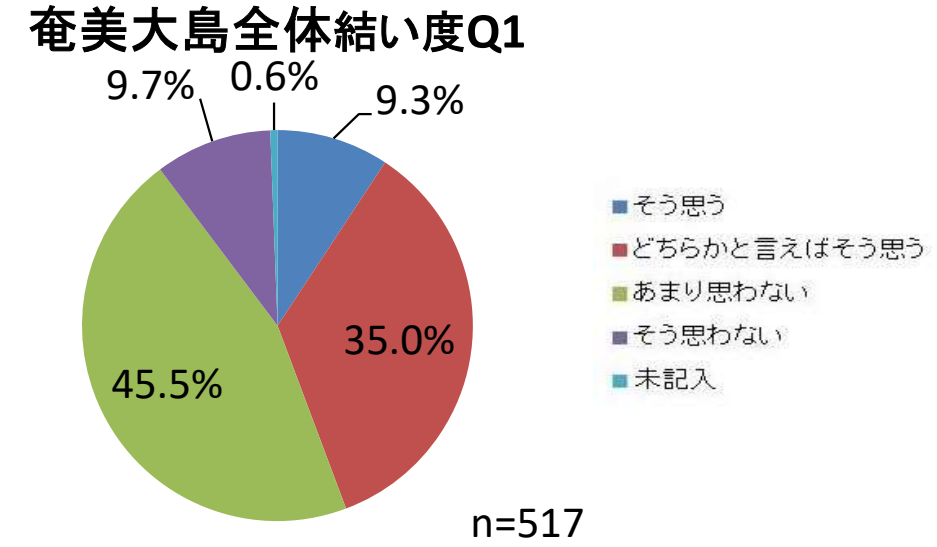
奄美大島回答者男女比

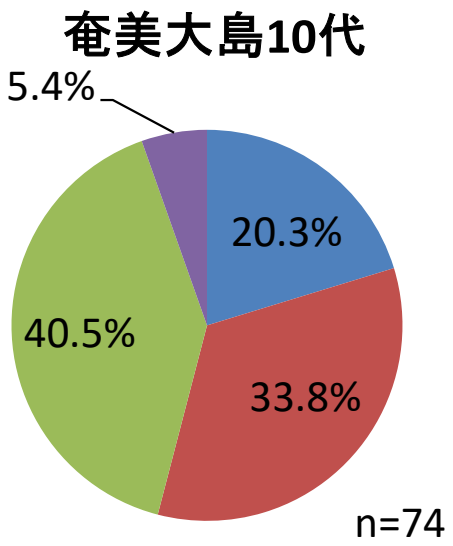
（単位：人、％）

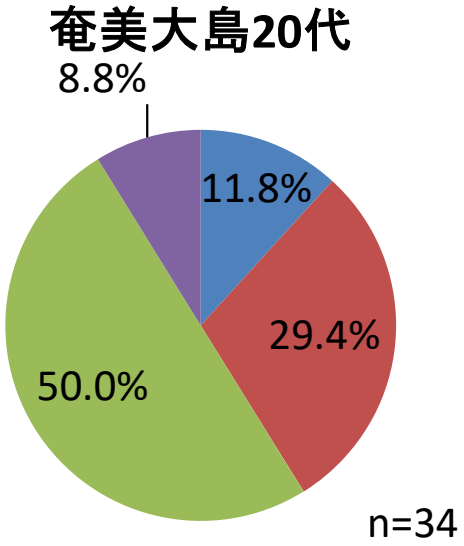
性別	人数	構成比
男性	266	51.5
女性	249	48.2
未回答	2	0.4
計	517	100.0

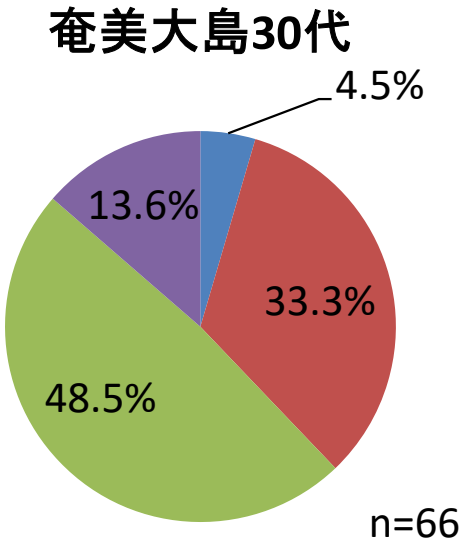
結い 度

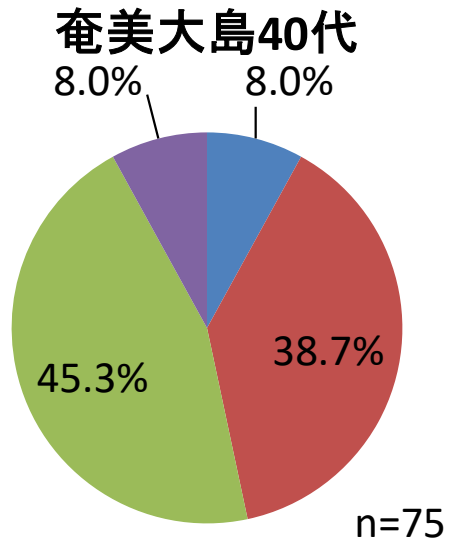
Q1 「住民がお互いに助け合う「結いの精神」が高まった。」

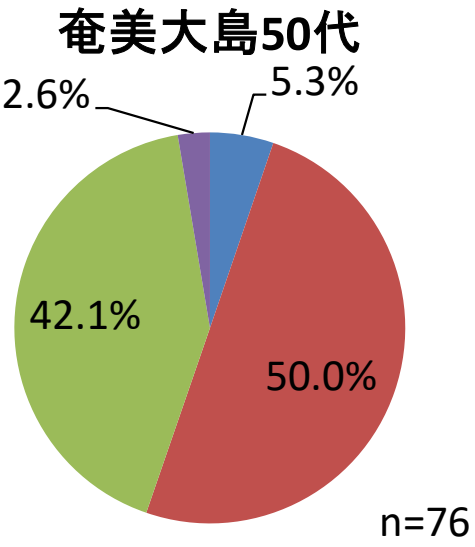


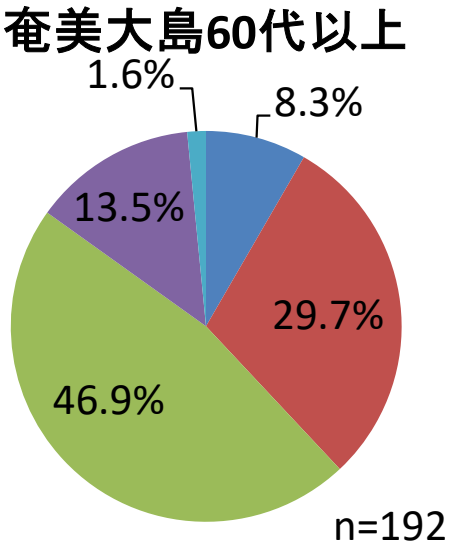








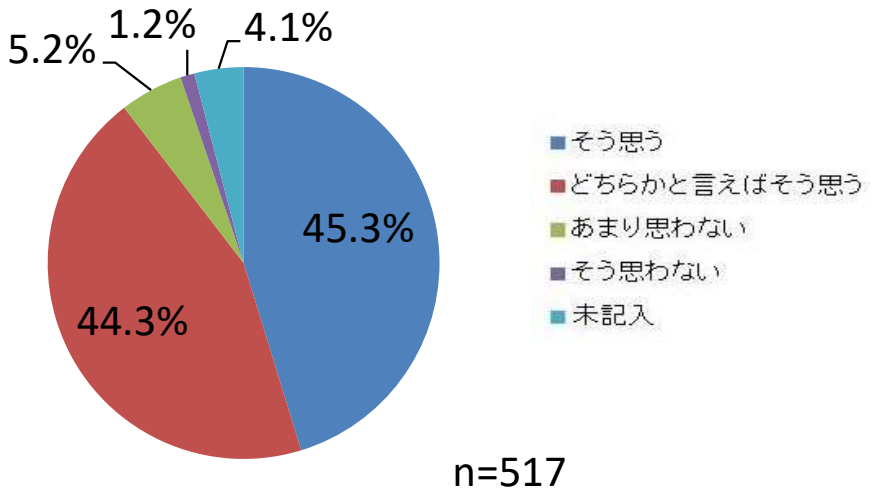




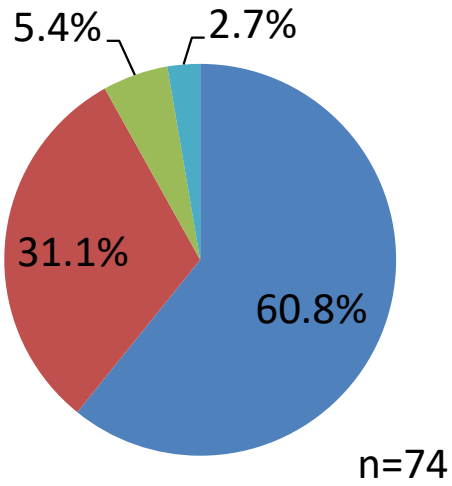
結い 度

Q2 「周りに困った人がいる際に、自分ができること
を何かしてあげたいと思う。」

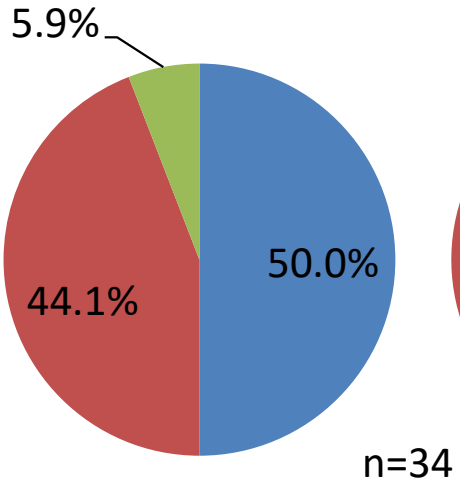
奄美大島全体結い度Q2



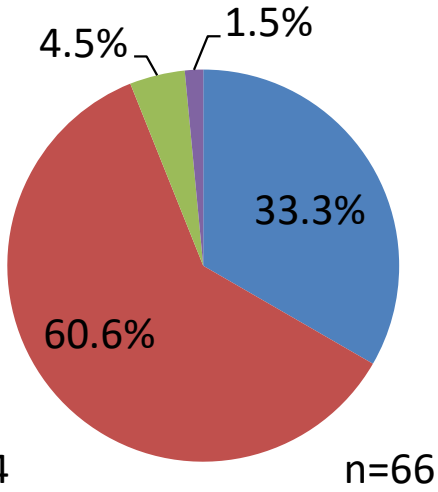
奄美大島10代



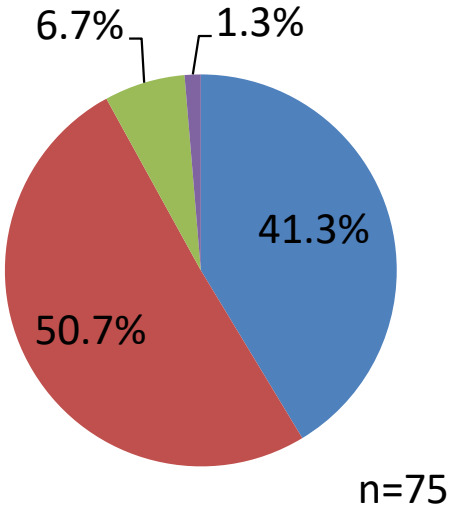
奄美大島20代



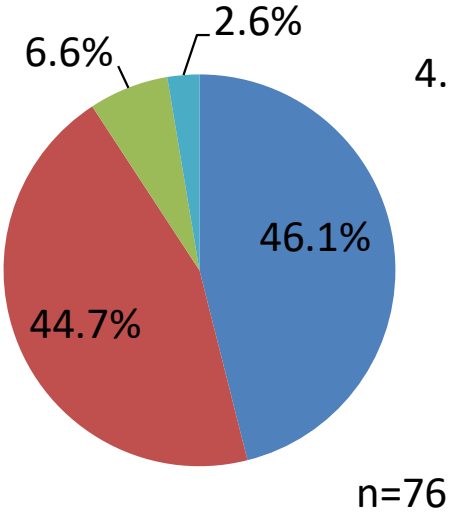
奄美大島30代



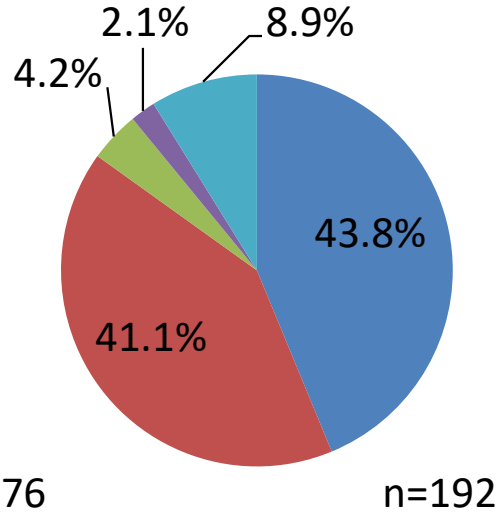
奄美大島40代



奄美大島50代



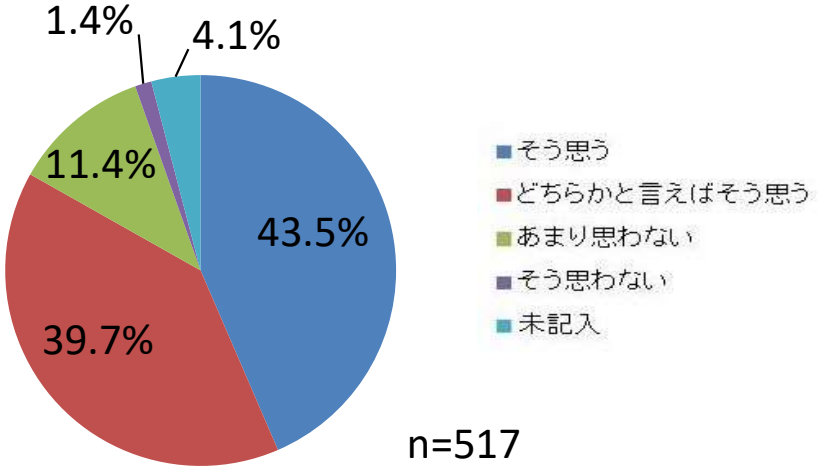
奄美大島60代以上



結い 度

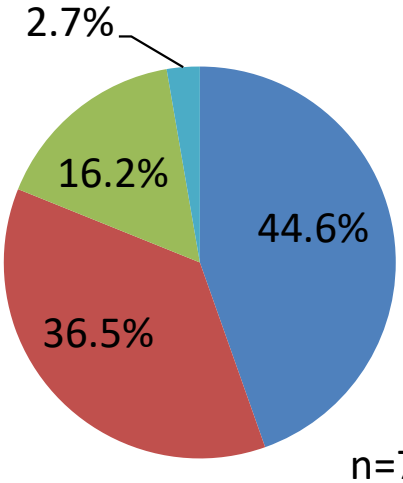
Q3 「これからの若い世代に「結いの精神」を伝えていきたいと思う。」

奄美大島全体結い度Q3



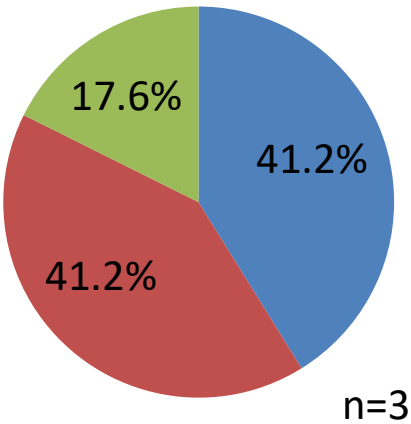
n=517

奄美大島10代



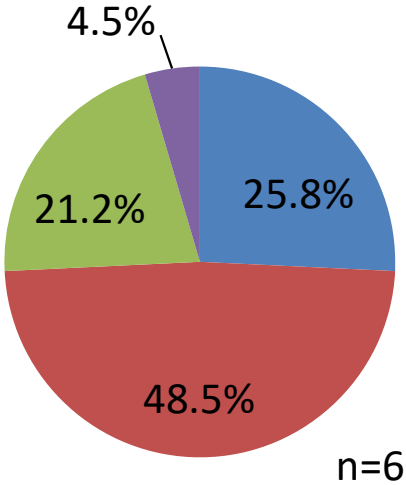
n=74

奄美大島20代



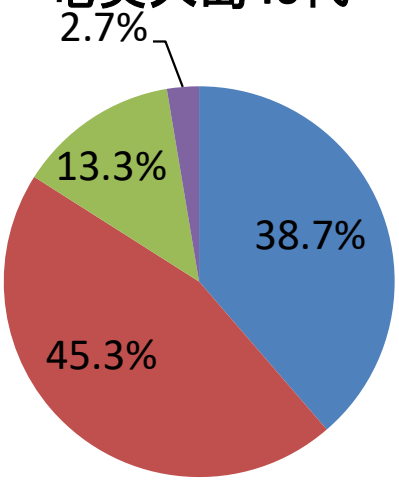
n=34

奄美大島30代



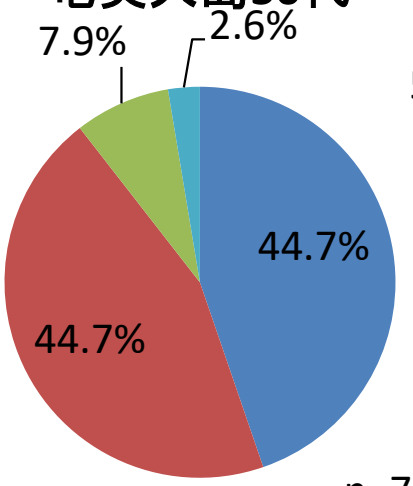
n=66

奄美大島40代



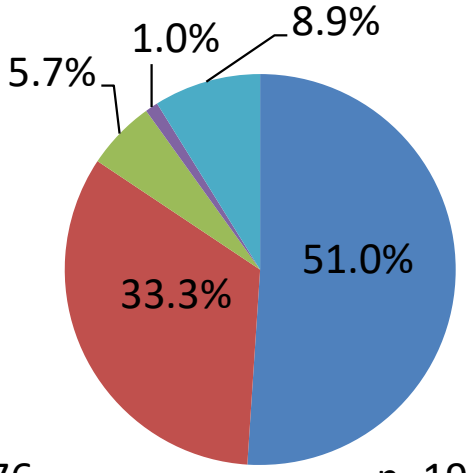
n=75

奄美大島50代



n=76

奄美大島60代以上



n=192

喜界島

アンケート項目

○ 幸福度

魅力ある島（集落）で暮らすことを実現する際の指標。

回答者属性

喜界島年代別回答者数

（単位：人、%）

年代	人数	構成比
10代	12	29.3
20代	2	4.9
30代	7	17.1
40代	5	12.2
50代	4	9.8
60代以上	11	26.8
計	41	100.0

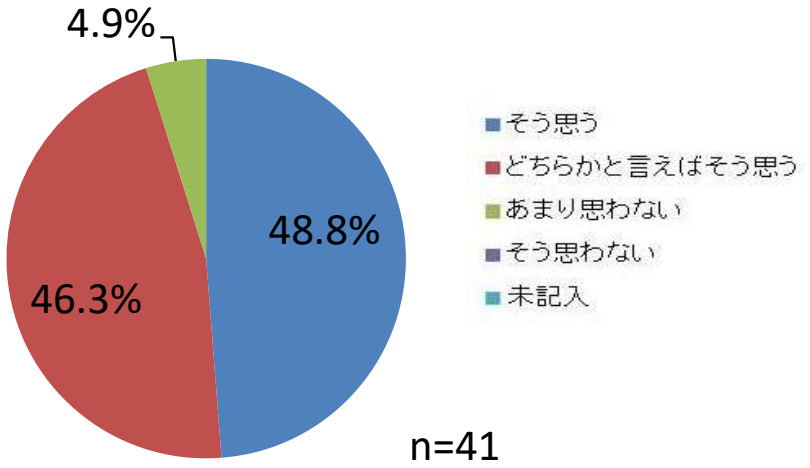
喜界島回答者男女比

（単位：人、%）

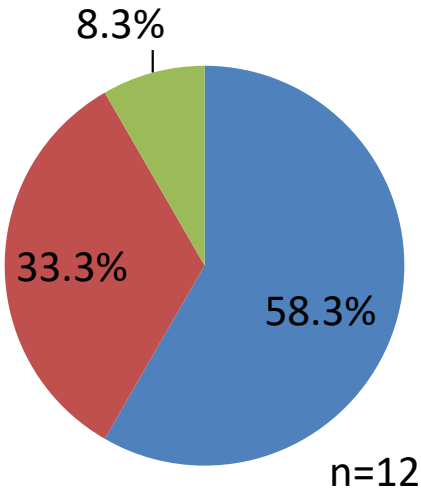
性別	人数	構成比
男性	25	61.0
女性	16	39.0
計	41	100.0

幸福度
Q1 「自分自身が幸せだと思う。」

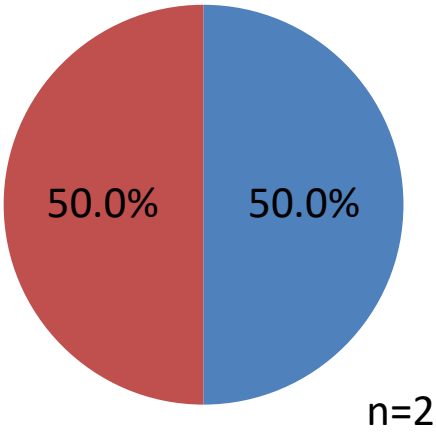
喜界島全体幸福度Q1



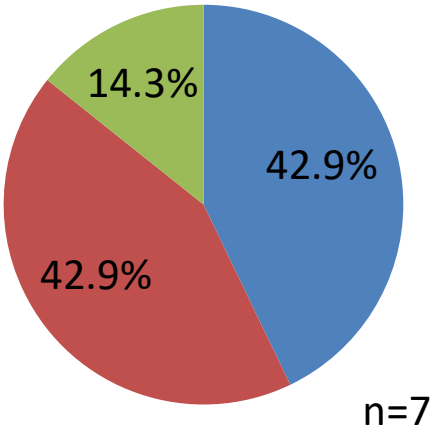
喜界島10代



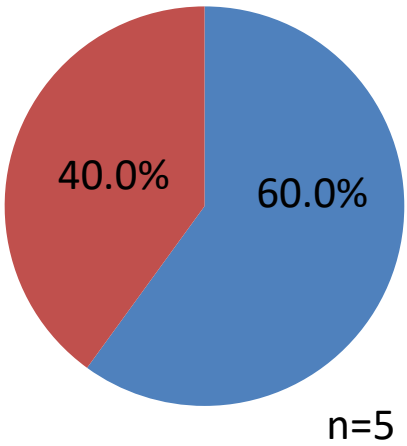
喜界島20代



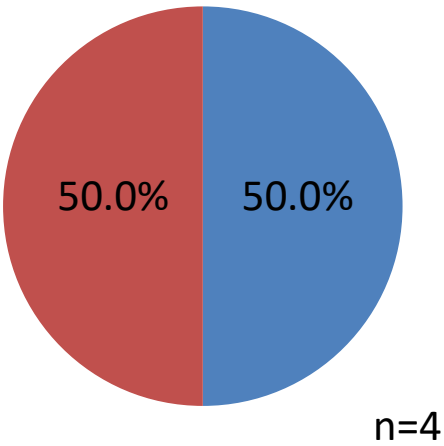
喜界島30代



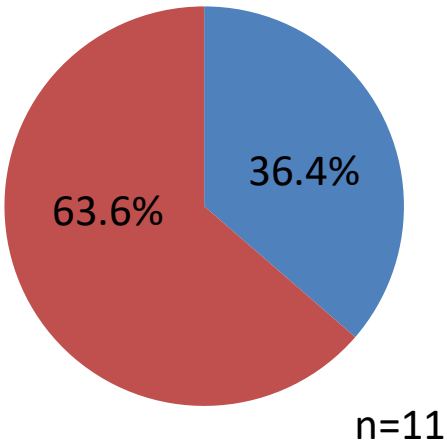
喜界島40代



喜界島50代

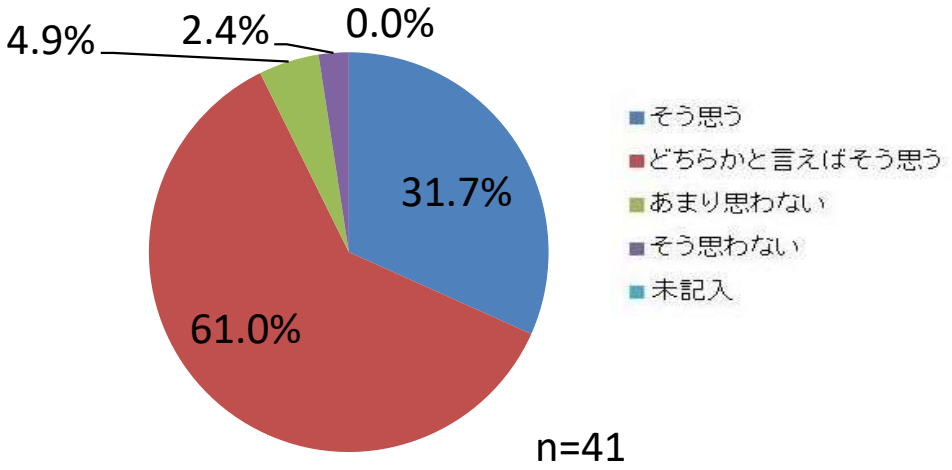


喜界島60代

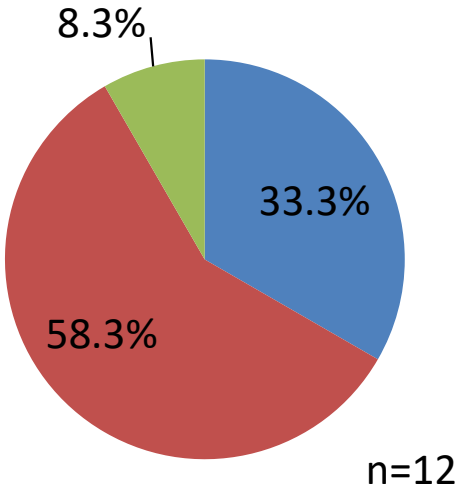


幸福度
Q2 「今の生活に満足している。」

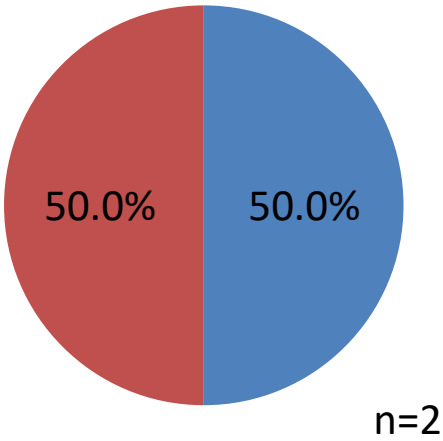
喜界島全体幸福度Q2



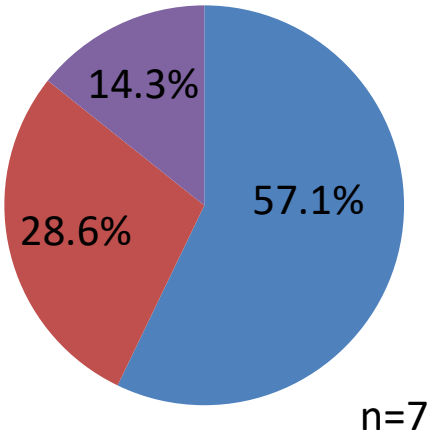
喜界島10代



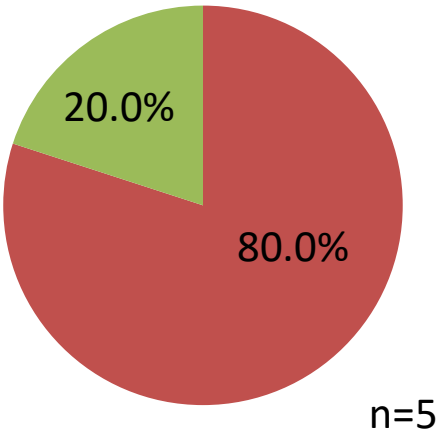
喜界島20代



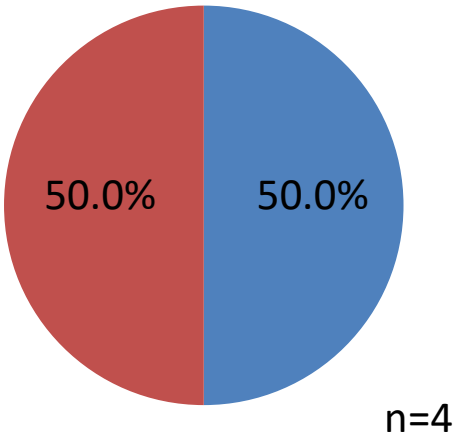
喜界島30代



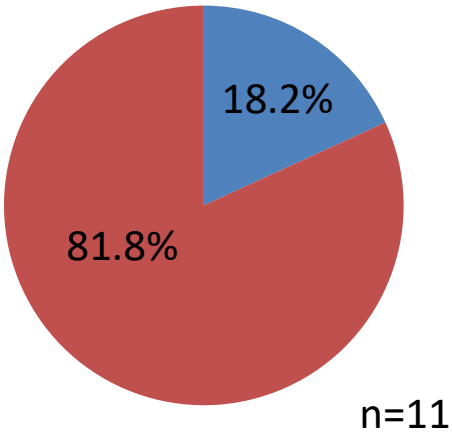
喜界島40代



喜界島50代



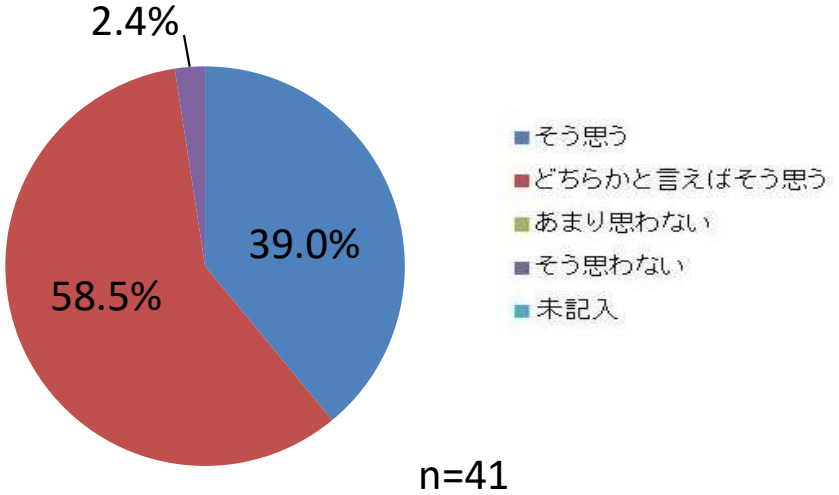
喜界島60代



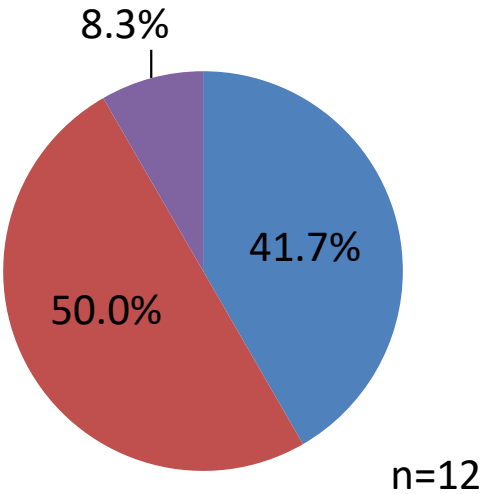
幸福度

Q3 「島（集落）に暮らすことに幸福を感じる。」

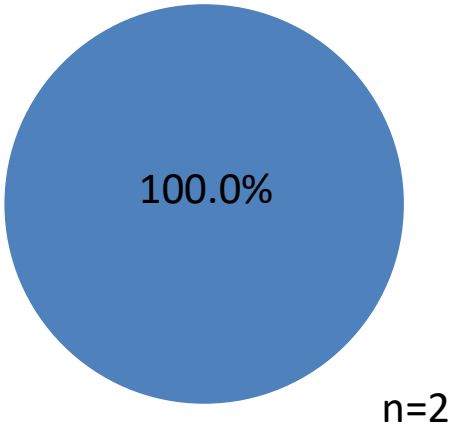
喜界島全体幸福度Q3



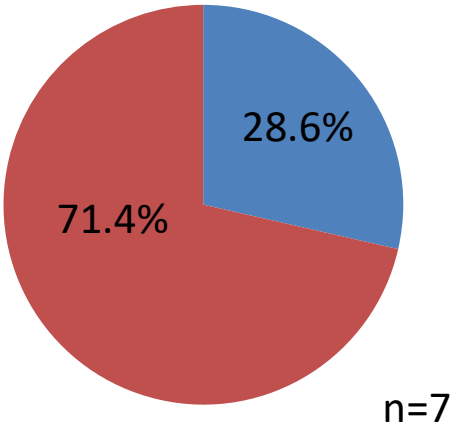
喜界島10代



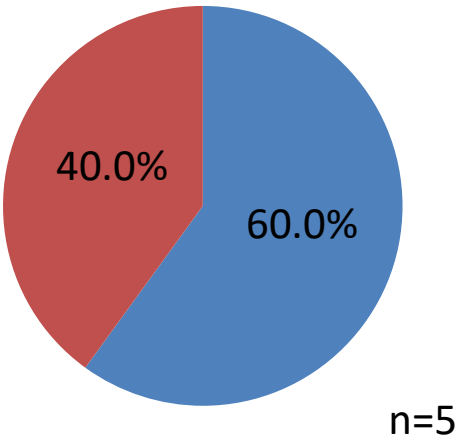
喜界島20代



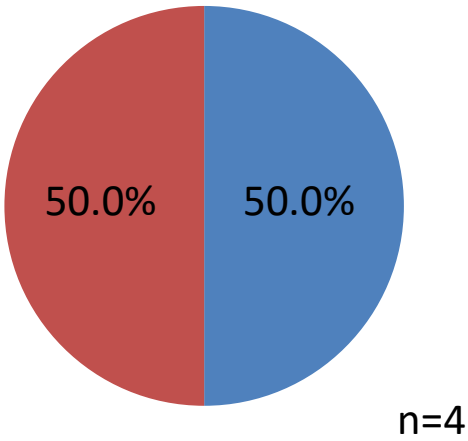
喜界島30代



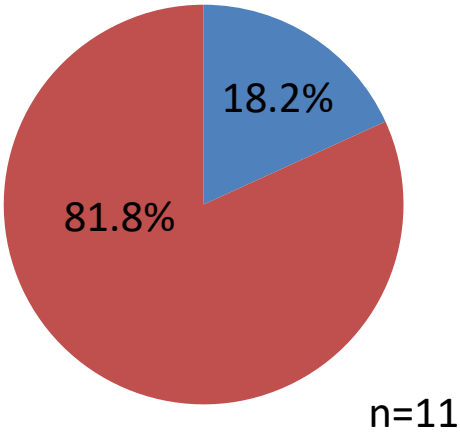
喜界島40代



喜界島50代



喜界島60代



徳之島

アンケート項目

徳之島では独自のアンケート項目を設定していない。各島共通のアンケート（DREAMS COME TRUE度）のみへの回答を依頼している。

回答者属性（DREAMS COME TRUE度）

徳之島年代別回答者数

（単位：人、％）

年代	人数	構成比
10代	33	17.4
20代	11	5.8
30代	24	12.6
40代	25	13.2
50代	20	10.5
60代以上	77	40.5
計	190	100.0

徳之島回答者男女比

（単位：人、％）

性別	人数	構成比
男性	94	49.5
女性	95	50.0
未回答	1	0.5
計	190	100.0

沖永良部島

アンケート項目

○ 島の魅力

沖永良部島を愛する人達を示す指標。

○ 新商品数

沖永良部島で地域資源を活用した特産品開発を示す指標。

※なお、上記2つのアンケート項目について、実施計画ではそれぞれ設問を3つ設定しているが、今回のアンケートでは住民向けアンケート項目の2つのみを調査した。

回答者属性

沖永良部島年代別回答者数

（単位：人、%）

年代	人数	構成比
10代	13	12.4
20代	4	3.8
30代	12	11.4
40代	16	15.2
50代	10	9.5
60代以上	50	47.6
計	105	100.0

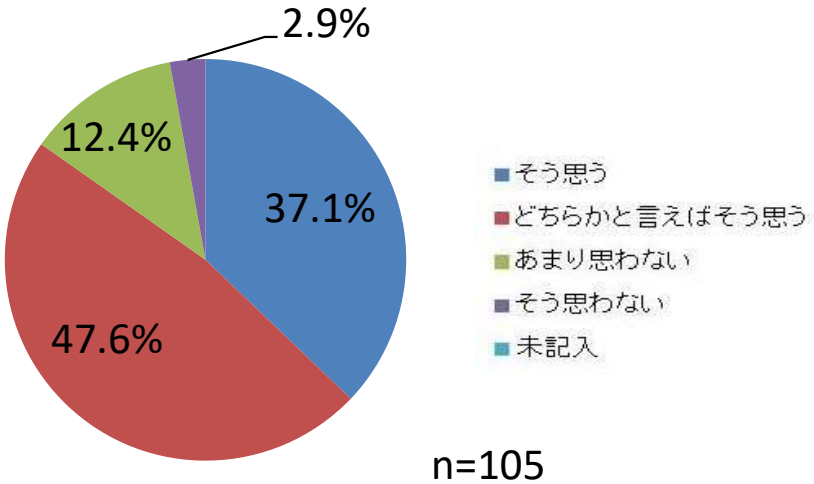
沖永良部島回答者男女比

（単位：人、%）

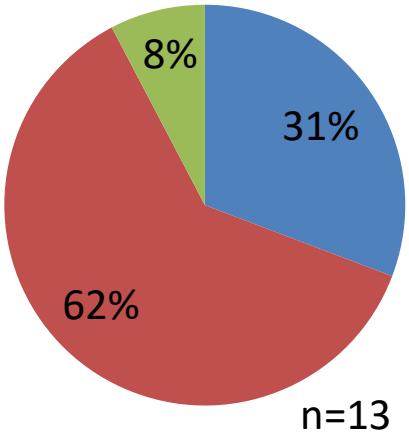
性別	人数	構成比
男性	67	63.8
女性	38	36.2
計	105	100.0

島の魅力
Q1 「この島がとても魅力的な島だと思う。」

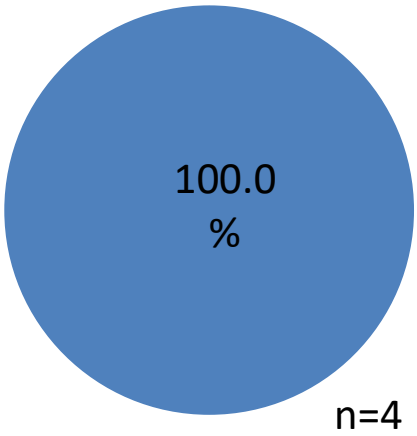
沖永良部島全体島の魅力Q1



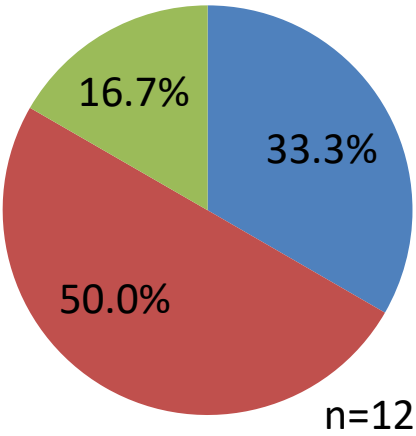
沖永良部島10代



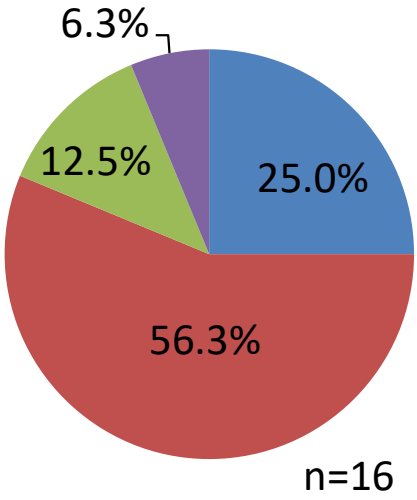
沖永良部島20代



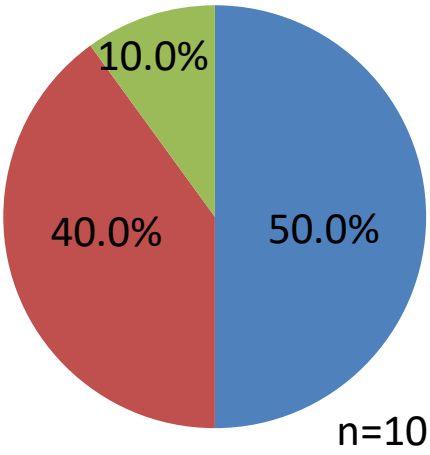
沖永良部島30代



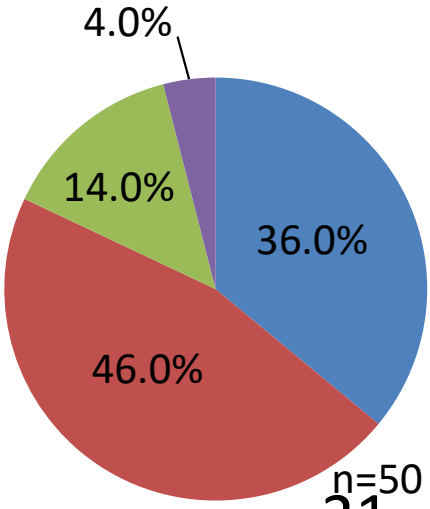
沖永良部島40代



沖永良部島50代



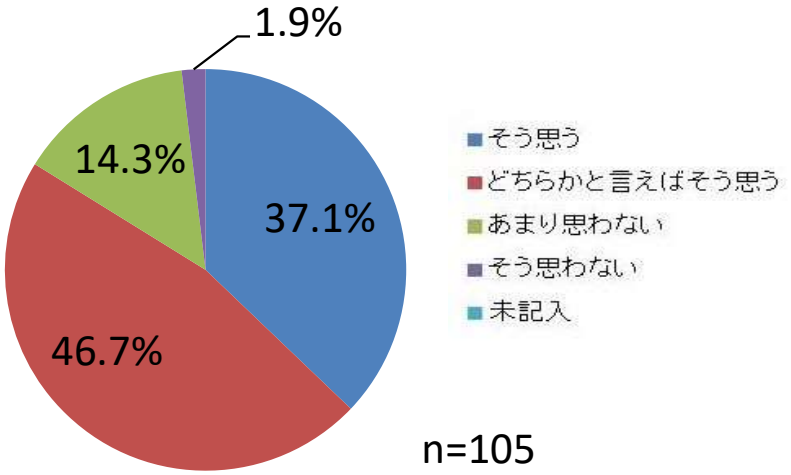
沖永良部島60代



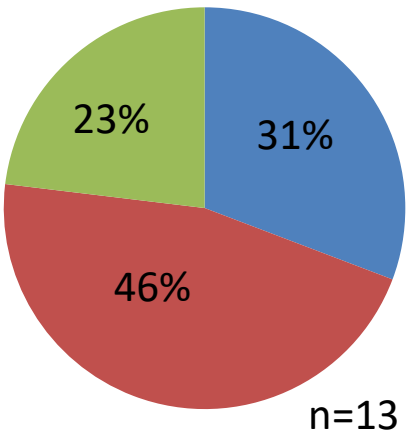
島の魅力

Q2 「この島のことを、島外の人達に対しても
自慢できる島だと思う。」

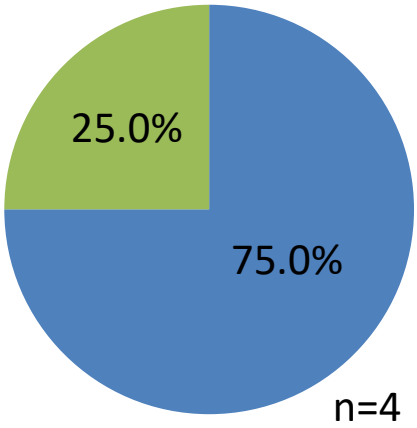
沖永良部島全体島の魅力Q2



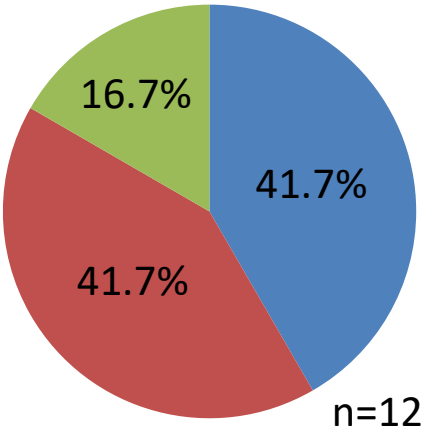
沖永良部島10代



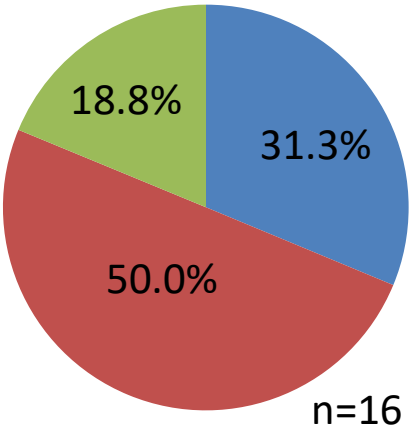
沖永良部島20代



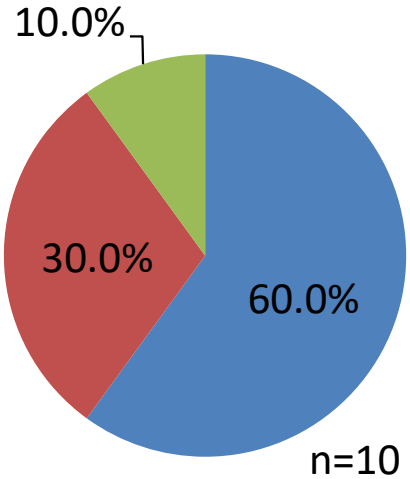
沖永良部島30代



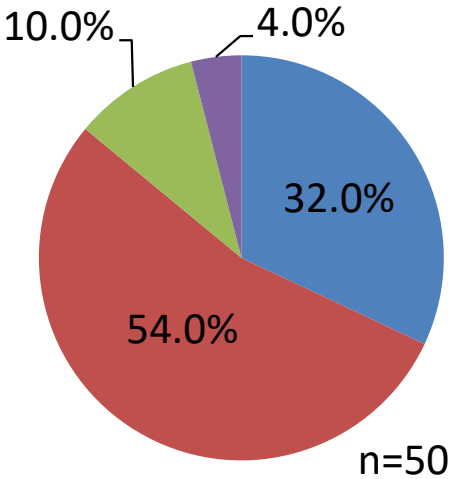
沖永良部島40代



沖永良部島50代



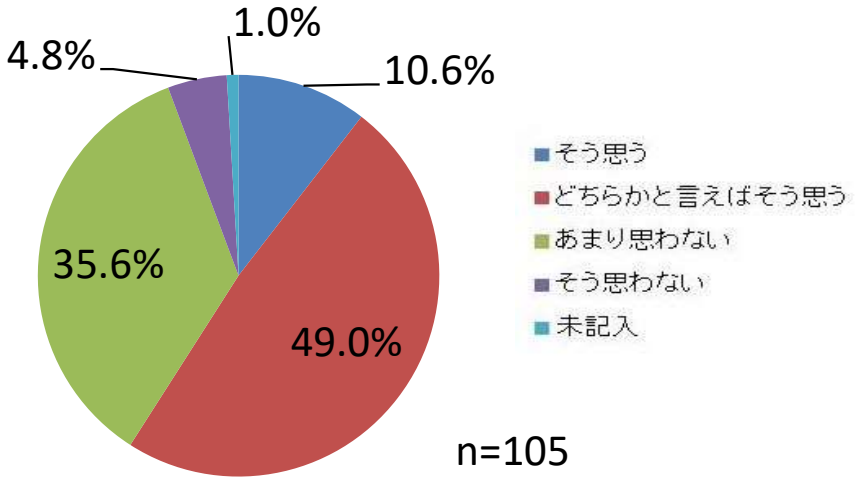
沖永良部島60代



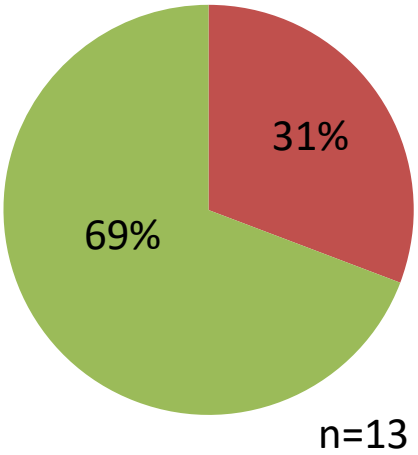
新商品数

Q1 「島の特産品について、新しい商品が増えたと思う。」

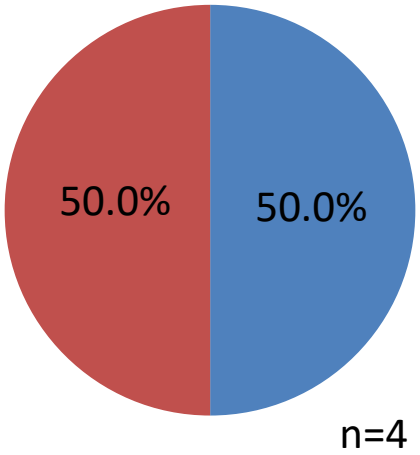
沖永良部島全体新商品Q1



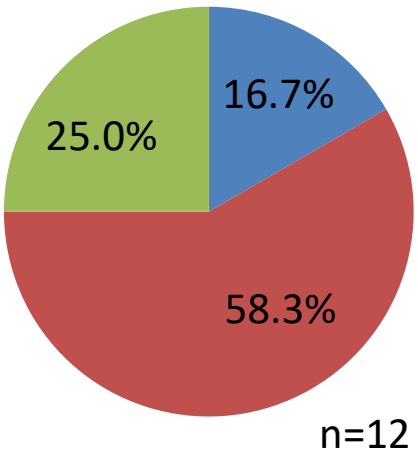
沖永良部島10代



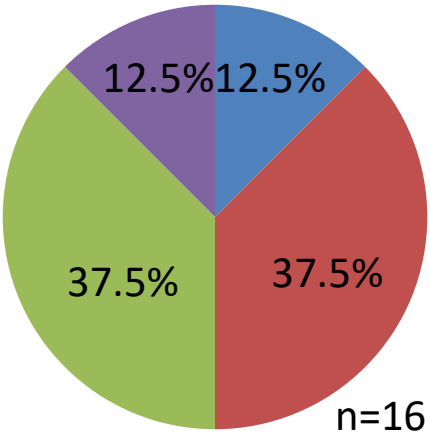
沖永良部島20代



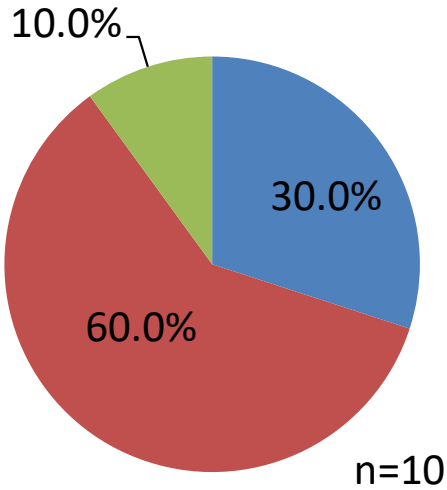
沖永良部島30代



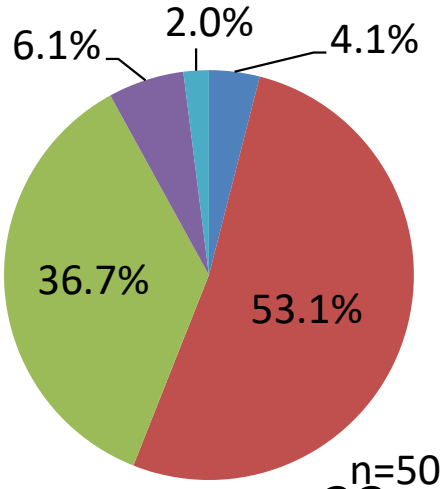
沖永良部島40代



沖永良部島50代



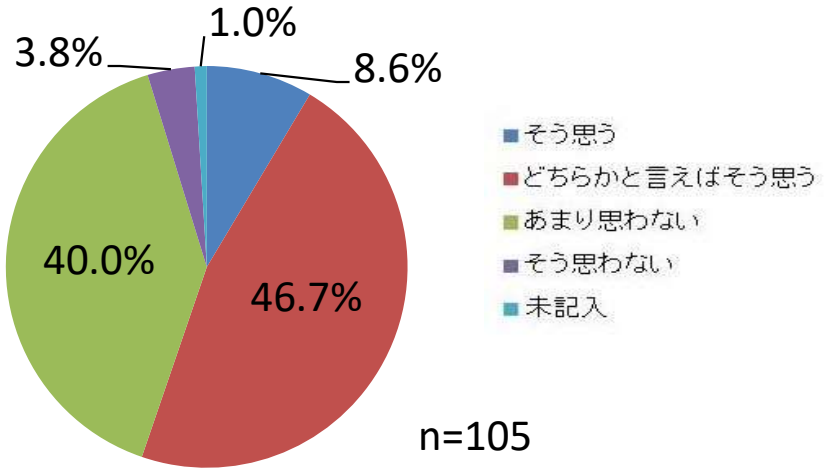
沖永良部島60代



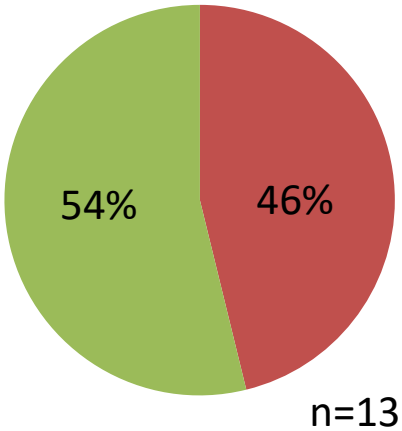
新商品数

Q2 「島の特産品について、魅力的なものが増えたと思う。」

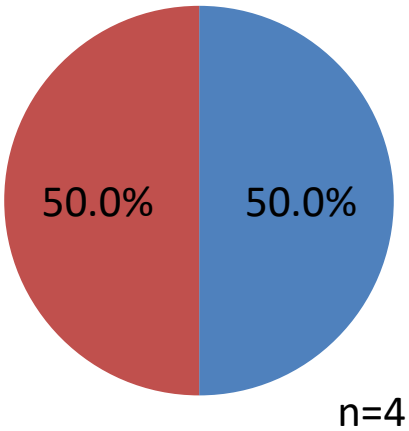
沖永良部島全体新商品Q2



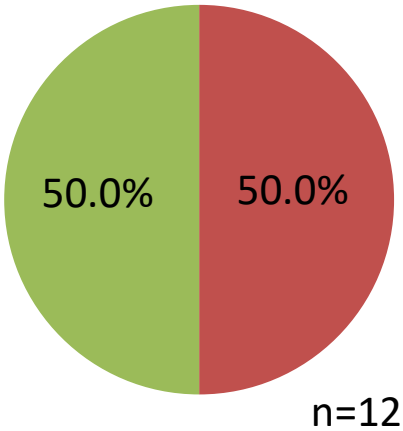
沖永良部島10代



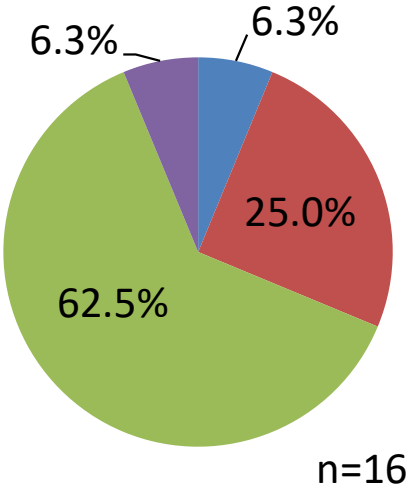
沖永良部島20代



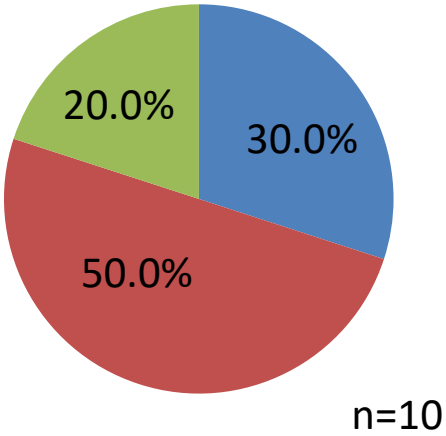
沖永良部島30代



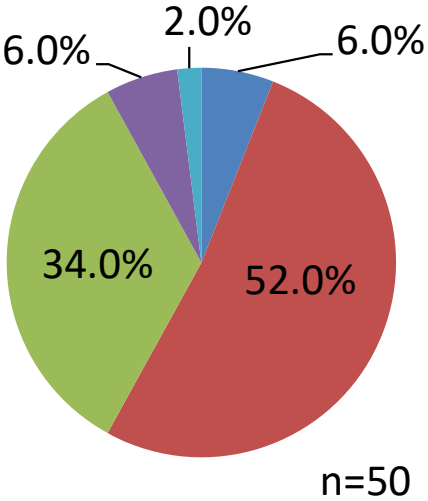
沖永良部島40代



沖永良部島50代



沖永良部島60代



与論島

アンケート項目

○ 伝統文化の継承者数
　生活風土をつないでいくための指標。

○ 豊かな自然の継承
　魅力ある島で暮らすことを実現する際の指標。

○ 安全・安心で豊かな生活環境
　安心した生活を送ることができる指標。

○ 教育環境
　若者が希望を持って暮らすことができる指標。

○ 正しい情報発信とICT技術のある生活環境
　産業の担い手が確保され、次世代につないでいくための指標。

回答者属性

与論島年代別回答者数

（単位：人、%）

年代	人数	構成比
10代	1	3.8
20代	2	7.7
30代	7	26.9
40代	6	23.1
50代	3	11.5
60代以上	7	26.9
未回答	0	0.0
計	26	100.0

与論島回答者男女比

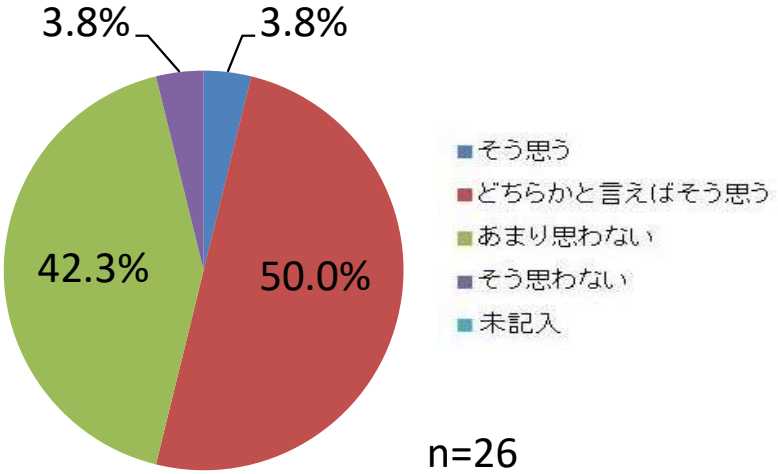
（単位：人、%）

性別	人数	構成比
男性	17	65.4
女性	9	34.6
未回答	0	0.0
計	26	100.0

伝統文化の継承者数

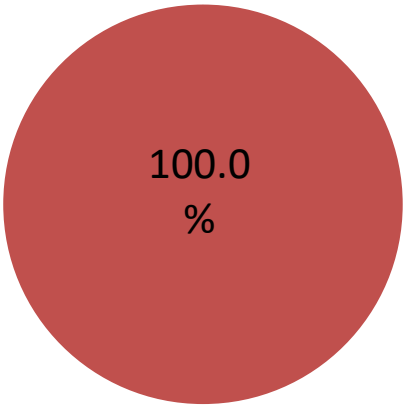
Q1 「伝統文化活動に積極的に取り組んでいる若者が増えた。」

与論島全体伝統文化Q1



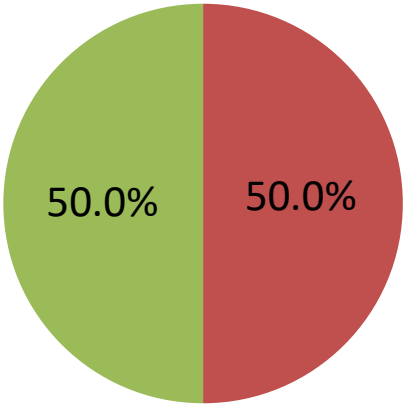
n=26

与論島10代



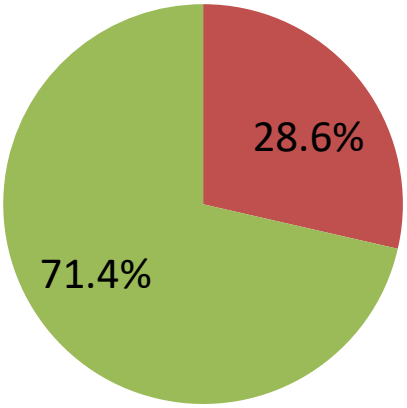
n=1

与論島20代



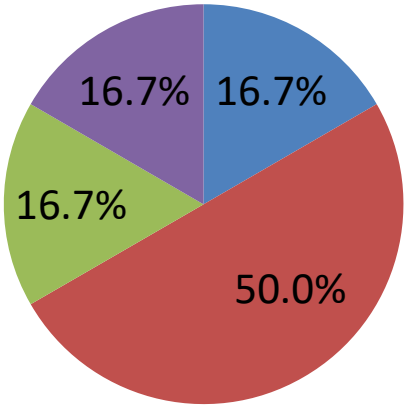
n=2

与論島30代



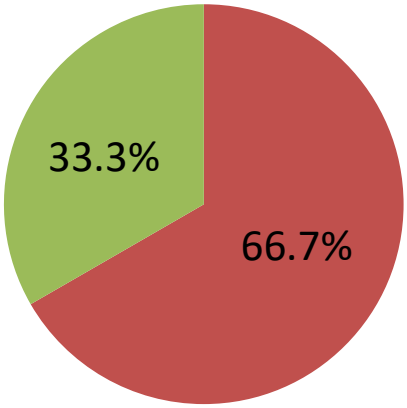
n=7

与論島40代



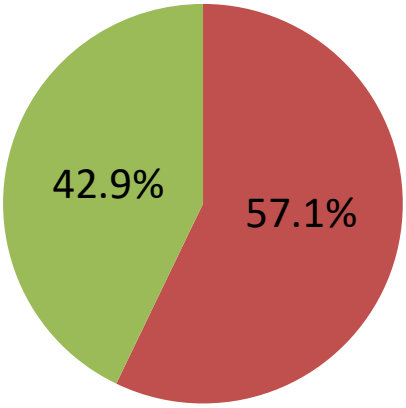
n=6

与論島50代



n=3

与論島60代

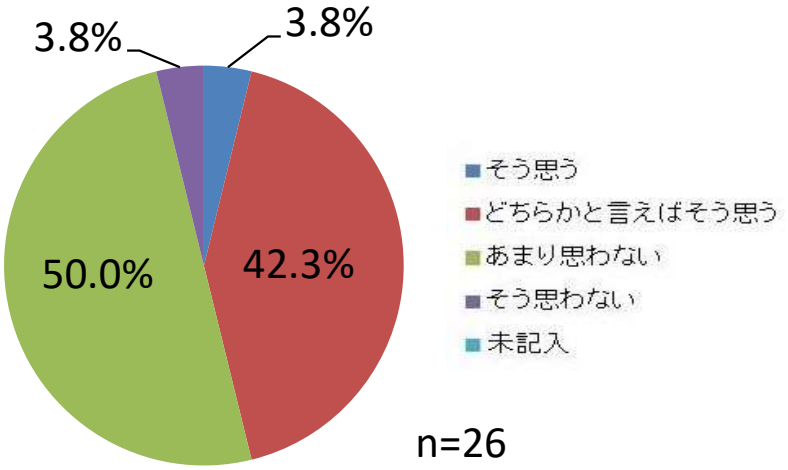


n=7

伝統文化の継承者数

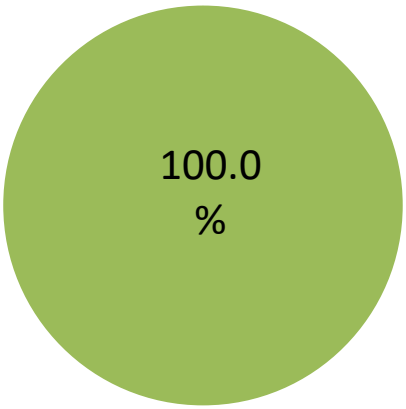
Q2 「伝統文化を守り、次世代へつないでいく
という住民意識が高まった。」

与論島全体伝統文化Q2



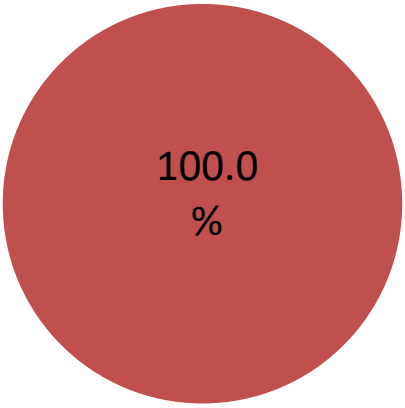
n=26

与論島10代



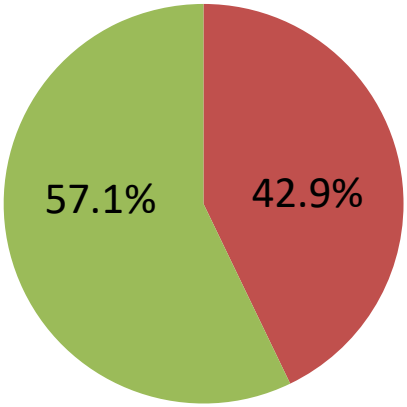
n=1

与論島20代



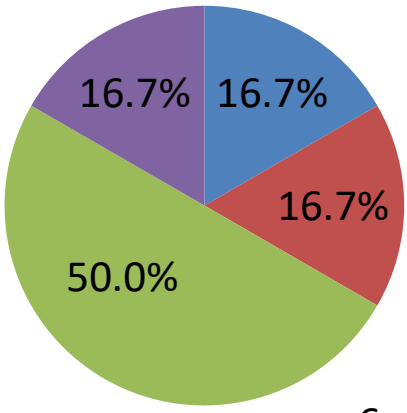
n=2

与論島30代



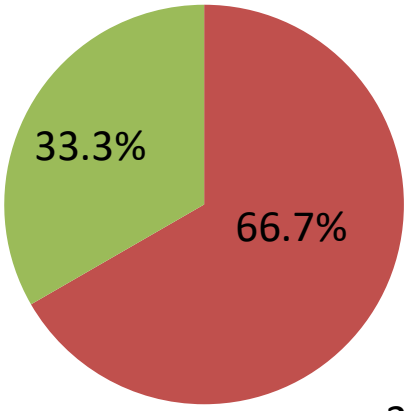
n=7

与論島40代



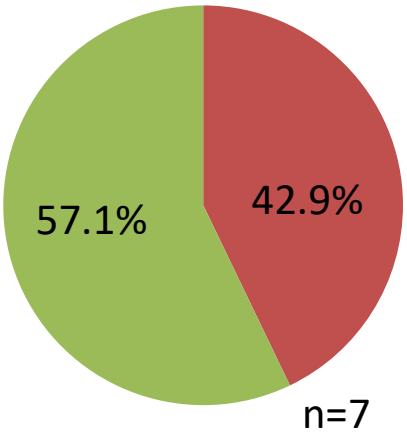
n=6

与論島50代



n=3

与論島60代

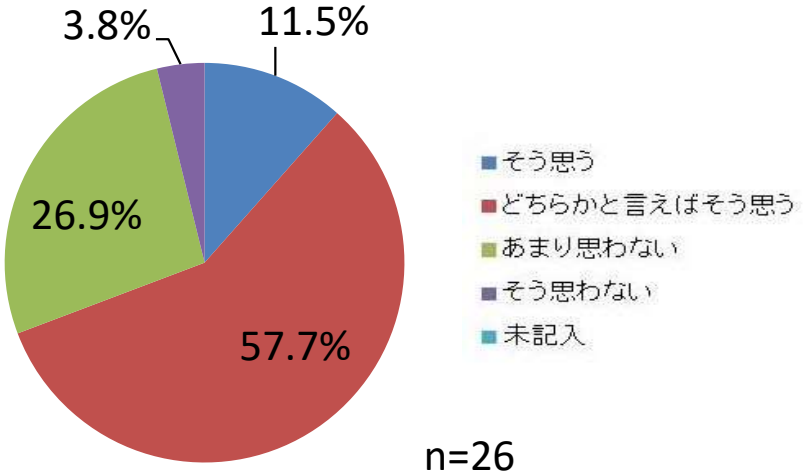


n=7

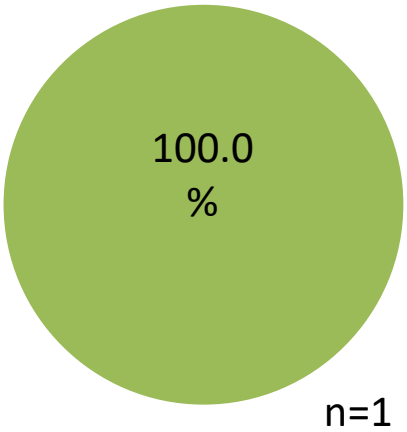
伝統文化の継承者数

Q3 「学校などあらゆる場面で島の伝統文化に触れる機会が増えた。」

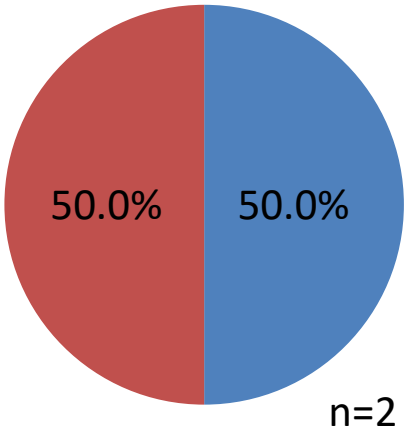
与論島全体伝統文化Q3



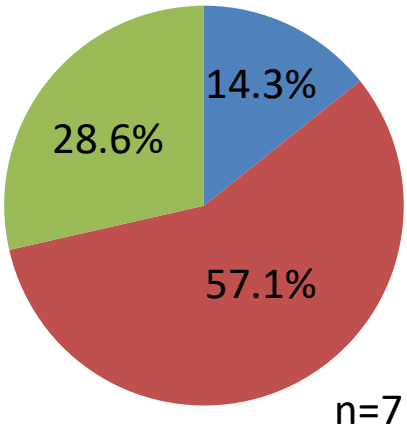
与論島10代



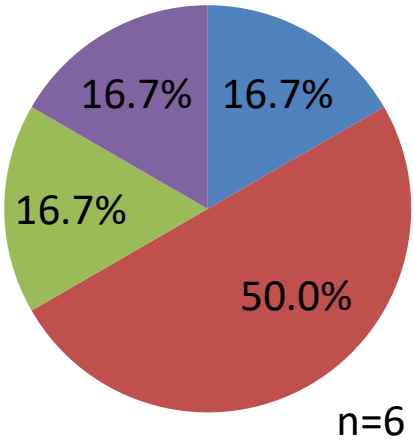
与論島20代



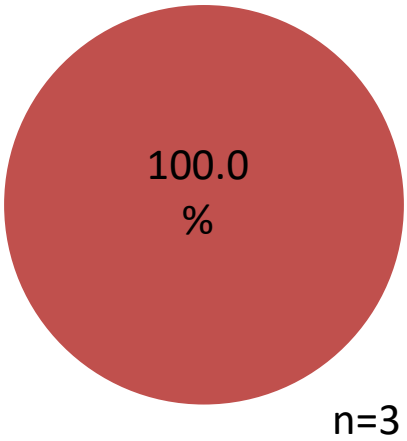
与論島30代



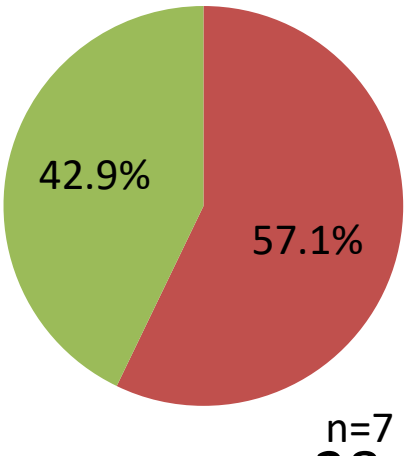
与論島40代



与論島50代



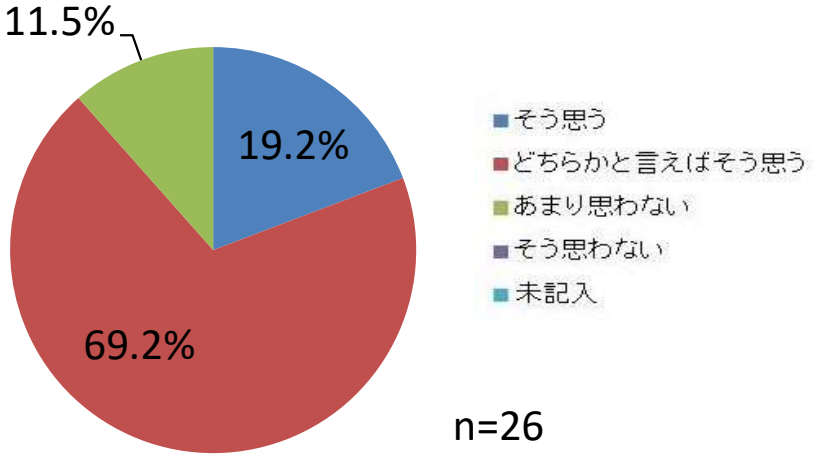
与論島60代



豊かな自然の継承

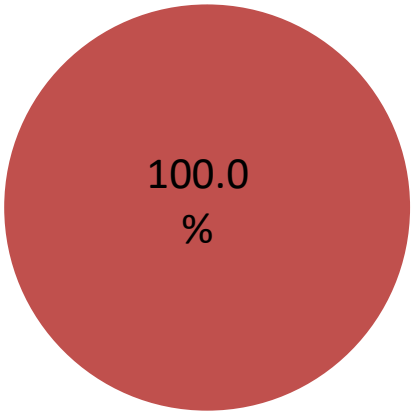
Q1 「次の世代へ残すべき自然を守るという住民意識が高まった。」

与論島全体豊かな自然Q1



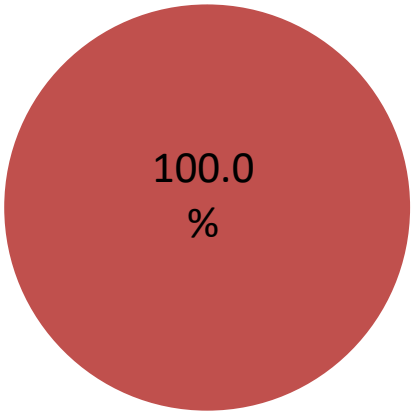
n=26

与論島10代



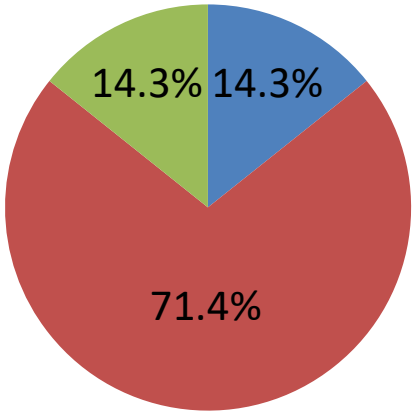
n=1

与論島20代



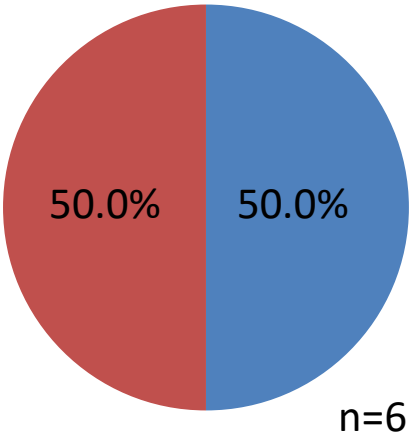
n=2

与論島30代



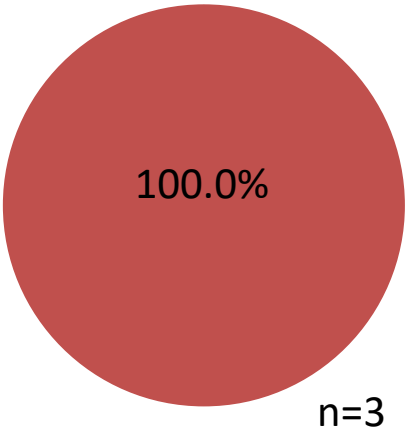
n=7

与論島40代



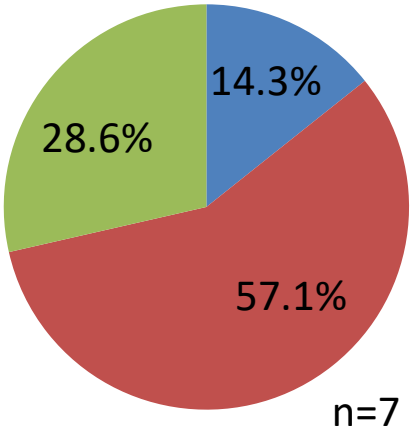
n=6

与論島50代



n=3

与論島60代

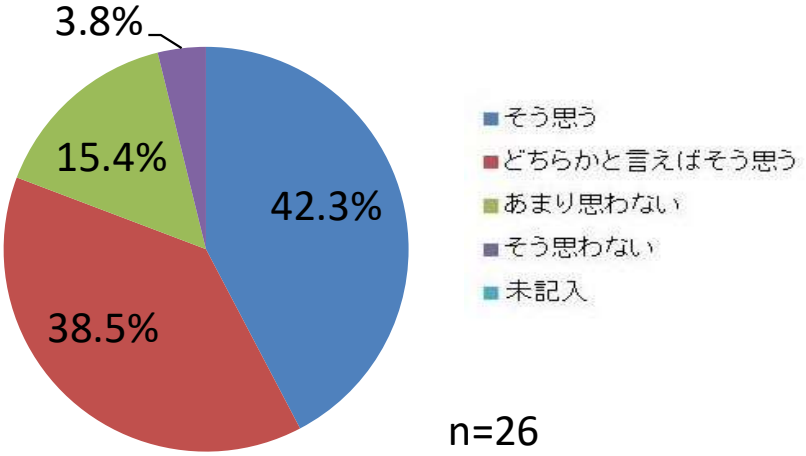


n=7

豊かな自然の継承

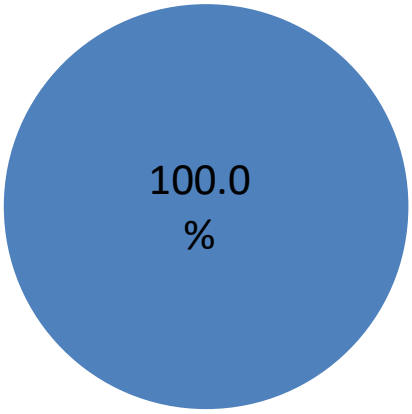
Q2 「他の島と比べても魅力ある自然にあふれていると思う。」

与論島全体豊かな自然Q2



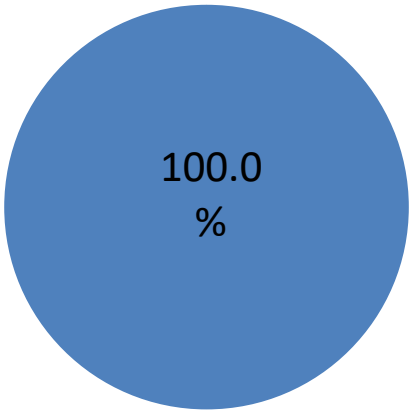
n=26

与論島10代



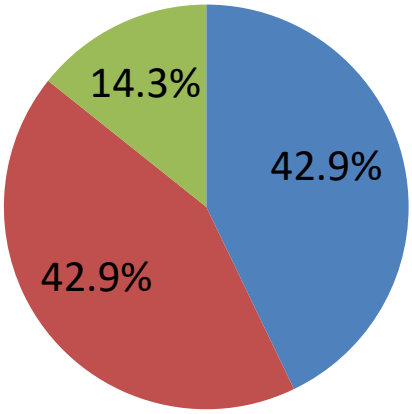
n=1

与論島20代



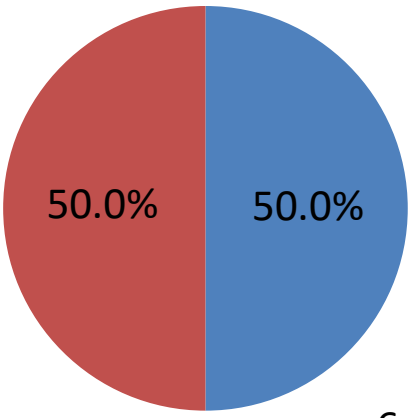
n=2

与論島30代



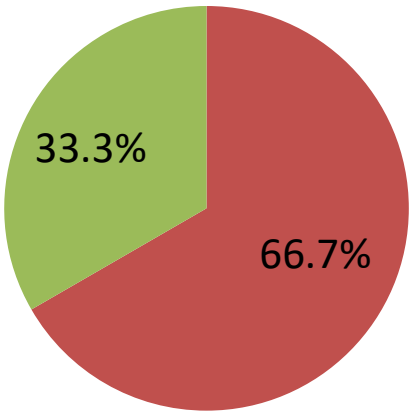
n=7

与論島40代



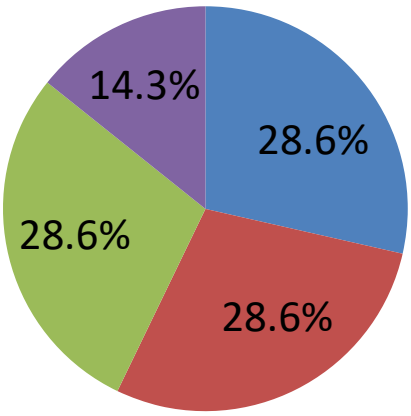
n=6

与論島50代



n=3

与論島60代

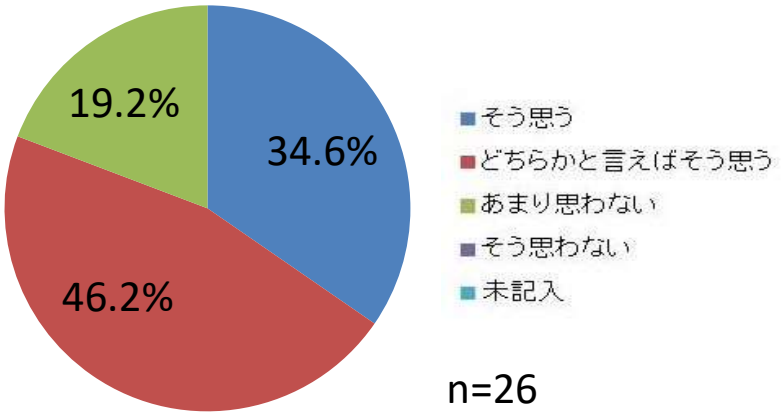


n=7

豊かな自然の継承

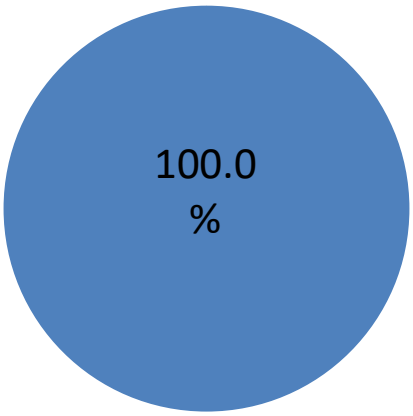
Q3 「自然とともに生きる島の暮らしを誇らしいと思う。」

与論島全体豊かな自然Q3



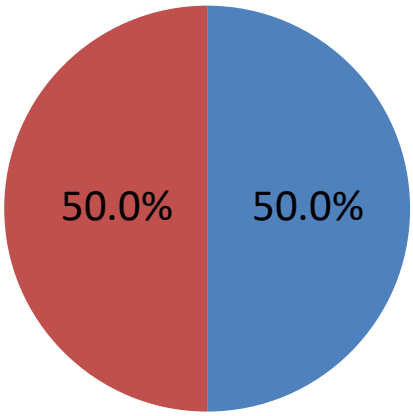
n=26

与論島10代



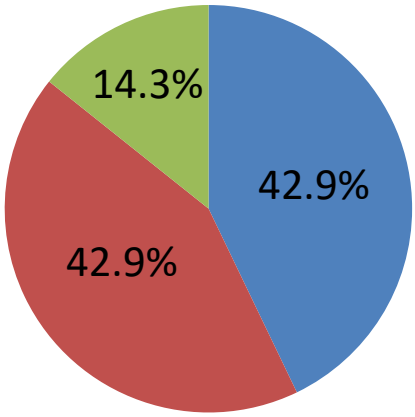
n=1

与論島20代



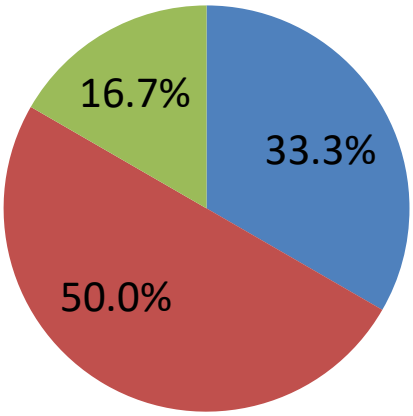
n=2

与論島30代



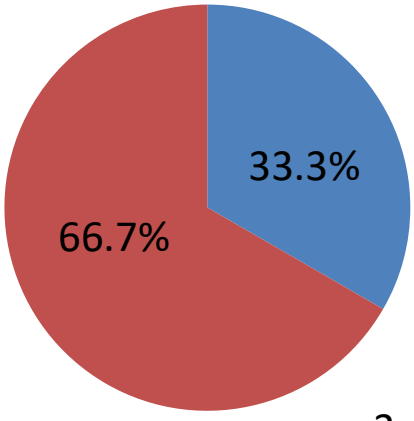
n=7

与論島40代



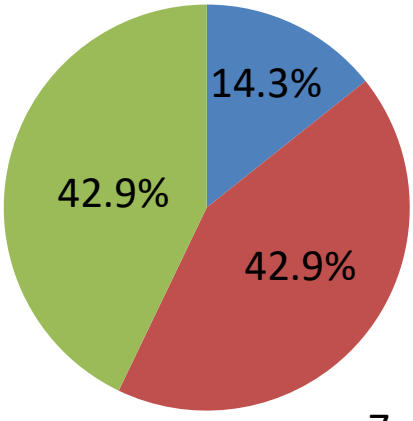
n=6

与論島50代



n=3

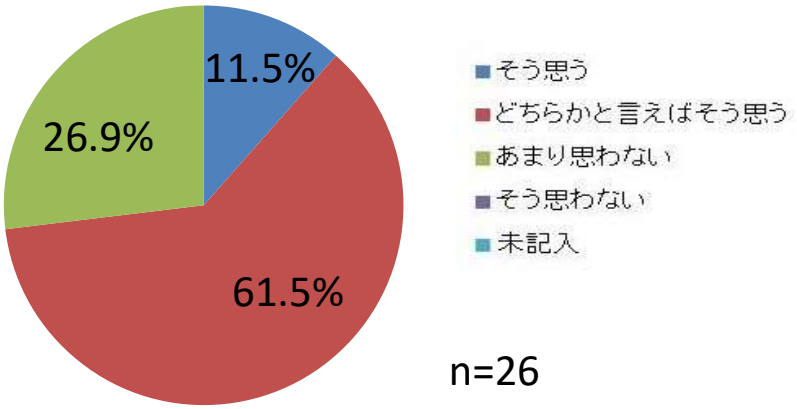
与論島60代



n=7

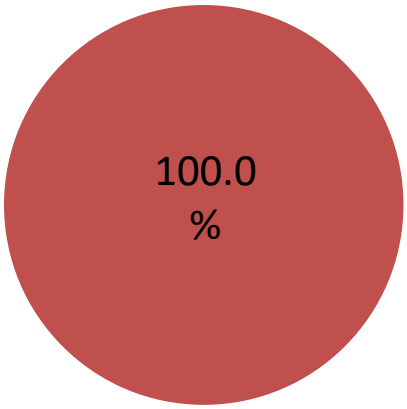
安全・安心で豊かな生活環境
Q1 「自然災害に対する備えについての意識が高まった。」

与論島全体安全安心Q1



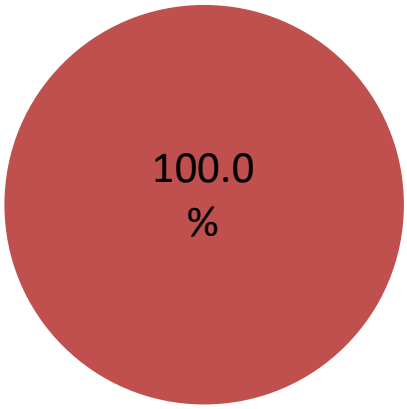
n=26

与論島10代



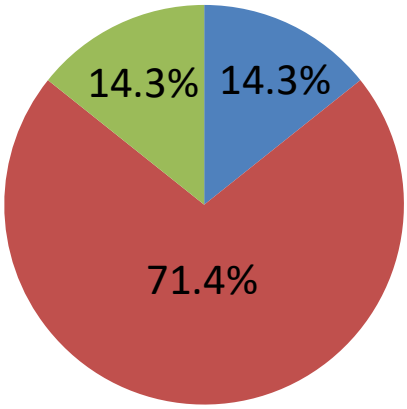
n=1

与論島20代



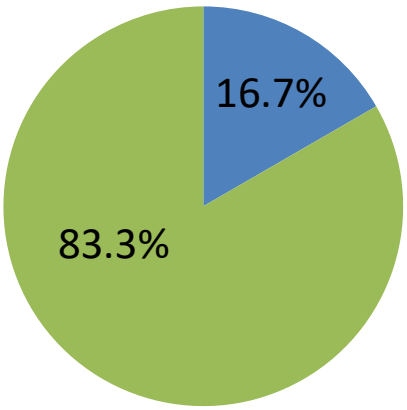
n=2

与論島30代



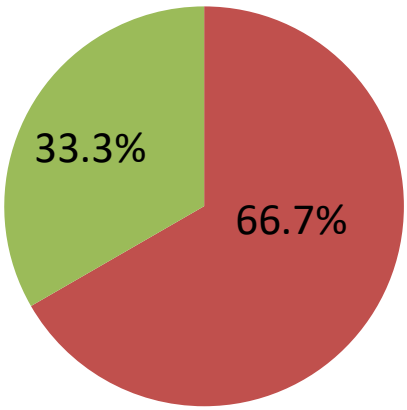
n=7

与論島40代



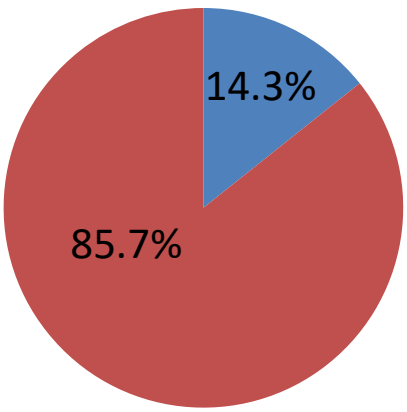
n=6

与論島50代



n=3

与論島60代

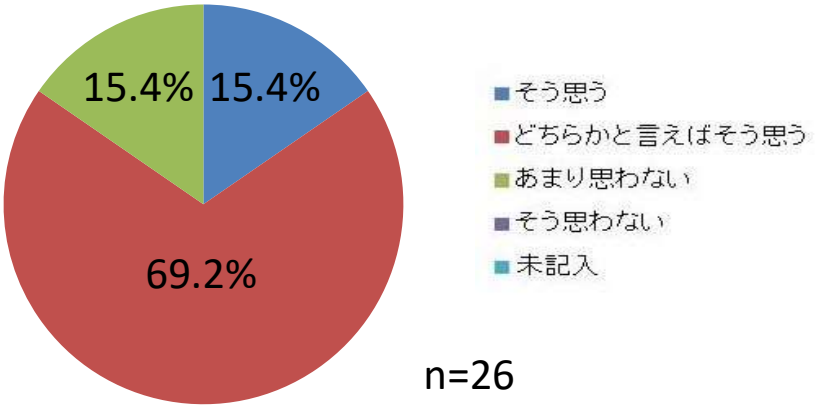


n=7

安全・安心で豊かな生活環境

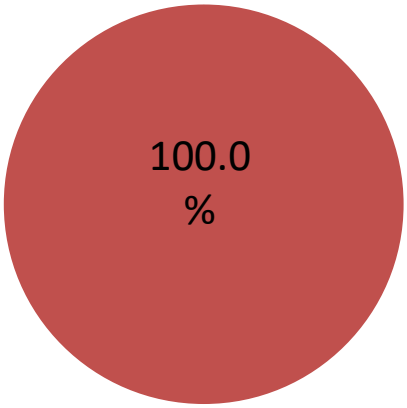
Q2 「台風などが接近する際に早めの避難を心がけるようになった。」

与論島全体安全安心Q2



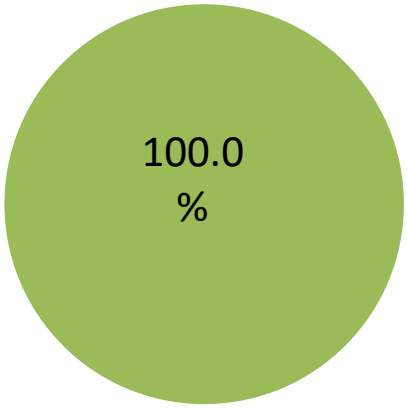
n=26

与論島10代



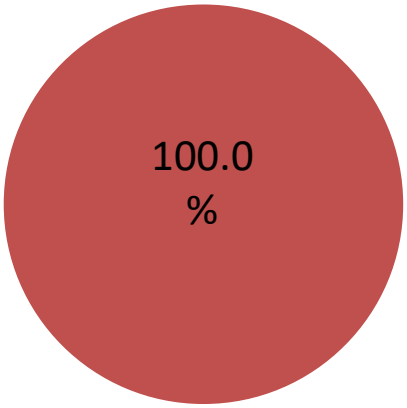
n=1

与論島20代



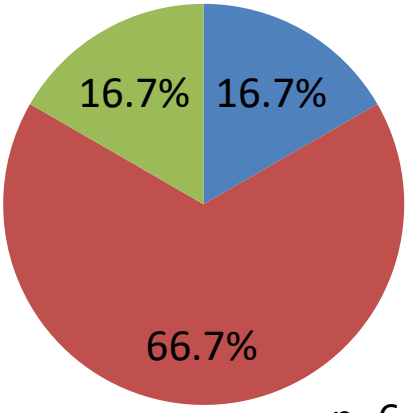
n=2

与論島30代



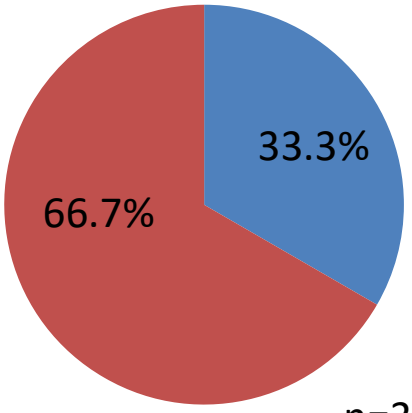
n=7

与論島40代



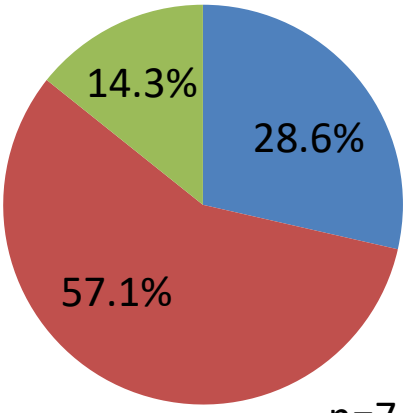
n=6

与論島50代



n=3

与論島60代

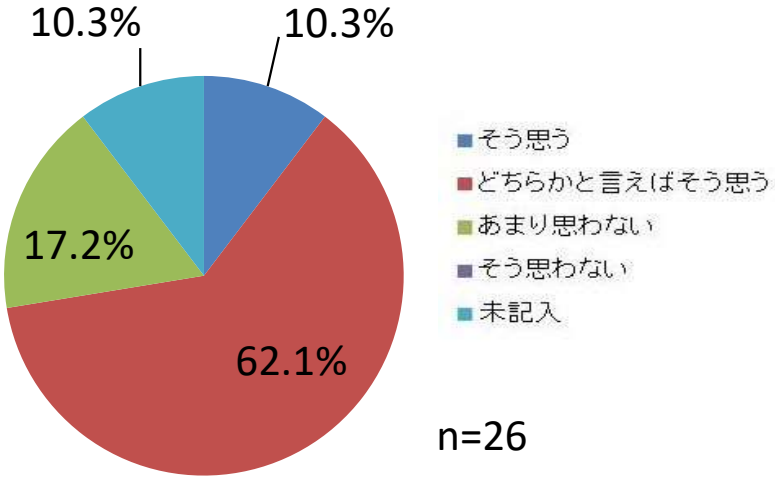


n=7

安全・安心で豊かな生活環境

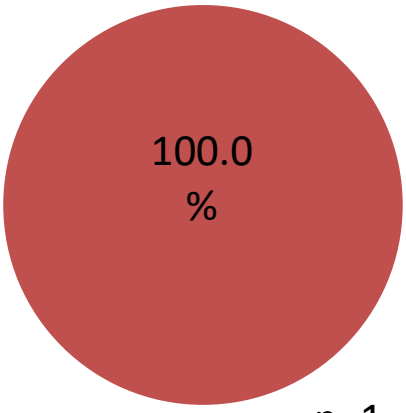
Q3 「災害時の高齢者の避難支援など、地域における防災体制ができていると思う。」

与論島全体安全安心Q3



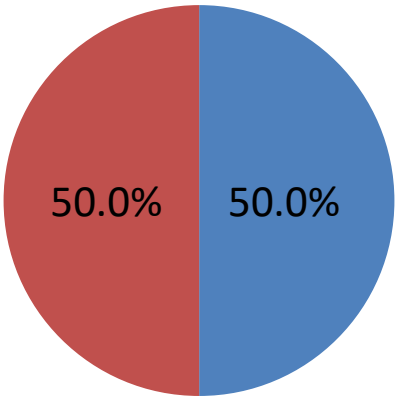
n=26

与論島10代



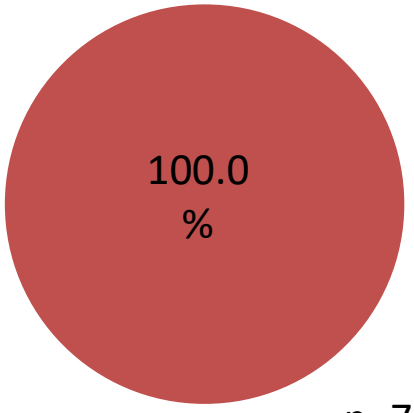
n=1

与論島20代



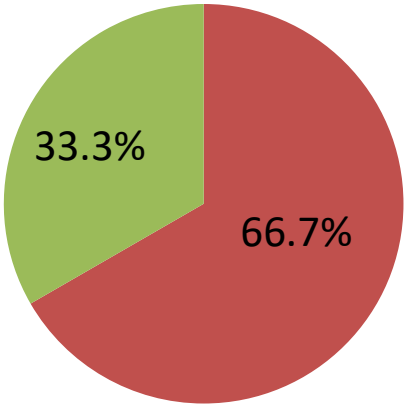
n=2

与論島30代



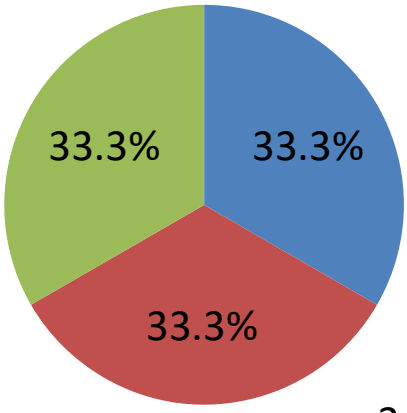
n=7

与論島40代



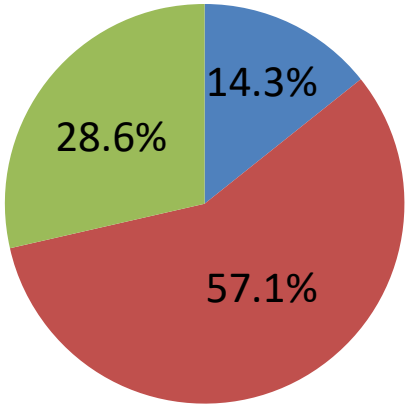
n=6

与論島50代



n=3

与論島60代

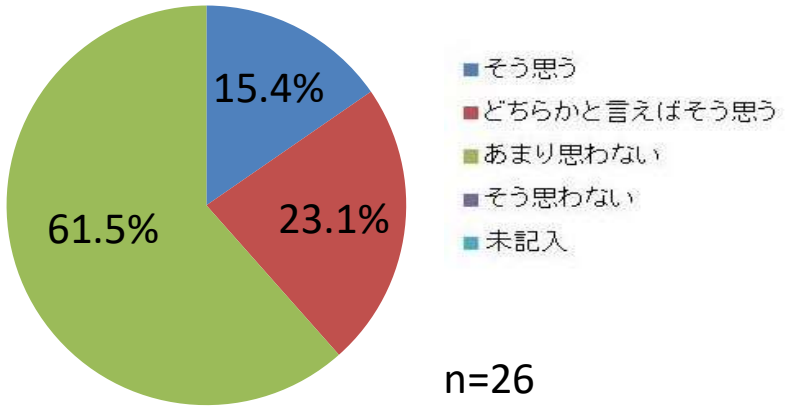


n=7

教育環境

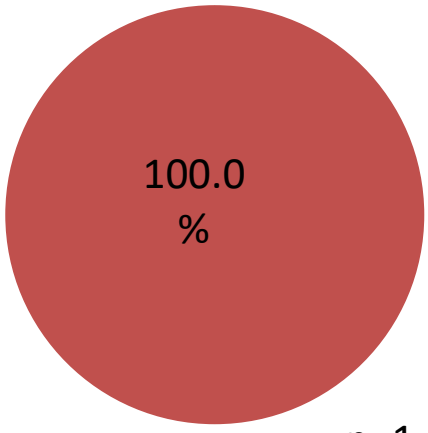
Q1 「本土にも引けを取らない教育環境に恵まれていると思う。」

与論島全体教育環境Q1



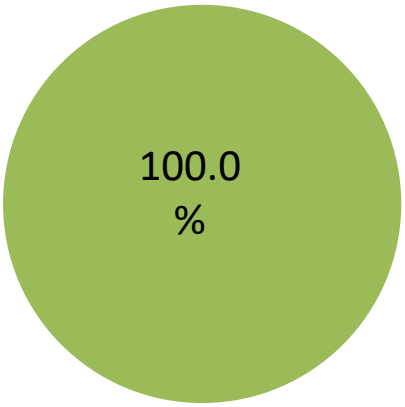
n=26

与論島10代



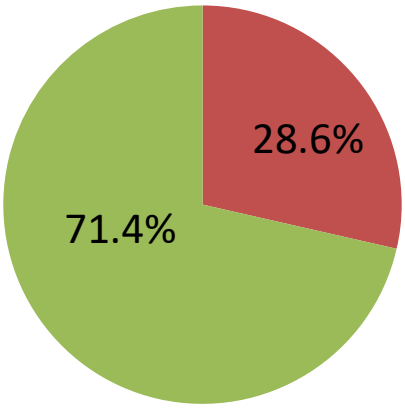
n=1

与論島20代



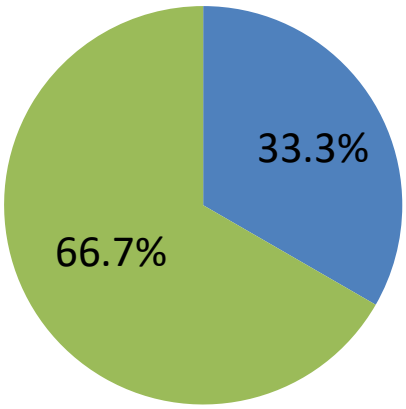
n=2

与論島30代



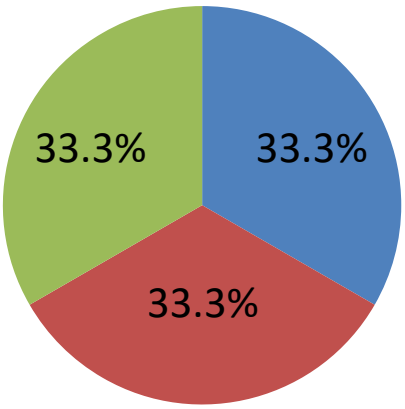
n=7

与論島40代



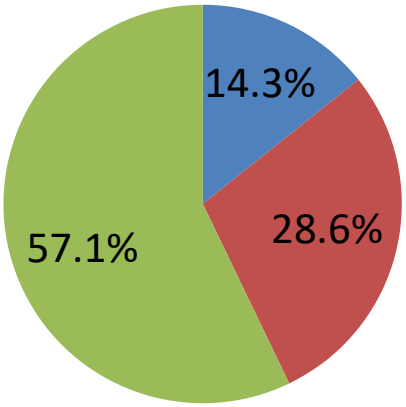
n=6

与論島50代



n=3

与論島60代

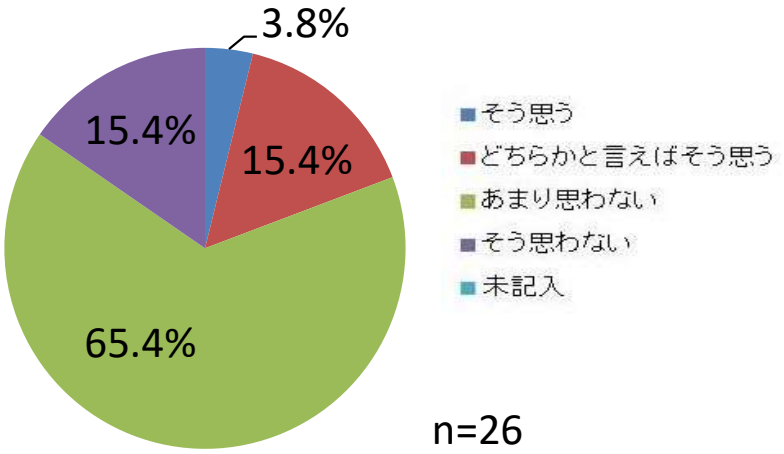


n=7

教育環境

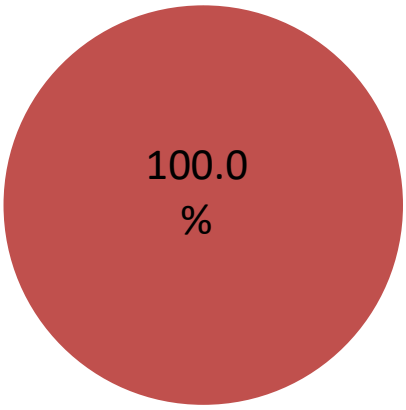
Q2 「島外の学校より地元の学校に進学を希望する子どもが増えた。」

与論島全体教育環境Q2



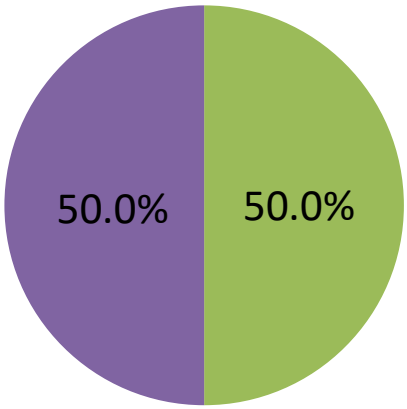
n=26

与論島10代



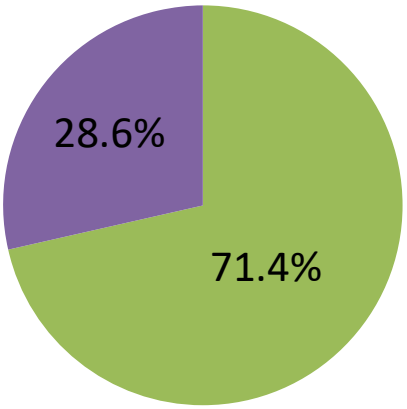
n=1

与論島20代



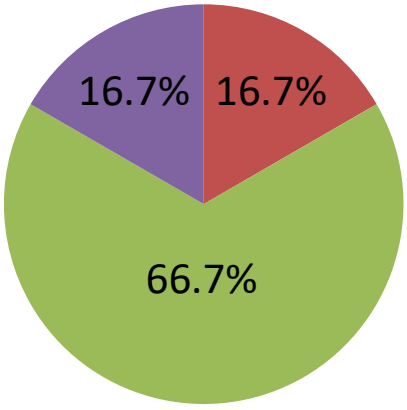
n=2

与論島30代



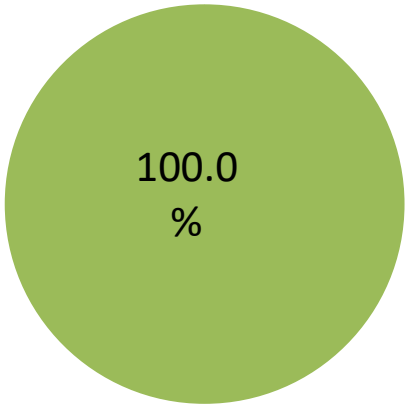
n=7

与論島40代



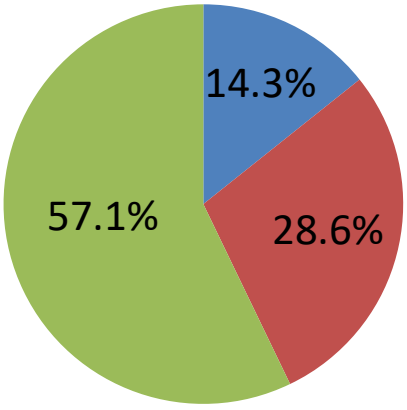
n=6

与論島50代



n=3

与論島60代

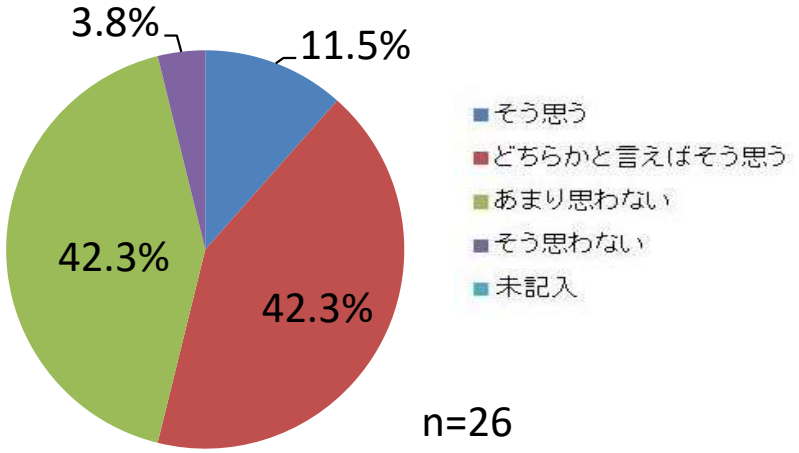


n=7

教育環境

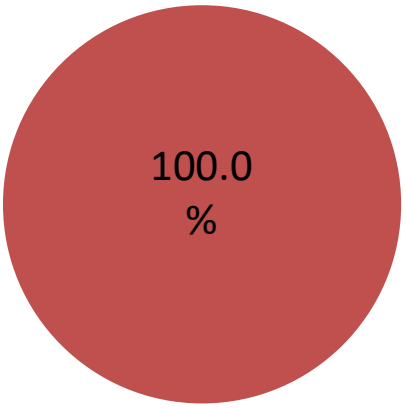
Q3 「島の児童生徒が希望をもって学校生活を送っていると思う。」

与論島全体教育環境Q3



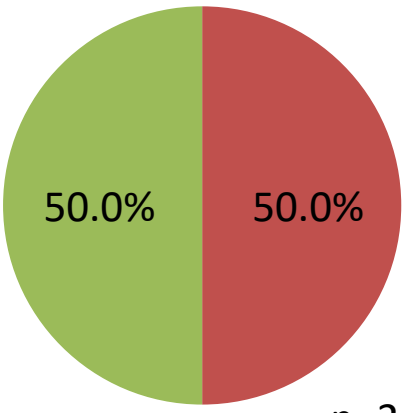
n=26

与論島10代



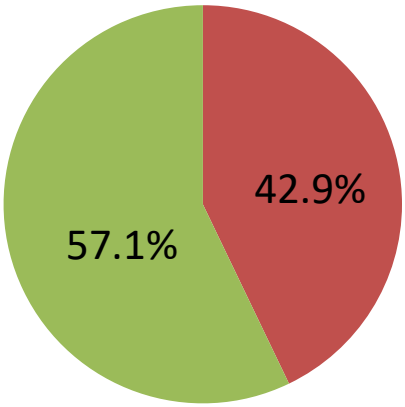
n=1

与論島20代



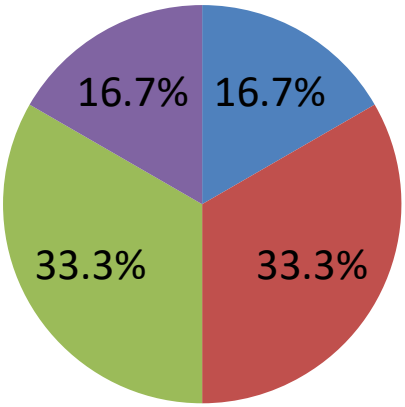
n=2

与論島30代



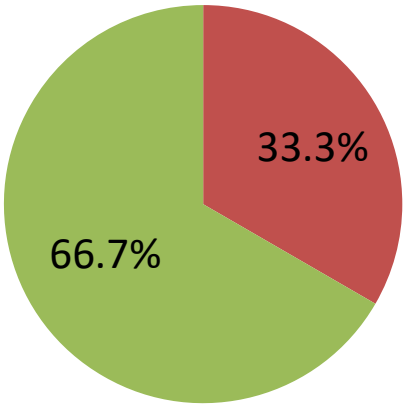
n=7

与論島40代



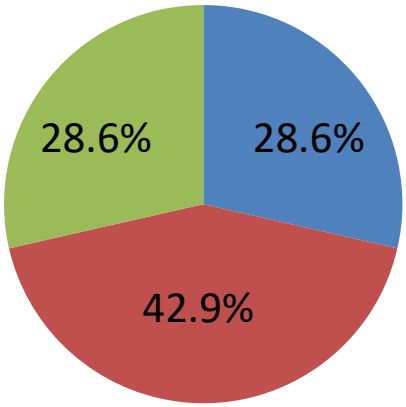
n=6

与論島50代



n=3

与論島60代

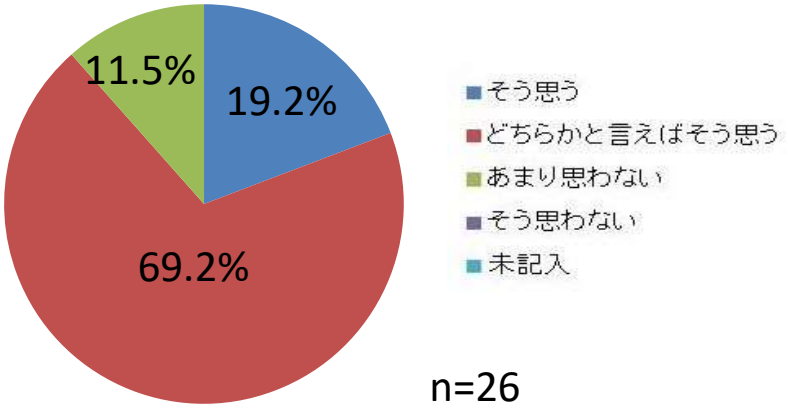


n=7

正しい情報発信とICT技術のある生活環境

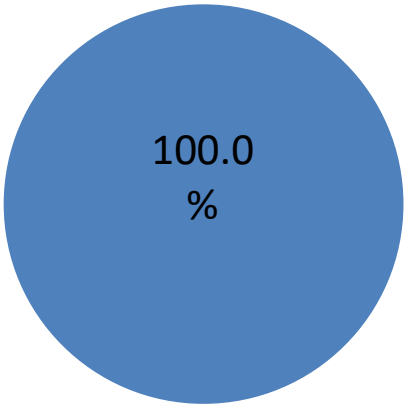
Q1 「「与論島を知っている」という島外の人たちが増えてきている。」

与論島全体ICTQ1



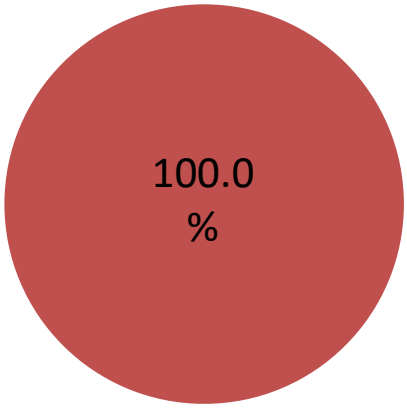
n=26

与論島10代



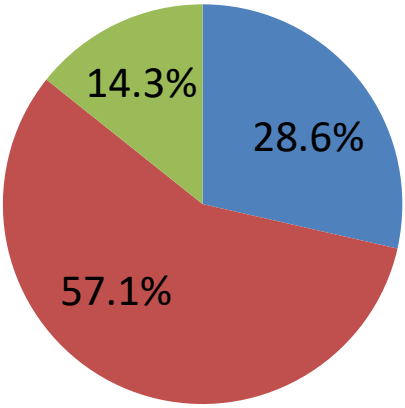
n=1

与論島20代



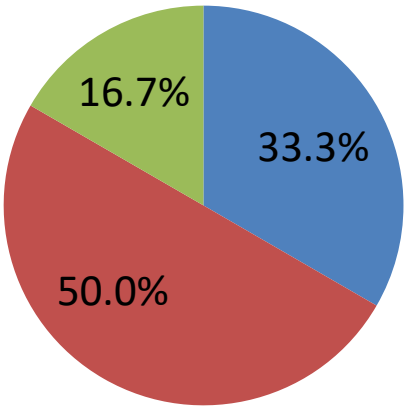
n=2

与論島30代



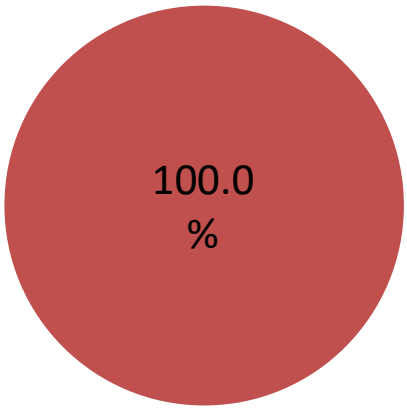
n=7

与論島40代



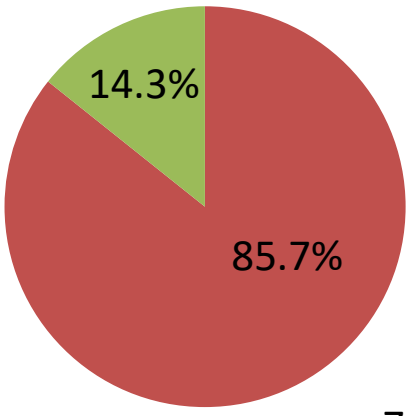
n=6

与論島50代



n=3

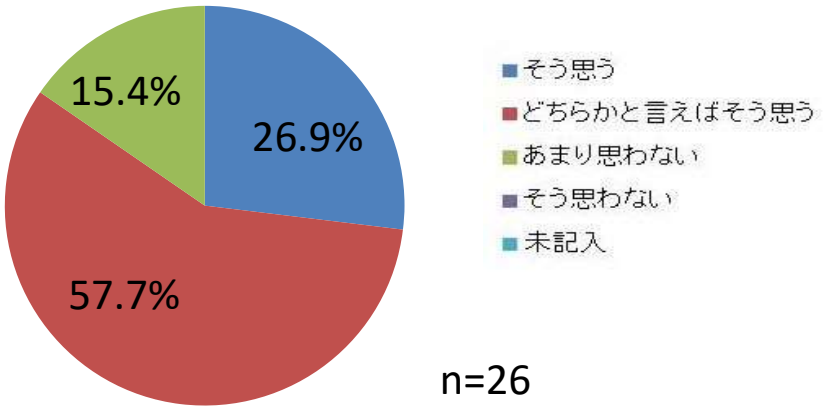
与論島60代



n=7

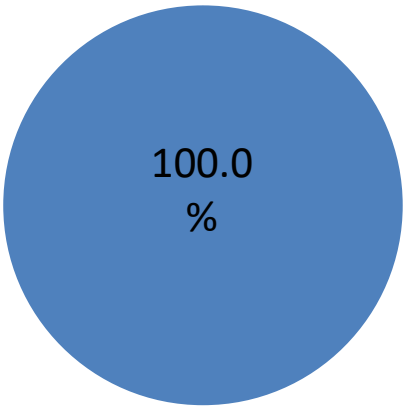
正しい情報発信とICT技術のある生活環境
Q2 「周りにインターネット等を使って与論島をPRしているという人が増えた。」

与論島全体ICTQ2



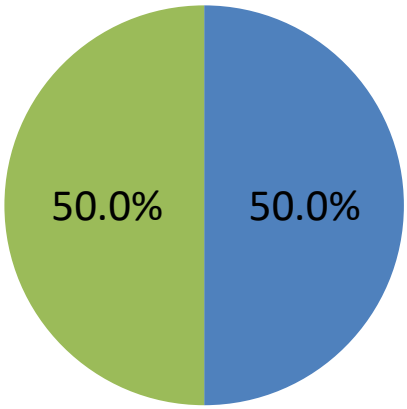
n=26

与論島10代



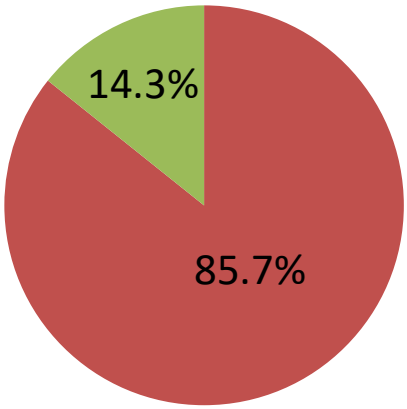
n=1

与論島20代



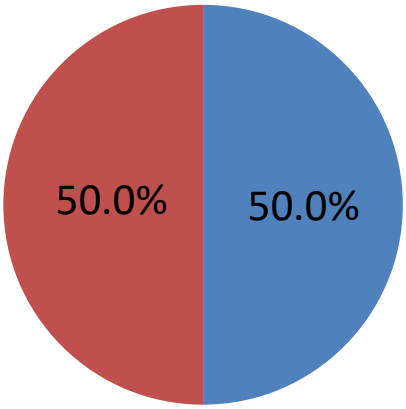
n=2

与論島30代



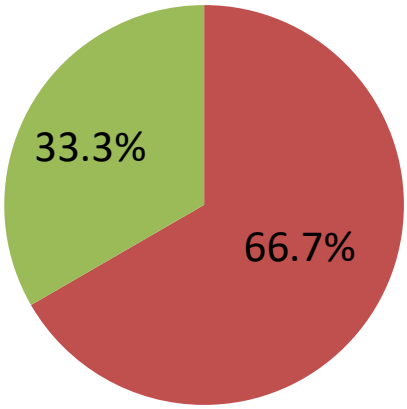
n=7

与論島40代



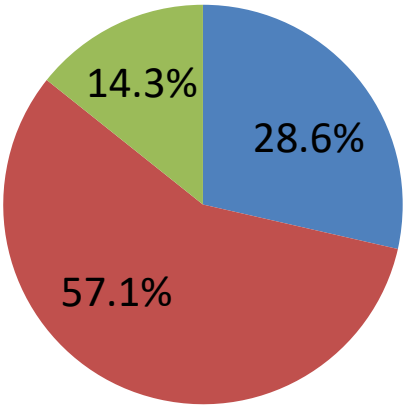
n=6

与論島50代



n=3

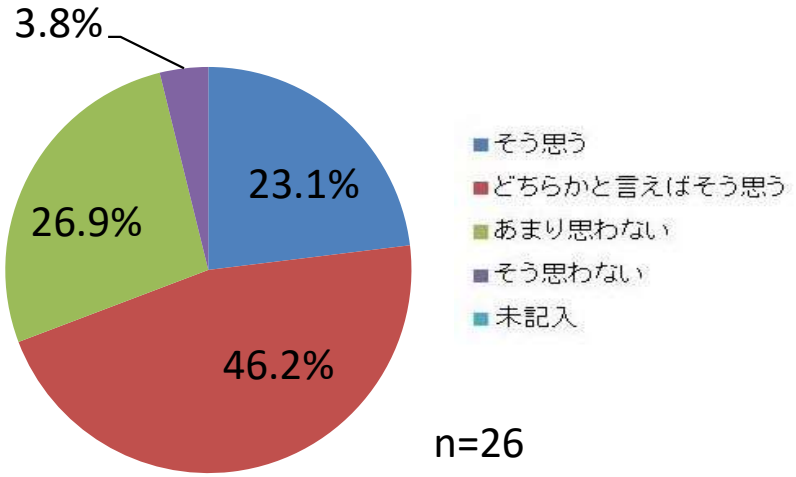
与論島60代



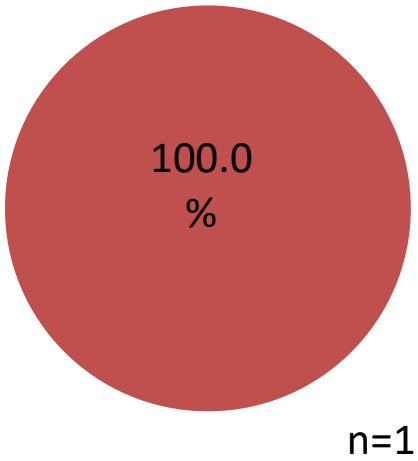
n=7

正しい情報発信とICT技術のある生活環境
Q3 「パソコンやインターネットのことを学べる場所が増えた。」

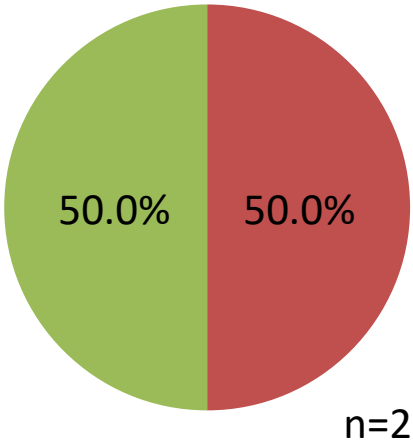
与論島全体ICTQ3



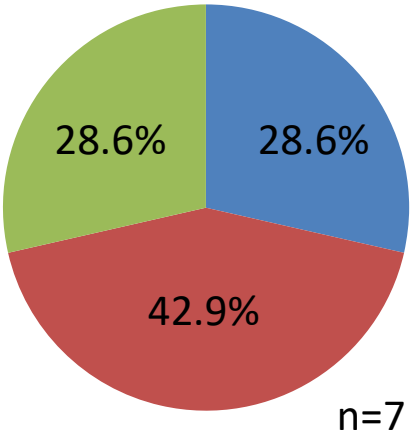
与論島10代



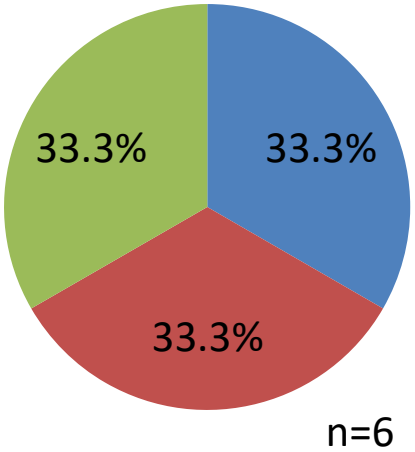
与論島20代



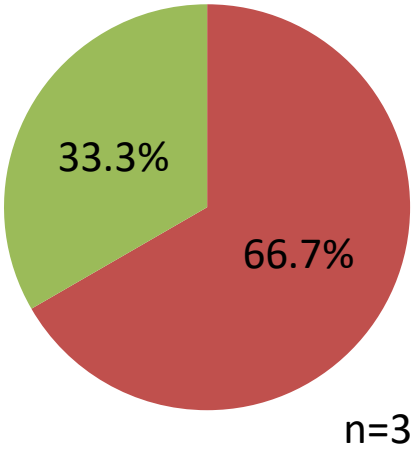
与論島30代



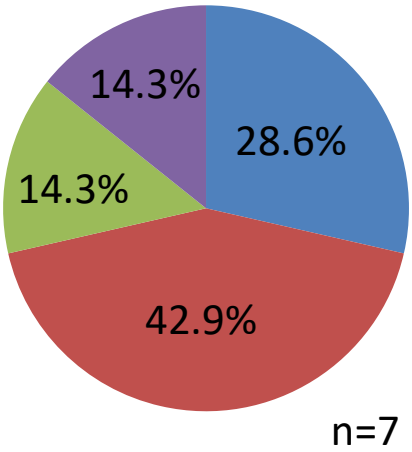
与論島40代



与論島50代



与論島60代

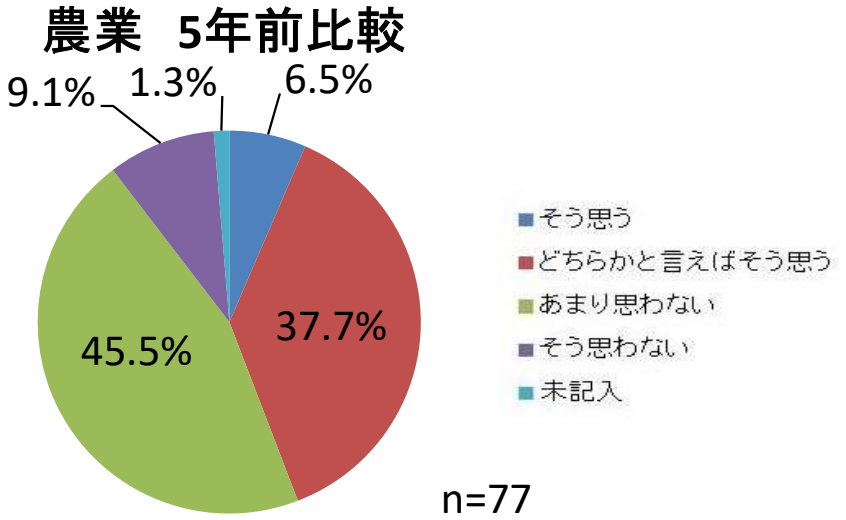


農業分野の個別質問

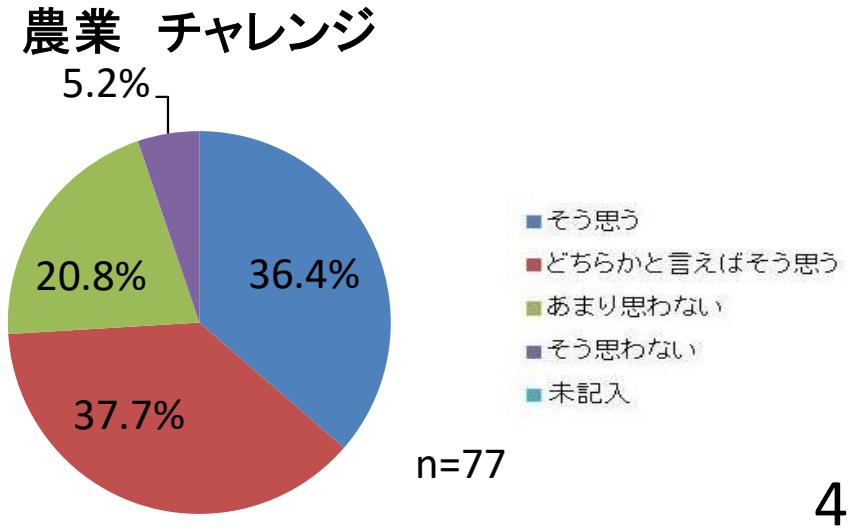
Q1 「主要農産物（サトウキビ・ばれいしょ・花き・肉用牛等）は何ですか？」

1.サトウキビ　20件
2.たんかん、肉用牛　10件
3.パッション　9件
4.花き、果樹　8件
5.野菜　4件
6.ばれいしょ　3件
7.マンゴー、かぼちゃ、里芋　2件
8. ハウス園芸、津之輝、すもも、桑、アザミ、長命草、ラッキョウ、ミント、バジル等ハーブ、さつまいも、はるみ、トマト　各1件

Q2 「5年前と比較して、島の農業は活性化していると感じますか？」



Q3 「あなたは農業分野において新しいことにチャレンジしたいと思いますか？」



農業分野の個別質問

Q4 「チャレンジしたいことについて、具体的にお聞かせください。（複数回答可）」

・品質向上 33件
・新しい農産物への挑戦　29件
・販路拡大 29件
・設備投資 25件
・後継者育成 19件
・六次産業化 15件
・ICT導入 7件
・農業法人の設立 7件

Q5 「新しいことにチャレンジするうえで、課題と感じていることをお聞かせください。」

・金銭面と販売先、有機栽培への転換

・飼料価格の高騰と子牛セリ価格の低下で畜産業が衰退している。町政への賛成、反対で町民が差別されている。

・施設の改修をしたいが、補助等の対象にならないので、１人でもできるようお願いしたい。

・資金調達

・農地の確保

・飼料の高騰の根本的な解決

・年齢も上がりできるだけスマート農業を目指いしているが、資金面が不安

・販売、販路等がとぼしい。

・輸送体制、

・新しく農地を購入したいが、資金不足。
・肉用牛の価格低迷。
・島外出荷にかかる輸送経費の負担。
・後継者がいない。
・強い農業者（その町の推奨作物や生産量の多い作物を生産している人）に対しての助成は充実している方かなと思う。ただ今後は農業に関わりたい人材（第二次・第三次産業者）や6次産業の観点から新たな産業を起こしたい人、農業の人材不足に対して人材派遣等を行いたい人といった生産以外でも農業を盛り上げたい参入したい人や団体（組織や企業）に対してもチャレンジできる事業や政策があった方が、農家の手助けや農家の困りごと解決になると思う。行政だけが農家の困りごとを全て解決できない。地域の中で農業をキーワードに助け合える人材がたくさんいることで農家は作物に対してもっと集中でき、既存のルートだけでない新たなルートの構築により高収益にも繋がる。最終的に、目的である我が町の農業振興に繋がる。・資金調達、知識取得
・チャレンジしたい気持ちはあるが、現実問題資金面がある。補助がないと難しい。少しでも背中を押してくれるサポートがあればチャンスは広がると考える。
・できることなら、大和村の特産品にと思っているが、商品の管理、販売方法など、どこに相談すれば良いのかわからない。
・化成肥料の価格高騰
・販路拡大をしてほしい。耕作しても販路先がない。
・意識改革。

・身内の理解。
・作物の情報、資材確保。
・Iターン者に対して地域も行政もすべてに厳しい。
・労働力。
・農業は、毎年、天候等に左右され、ずっと同じやり方ではないところが、難しいところだと思う。基本や指導してもらった事を素直に聞き入れ、挑戦していきたいと思う。また、経験値をもっと高めていきたいです。
・航空輸送便の定期化。
・人材不足。
・飼料、肥料の価格が高い。
・年をとること。
・年を若くなりたい！！
・人材と資金調達。
・販路拡大、技術の向上。
・流通のハンデ。先日の台風の時のように船が止まって出荷が長期できない時の不安。
・作物の安定生産と品質向上。パッションフルーツの全国的な認知度向上。
・農地を借りること。良い農地を見つけること。
・お金、年齢。
・農地確保、拡大。
・人材と有効活用、次世代育成。
・少子高齢化に伴う人員不足、担い手不足が否めない。県外からの派遣要員などが充実するとよい。

・島に農産物を存続させようという意識。

・農業資材の価格高騰。

・JAとの連携、労力の確保。

・１人では何もできない。仲間が必要。

・農地を借りたいが、賃借の仲介がうまくいかない。

・物資の値上げ、JAの協力。

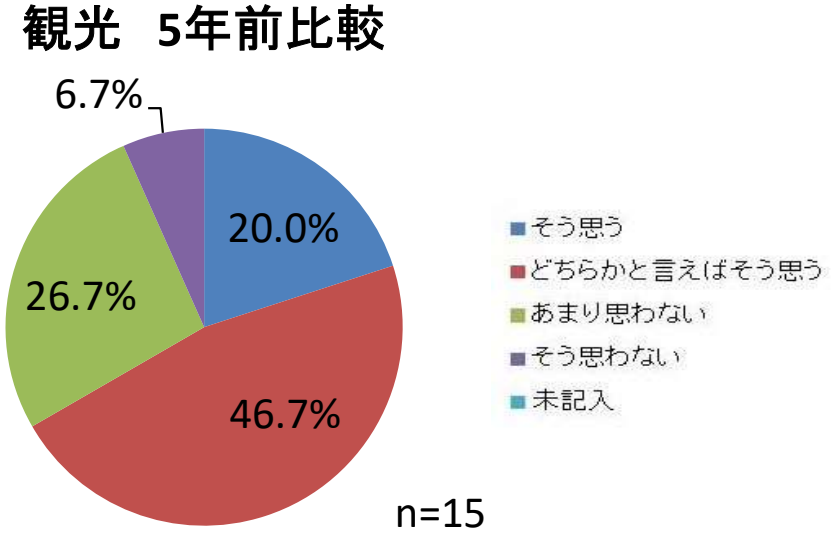
・後継者がいない。若者がいない。

観光分野の個別質問

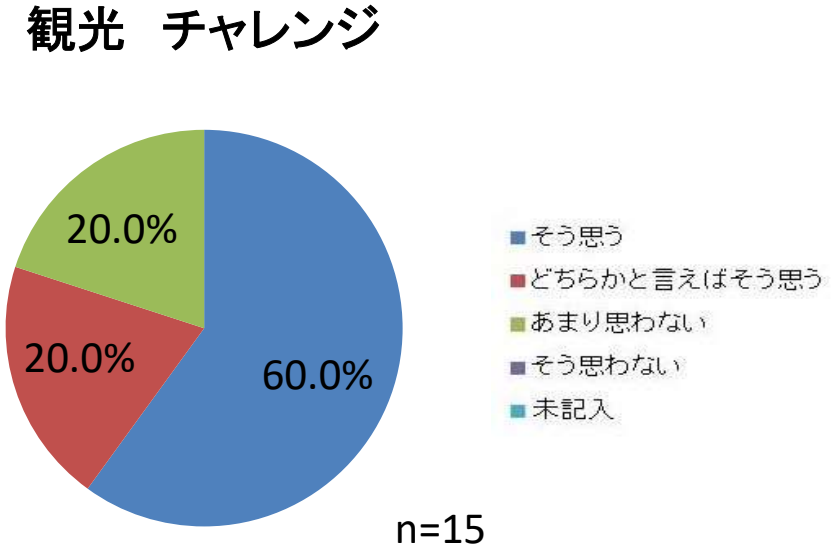
Q1 「あなたの業種は何ですか？」

1.小売業、製造業、ガイド業　3件
2.観光業、サービス業、小売業、農業　2件
3.宿泊業、遊漁船　各1件

Q2 「5年前と比較して、島の観光産業は活性化していると感じますか？」



Q3 「あなたは観光分野において新しいことにチャレンジしたいと思いますか？」



観光分野の個別質問

Q4 「あなたがチャレンジしたい内容について具体的にお聞かせください。」

・設備投資。

・事業拡大。

・スキルアップ、販路拡大。

・事業拡大、PR活動。

・島内で未体験の事（観光者向けのメニューなど）を体験、学習したい。

・飲食やアクティビティなど若者が帰って来やすいよう、事業を展開したい。設備投資。

・物産販売の事業を拡大し、島に貢献したい。

・新しいことよりもまず目の前のことをしっかりこなしたい。

・販路開拓

・特に関西方面の人に喜界島の良さをアピールして、観光に来てもらうこと。

・地域にある動植物に関するスキルアップ。

・太平洋と東シナ海の境界にクイを打ち、それを北から南にまわる人が増加する事を期待する。

・ツアー造成、物産の商品開発。

Q5 「新しいことにチャレンジするうえで、課題と感じていることをお聞かせください。」

・島民の理解と行政からの協力体制。

・人材、交流人口、環境

・航空運賃がかなり高い。

・本土への離島運賃が高い。

・観光業のPR宣伝のやり方など。

・現在活躍されている先輩方の高齢化、同年代の仲間、もしくは少し上の世代の方が少ない。

・資金調達、関連・関係事業者や人との調整。

・外部からの業者や移住者への支援は特に手厚く行われているように思います。新しい風を取り入れることは大切ですが、地域を支え続けている現地の 事業者・労働者へこそ、行政の更なるサポートが必要だと感じています。私たちは、どんな状況下でも課題を乗り越え、リスクを取り挑戦を続けることは 当然のことと考えています。その上で、行政からのサポートや補助は非常にありがたく、大きな助けとなります。ただ、支援の方針については、よりバランスを取り、地域内の事業者との対話を もとに再評価されることを希望します。

・人手不足。

・副業でしかできない。

・百の台、スギラビーチ等、喜界島の名勝はきれいに整備されていますが、島内の道路が整備されていません。（穴が開いている。側溝が草でおおわれていて危険）

・自分では良い事と思っても、実現しにくいと思っている。

・ツアー造成：地域社会とのコミュニケーション、商品：資金、パッケージやラベル等の発注先。

情報分野の個別質問

Q1 「あなたの業種は何ですか？」

1.ソフトウェア開発　20件

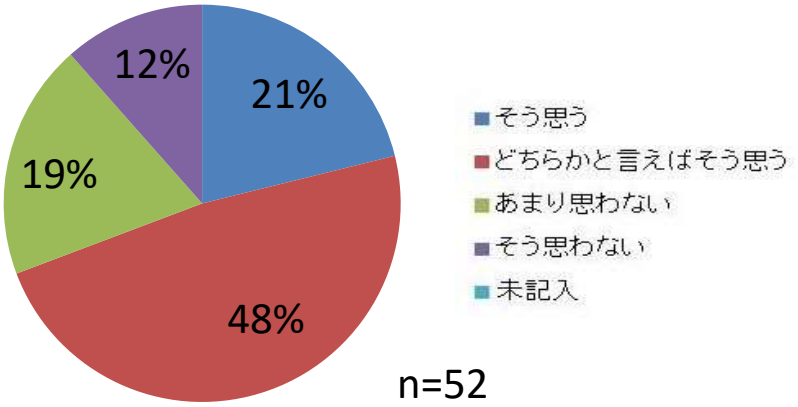
2.通信電気工事、公務員、事務　各3件

3.会社員、情報通信業、エンジニア、webデザイナー　各2件

4.カスタマーサポート、情報政策、webコンテンツ制作、メディア関係、放送 業、システム開発・保守、情報発信、情報処理、営業、ソフト関連、PC関連、IT、ソフトウェア保守、プログラマー、webディレクター、自営業　各1件

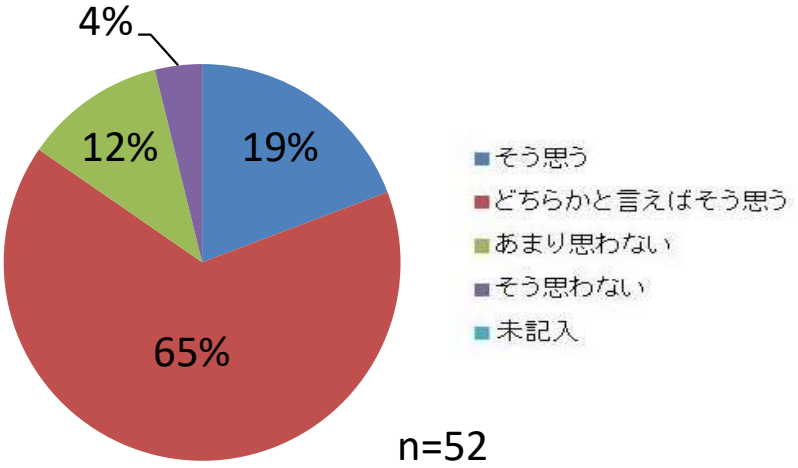
Q2 「5年前と比較して、島の情報産業は活性化していると感じますか？」

情報通信　5年前比較



Q3 「あなたは情報分野において新しいことにチャレンジしたいと思いますか？」

情報通信　チャレンジ



情報分野の個別質問

Q4 「あなたがチャレンジしたい内容について具体的にお聞かせください。」

・スキルアップ。

・経営に関する雑学や法律。

・副業。

・DX化。

・ネットワーク、マーケティング、データ活用について学んで仕事やプライベートの活動に繋げて行きたい。

プログラミング、デザイン。

・新規事業への取り組み、世代を超えたコミュニティづくり。

・事業拡大 ①静止画広告で動画広告も流せるようにして、町の増収に繋げたい ②データ放送への取り組み ③過去放送データのネット上でのアーカイブ化でダビングサービスの増収化

・ジャンルを超えたスキルの習得。

・奄美への地域貢献（奄美企業への事業拡大）。

・事業拡大、起業。

・島出身者の雇用増。

・より多くの企業や個人事業主のWebマーケティング施策のお手伝い。

・新しい商材の販売。

・事業所開設。

・SNS。

Q5 「新しいことにチャレンジするうえで、課題と感じていることをお聞かせください。」

・気軽にチャレンジ出来るような環境。

・環境、一緒にチャレンジできる仲間。

・知識の向上。

・情報収集。

・始めるきっかけがほしい。

・インターネット環境が島の隅々まで整うと良いと思います。

・地域が変化等に無関心。

・職場などの周りにそういったことに興味をもっている人がほぼいない。学習するコミュニティみたいなものがない。

・子育てと両立。

・今やっていることにプラスして新しい事に取り組もうと思うと、時間的な余裕と金銭的な余裕が足りない。

・資金不足、人材不足、PC機器のスペックが足りない等。

・資格取得に向けた時間・資金の確保等。

・人間関係。

・技術、人材。

・本土とのネット周りのインフラ環境の差。

・時間とモチベーションの維持。

・プログラミングの技術が足りない。

・奄美企業のIT業界に関する意識がまだまだ低い。

・企業や個人事業主側へのIT導入関連の助成金制度をより充実させてほしい。

・社内の事務作業の多さ。

・セールスフォース。

・離島。

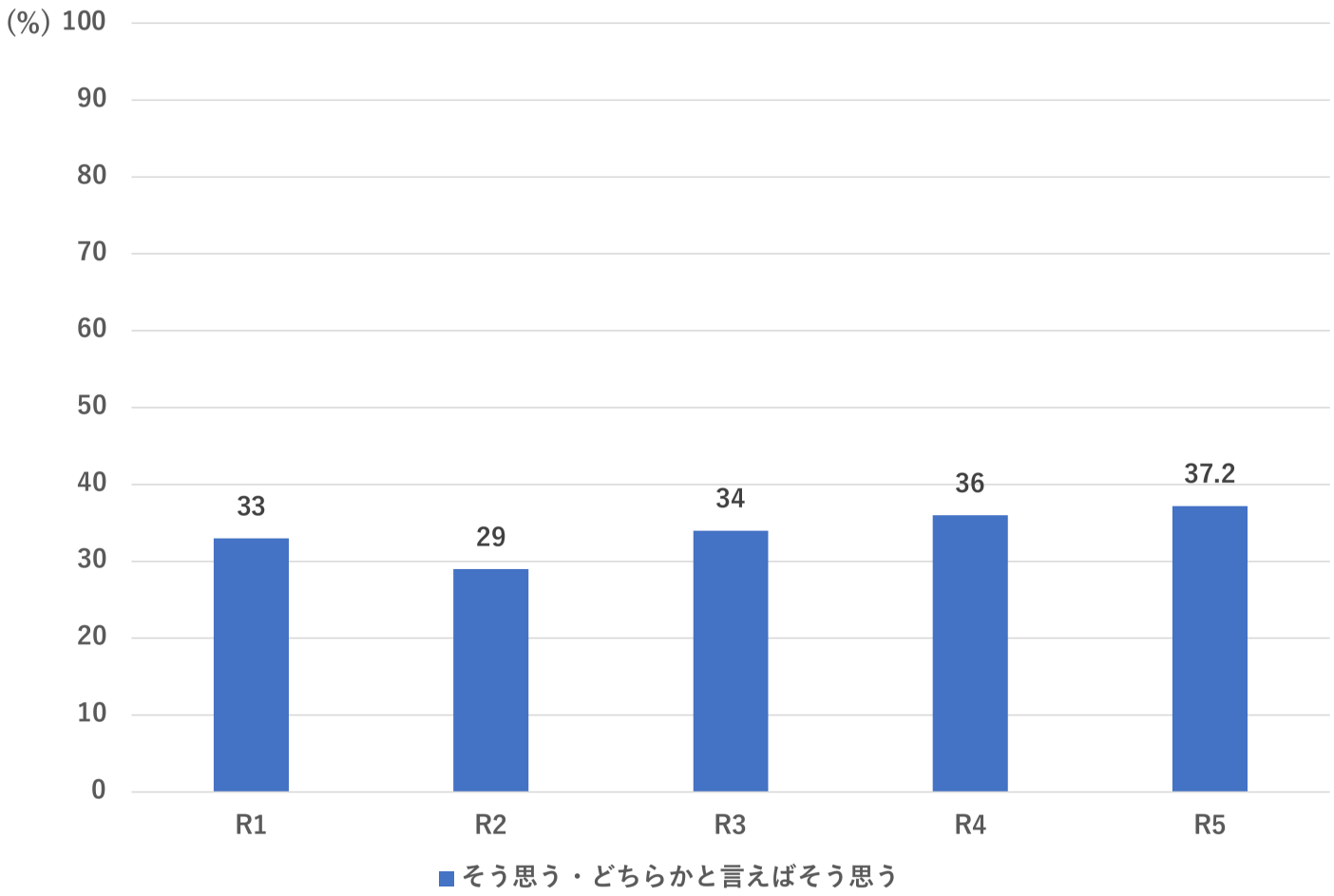
・参加のしやすさ。

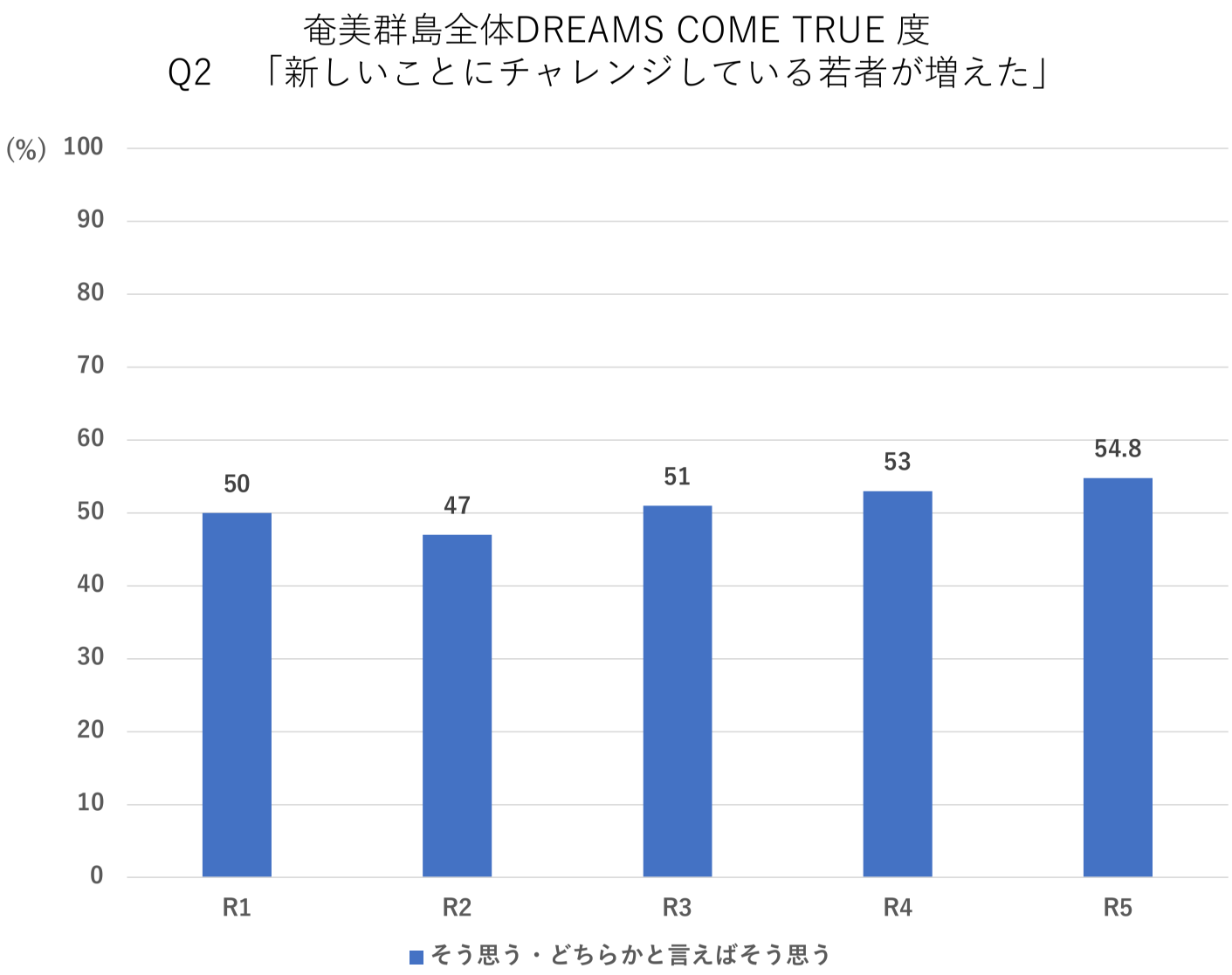
・勉強。

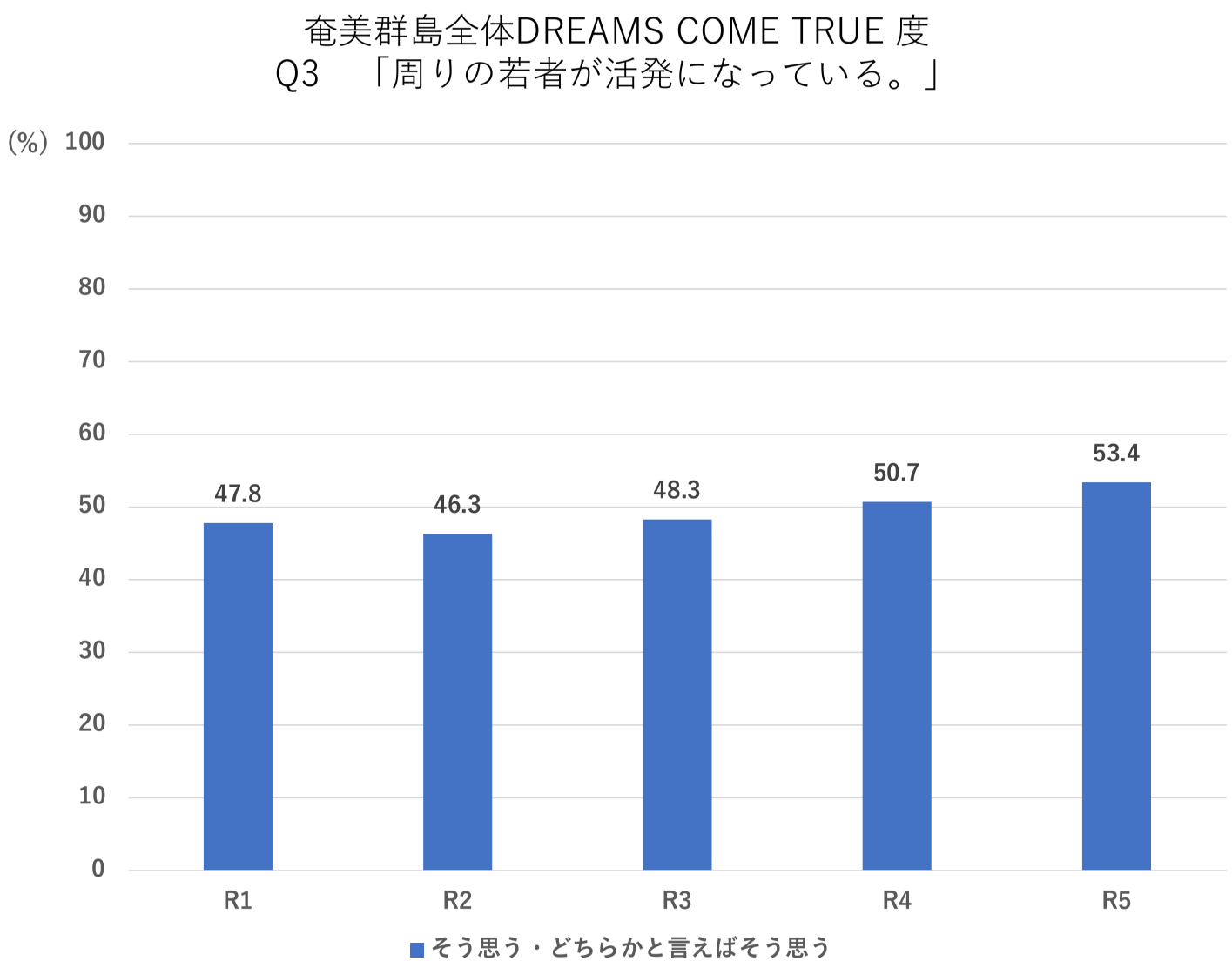
・理想物件がない。

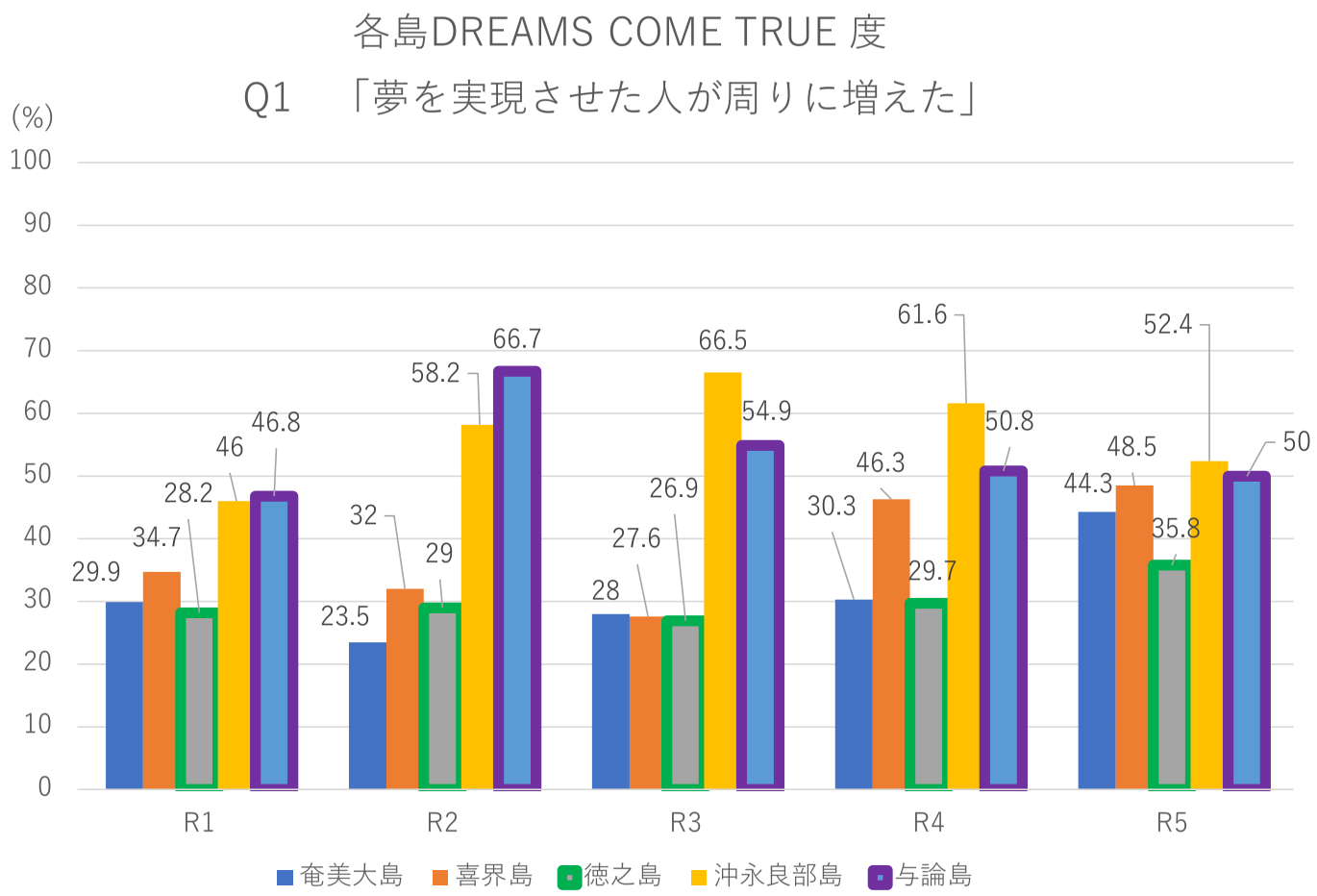
・新しいことにチャレンジしている人と出会う機会が少ない。

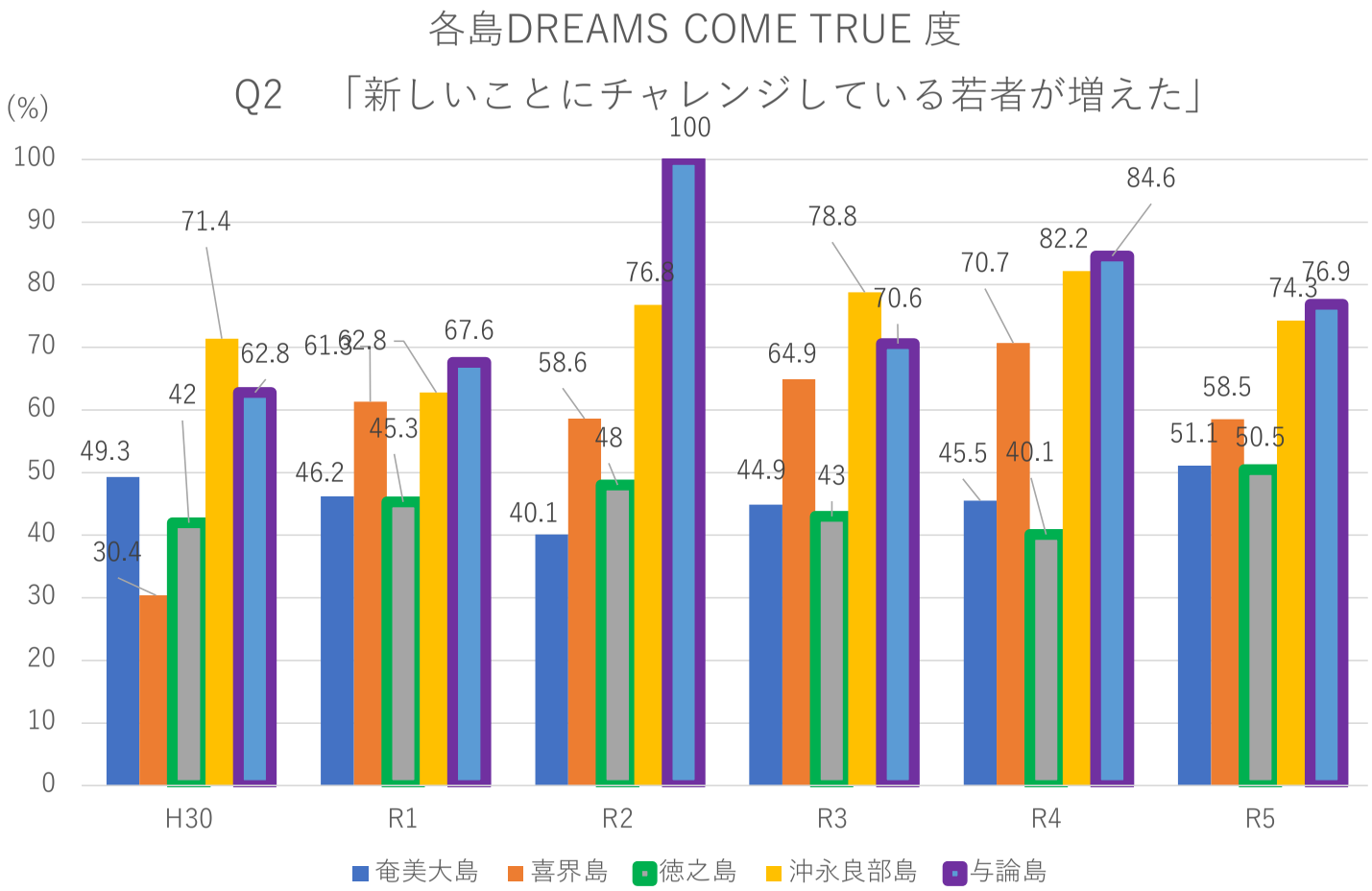
奄美群島全体DREAMS COME TRUE 度
Q1　「夢を実現させた人が周りに増えた」

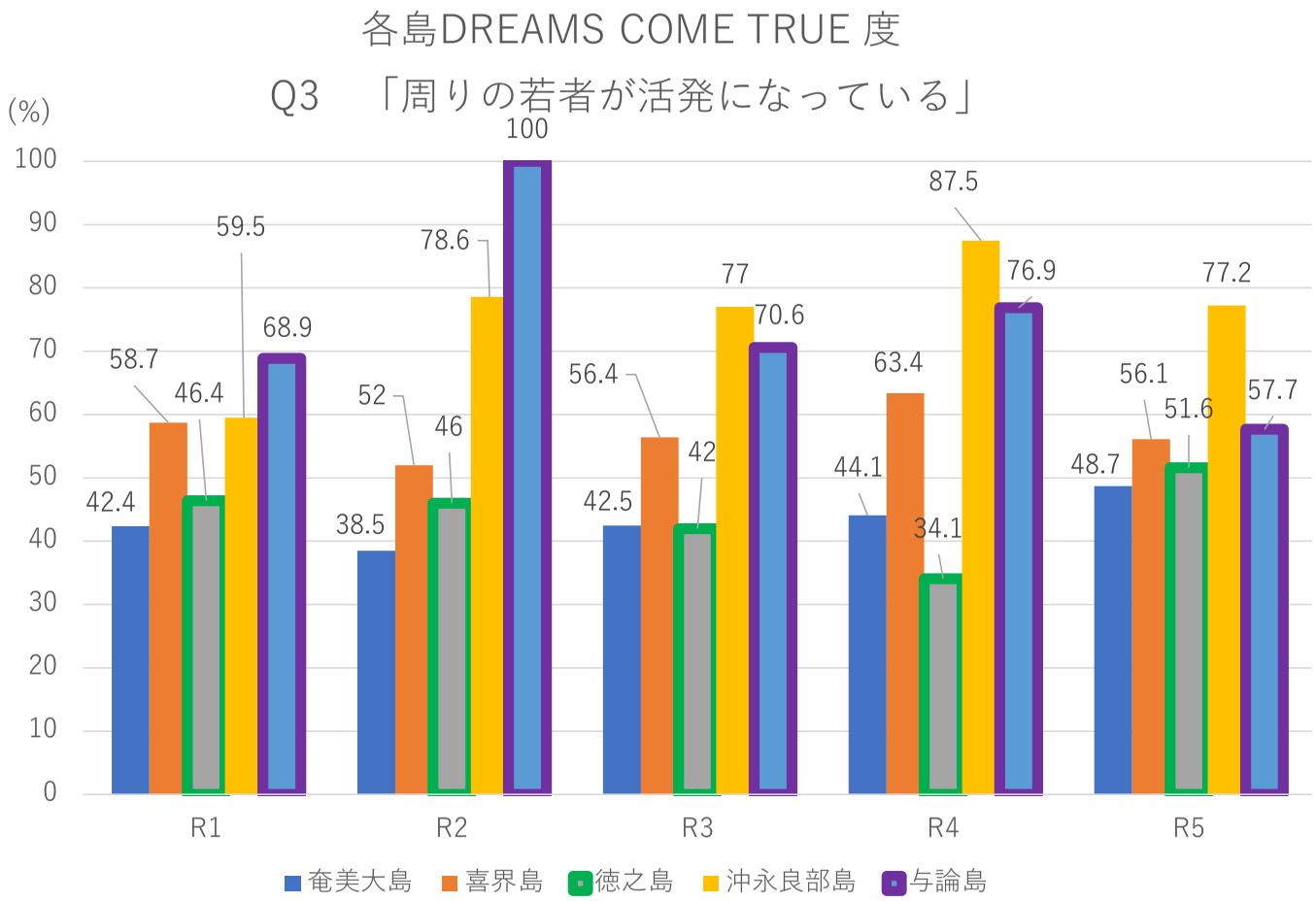



奄美群島全体DREAMS COME TRUE 度
Q2　「新しいことにチャレンジしている若者が増えた」
(%)
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
50
47
51
53
54.8
R1
R2
R3
R4
R5
そう思う・どちらかと言えばそう思う

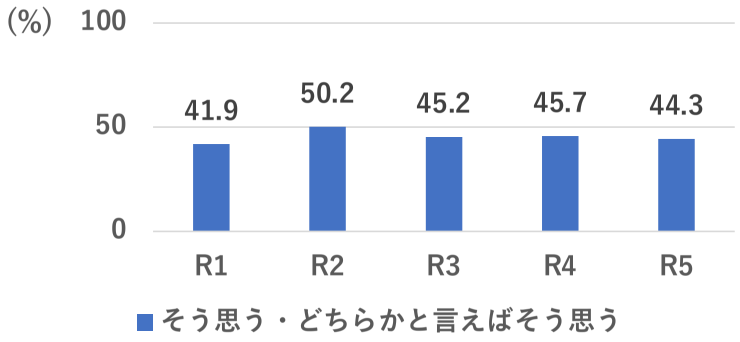

奄美群島全体DREAMS COME TRUE 度
Q3　「周りの若者が活発になっている。」
(%)
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
47.8
46.3
48.3
50.7
53.4
R1
R2
R3
R4
R5
そう思う・どちらかと言えばそう思う


各島DREAMS COME TRUE 度
Q1　「夢を実現させた人が周りに増えた」
(%)
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
29.9
34.7
28.2
46
46.8
23.5
32
29
58.2
66.7
28
27.6
26.9
66.5
54.9
30.3
46.3
29.7
61.6
50.8
44.3
48.5
35.8
52.4
50
R1
R2
R3
R4
R5
奄美大島
喜界島
徳之島
沖永良部島
与論島

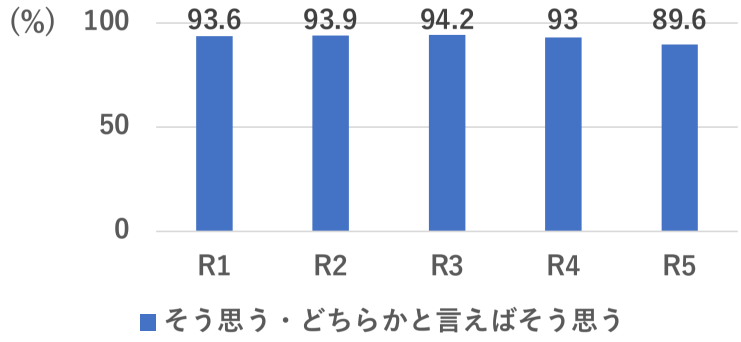

各島DREAMS COME TRUE 度
Q2　「新しいことにチャレンジしている若者が増えた」
(%)
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
H30
R1
R2
R3
R4
R5
49.3
30.4
42
71.4
62.8
46.2
61.9
62.8
45.3
67.6
40.1
58.6
48
76.8
100
44.9
64.9
43
78.8
70.6
45.5
70.7
40.1
82.2
84.6
51.1
58.5
50.5
74.3
76.9
奄美大島
喜界島
徳之島
沖永良部島
与論島


各島DREAMS COME TRUE 度
Q3　「周りの若者が活発になっている」
(%)
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
42.4
58.7
46.4
59.5
68.9
38.5
52
46
78.6
100
42.5
56.4
42
77
70.6
44.1
63.4
34.1
87.5
76.9
48.7
56.1
51.6
77.2
57.7
R1
R2
R3
R4
R5
奄美大島
喜界島
徳之島
沖永良部島
与論島

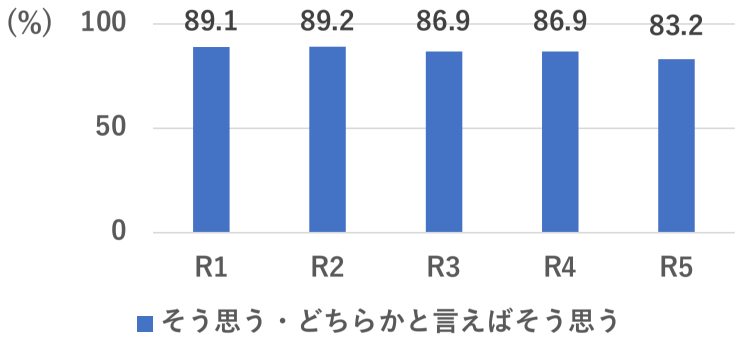
奄美大島結い度
Q1　「住民がお互いに助け合う「結いの精神」が高まった。」



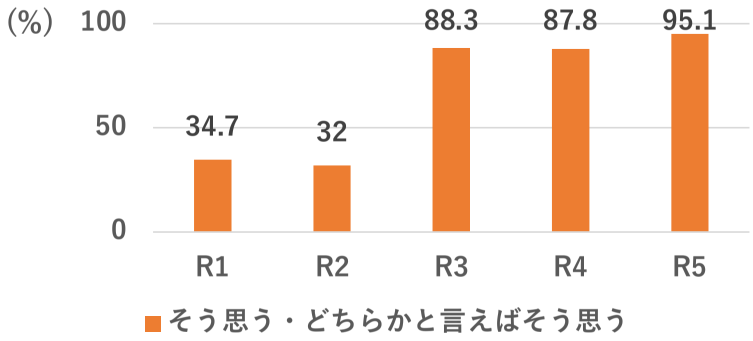
奄美大島結い度
Q2　「周りに困った人がいる際に、自分ができることを何かしてあげたいと思う。」



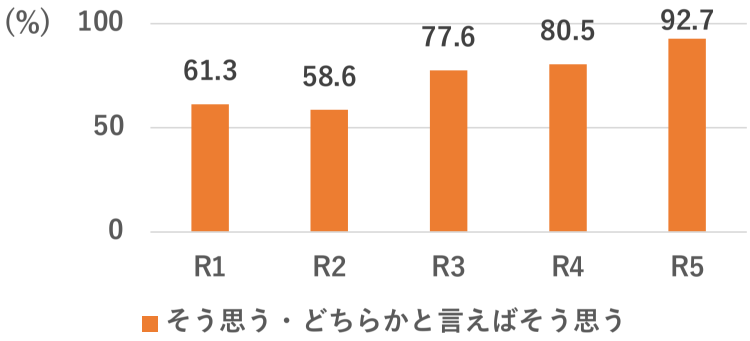
奄美大島結い度
Q3　「これからの若い世代に「結いの精神」を伝えていきたいと思う。」



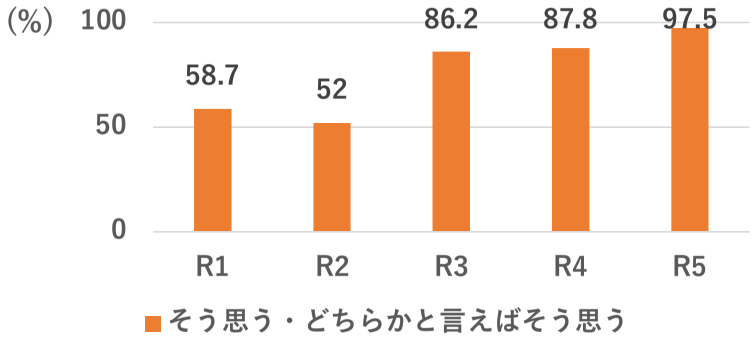
喜界島幸福度
Q1　「自分自身が幸せだと思う。」



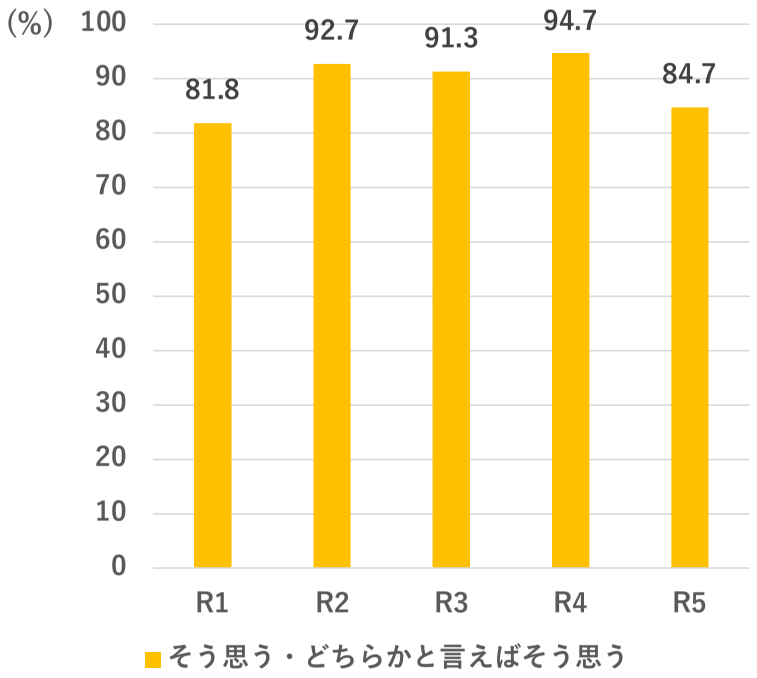
喜界島幸福度
Q2　「今の生活に満足している。」



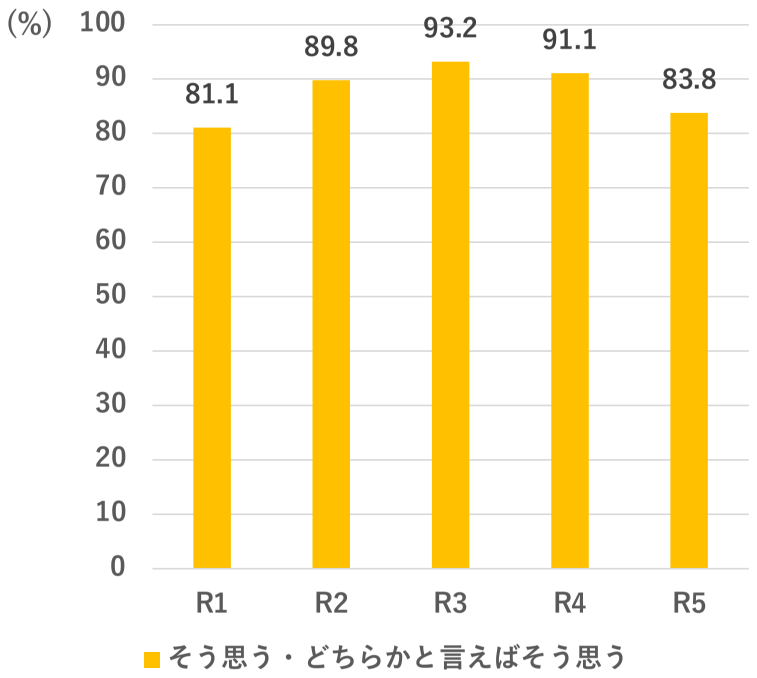
喜界島幸福度
Q3　「島（集落）に暮らすことに幸福を感じる。」



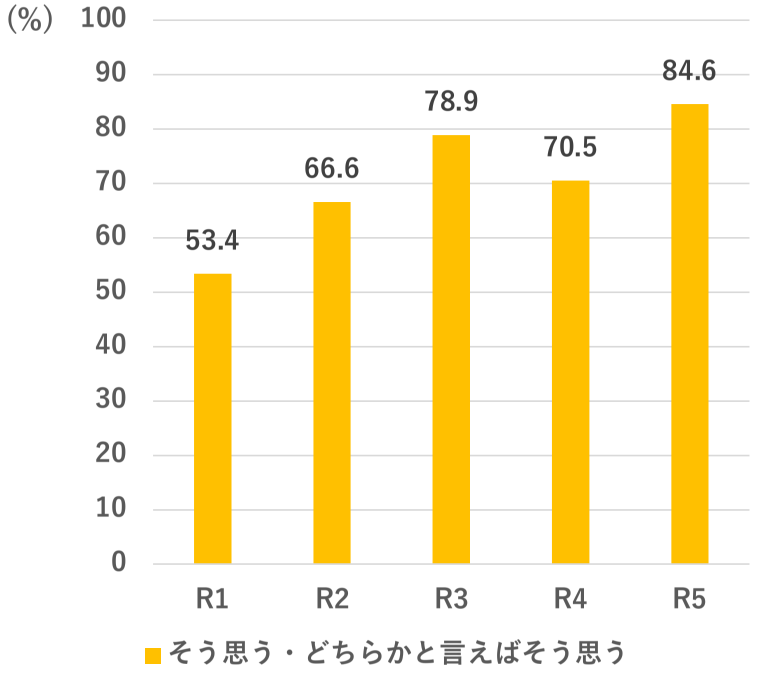
沖永良部島島の魅力
Q1　「この島がとても魅力的な島だと思う。」



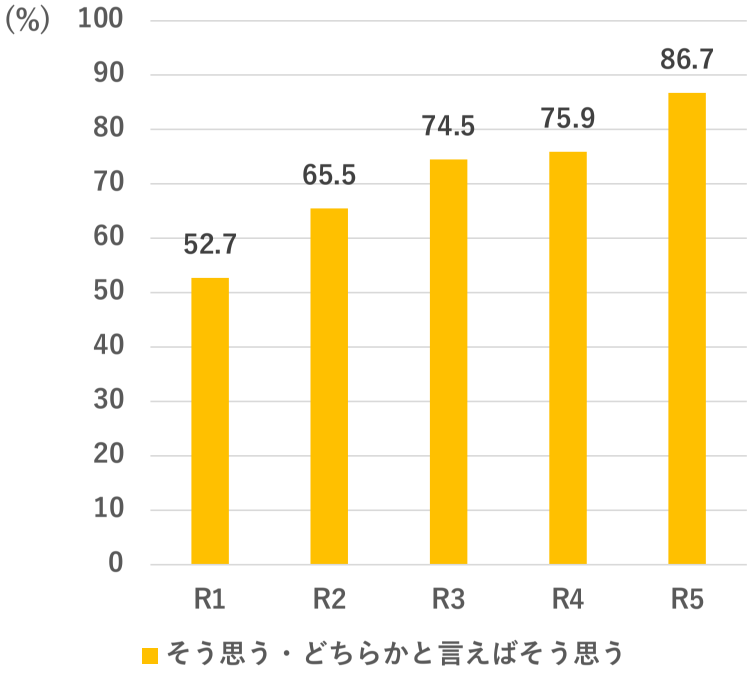
沖永良部島島の魅力
Q2　「この島のことを、島外の人達に対しても自慢できる島だと思う。」



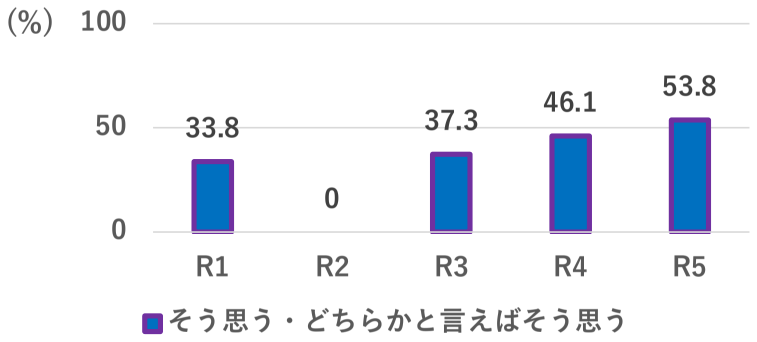
沖永良部島新商品数
Q1　「島の特産品について、新しい商品が増えたと思う。」



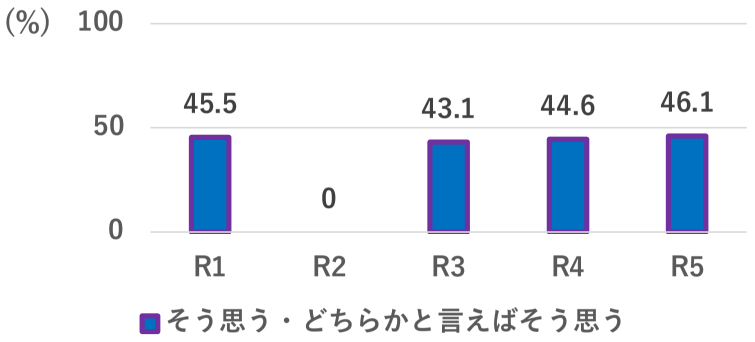
沖永良部島新商品数
Q2　「島の特産品について、魅力的なものが増えたと思う。」



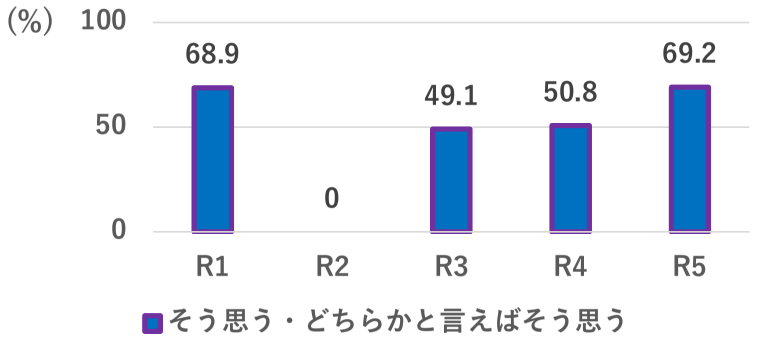
与論島伝統文化の継承者数
Q1　「伝統文化活動に積極的に取り組んでいる若者が増えた。」



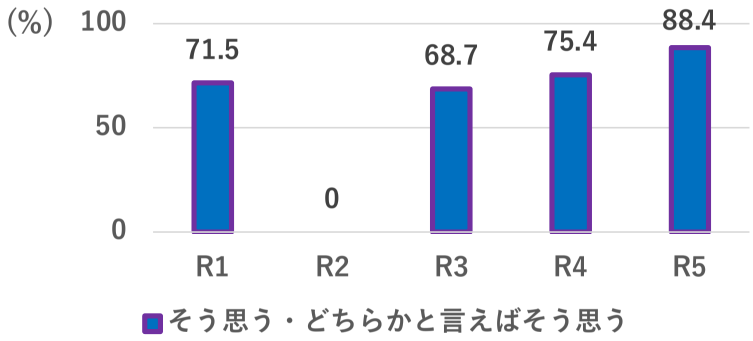
与論島伝統文化の継承者数
Q2　「伝統文化を守り、次世代へつないでいくという住民意識が高まった。」



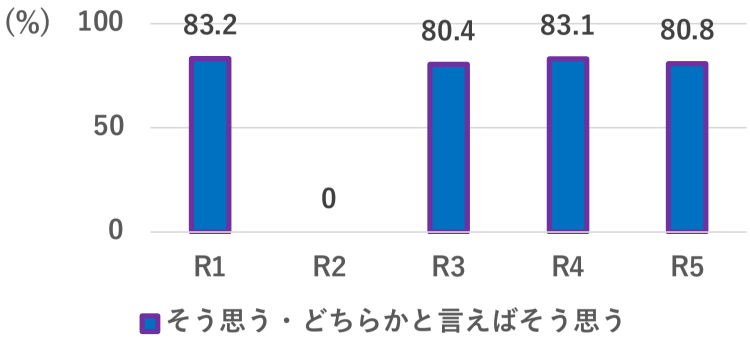
与論島伝統文化の継承者数
Q3　「学校などあらゆる場面で島の伝統文化に触れる機会が増えた。」



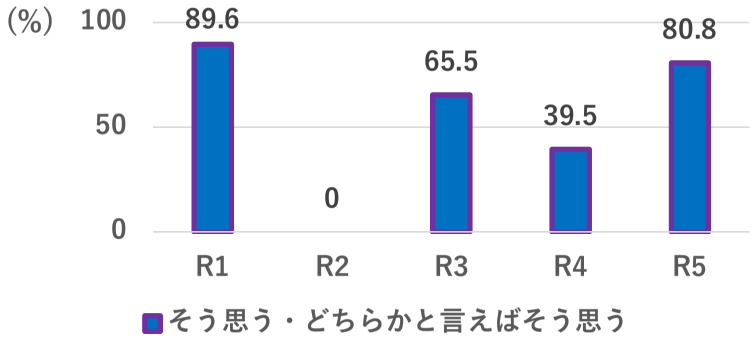
与論島豊かな自然の継承
Q1　「次の世代へ残すべき自然を守るという住民意識が高まった。」



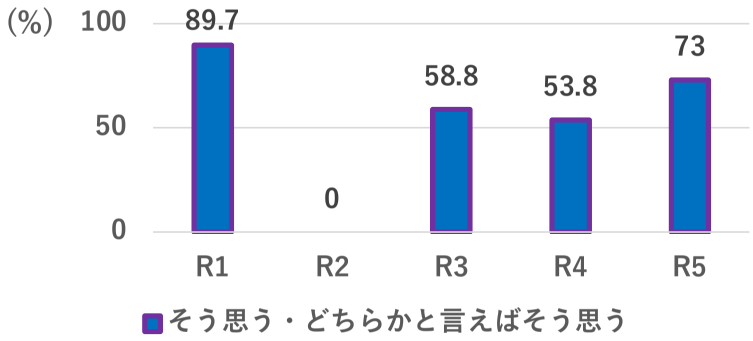
与論島豊かな自然の継承
Q2　「他の島と比べても魅力ある自然にあふれていると思う。」



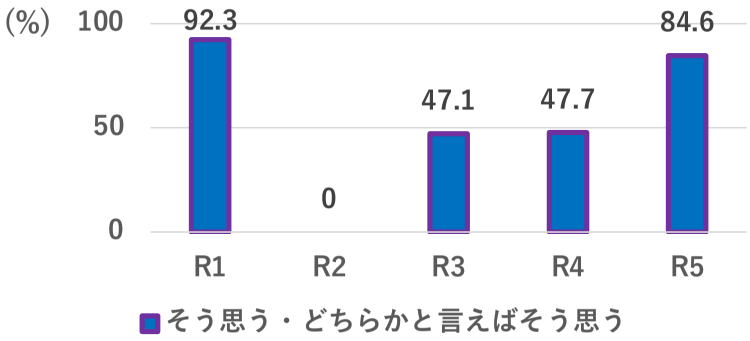
与論島豊かな自然の継承
Q3　「自然とともに生きる島の暮らしを誇らしいと思う。」



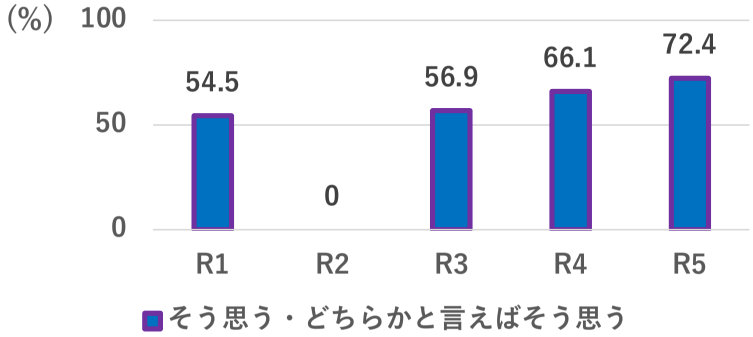
与論島安全・安心で豊かな生活環境
Q1　「自然災害に対する備えについての意識が高まった。」



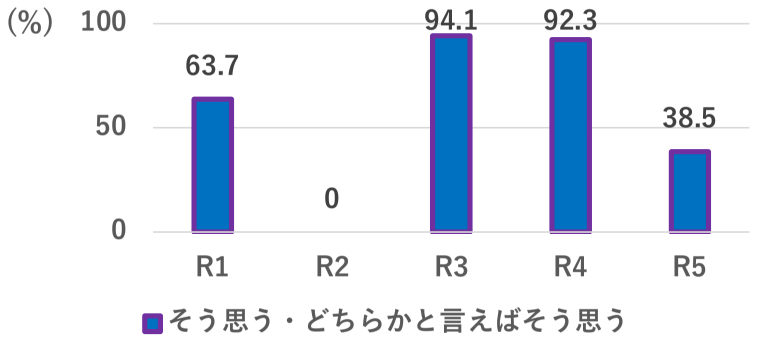
与論島安全・安心で豊かな生活環境
Q2　「台風などが接近する際に早めの避難を心がけるようになった。」



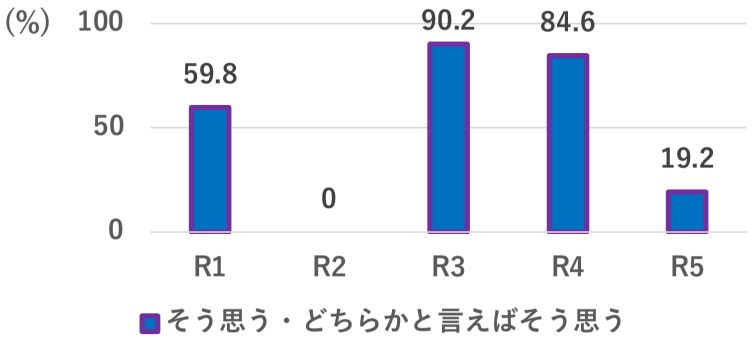
与論島安全・安心で豊かな生活環境
Q3　「災害時の高齢者の避難支援など、地域における体制ができていると思う。」



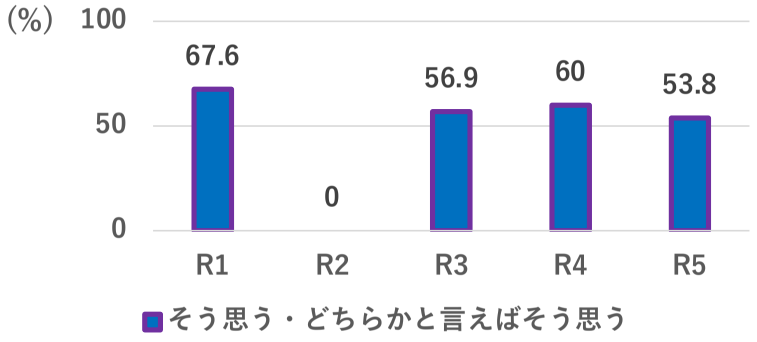
与論島教育環境
Q1　「本土にも引けを取らない教育環境に恵まれていると思う。」



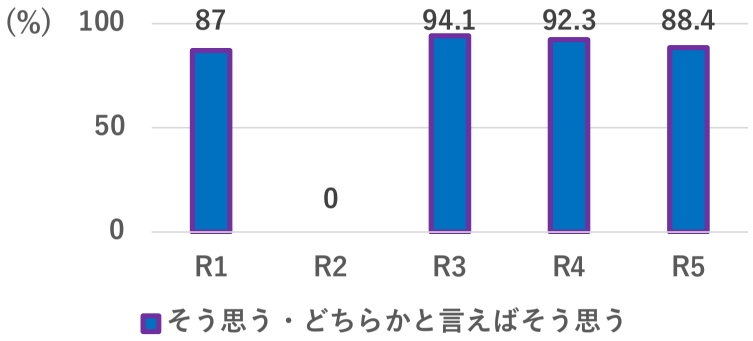
与論島教育環境
Q2　「島外の学校よりも地元の学校に進学を希望する子どもが増えた。」



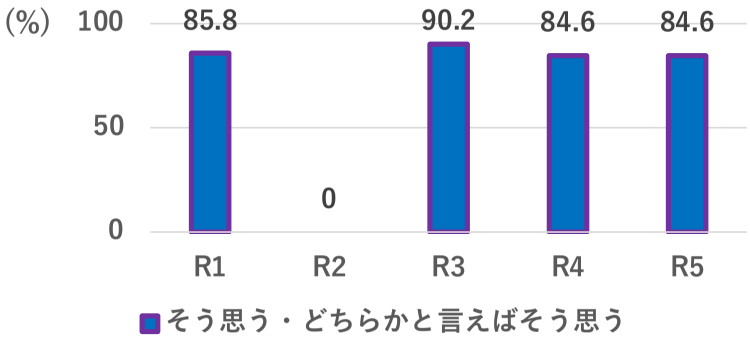
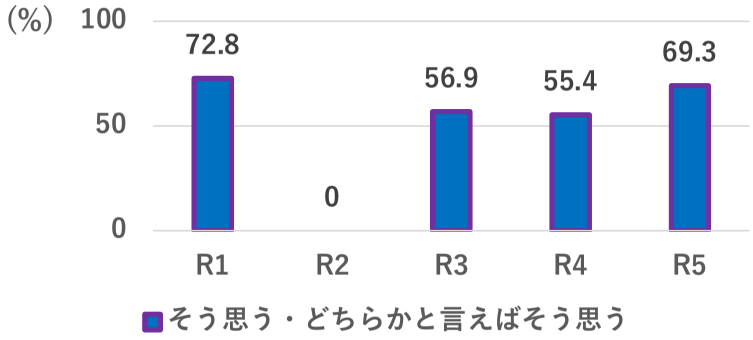
与論島教育環境
Q3　「島の児童生徒が希望をもって学校生活を送っていると思う。」



与論島正しい情報発信とICT技術のある生活環境
Q1　「「与論島を知っている」という島外の人たちが増えてきている。」



与論島正しい情報発信とICT技術のある生活環境
Q2　「周りにインターネット等を使って与論島をPRしているという人が増えた。」



与論島正しい情報発信とICT技術のある生活環境
Q3　「パソコンやインターネットのことを学べる場所が増えた。」